Canon

MultiPASS™ B-20

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をよくお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

もくじ

もくじ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

キヤノンはキヤノン株式会社の登録商標です。MultiPASS、BJ、Bubble Jetはキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®およびWindows®は、マイクロソフト社の登録商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い上げいただいた販売店へお申しつけください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

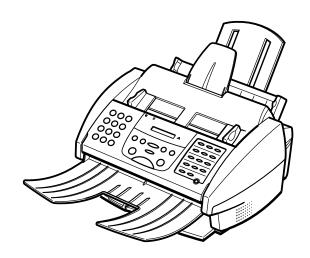
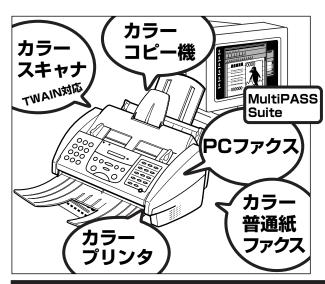
Copyright ©2000 Canon Inc. ALL RIGHTS RESERVED

はじめに

このたびは、MultiPASS B-20(以下、B-20と略します)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

B-20は、G3規格の普通紙ファクシミリをはじめ、プリンタ、コピー、スキャナ、カラーファクス、PCファクスなど、オフィスでよく使われるさまざまな事務機と、コンピュータの周辺機器の機能を備えています。また、ファクスとしては、一般の電話回線だけでなく、Fネット(G3サービス)にも対応しています。

この使用説明書には、B-20の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくための情報が書かれています。また、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項も載せてあります。B-20をご使用になる前に必ずお読みください。お読みいただいた後も大切に保管してください。

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

MultiPASS B-20の特長

B-20は、単体ではカラー普通紙ファクス、カラーコピー機として使うことができます。

コンピュータと接続すると、カラープリンタ、カラースキャナとしても使えます。ファクスの送受信もコンピュータからできるようになります。

写真画質のカラープリンタ

キヤノンのバブルジェット(BJ)方式で、最高720dpi(水平方向)×360dpi(垂直方向)の高解像度で、高品質で色鮮やかな印刷ができます。

毎分5ページという高速で、普通紙、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルム、布などいろいろなものに印刷できます。A4、B5、A5、レター、リーガルサイズの普通紙なら100枚(75g/m²の普通紙のとき)、OHPフィルムなら50枚、バックプリントフィルムや封筒なら10枚までセットできます。

エコノミーモードでは、通常の50%の量のインクで経済的に印刷できます。

カラー普通紙ファクス

キヤノンの超鮮明画像処理技術GENESISで、絵や写真も鮮明に送受信できます。

相手側にカラーファクス機能があれば、カラーファクスの送受信ができます。

A4サイズのモノクロ標準原稿1ページを約6秒*で送信でき、送信中もつぎの送信の予約ができるので、時間のムダがありません。送信先をワンタッチダイヤル(12件)や短縮ダイヤル(100件)に登録しておけば、かんたんにダイヤルでき、グループダイヤルや同報送信で複数の送信先(最大113か所)に送信できます。記録用紙やインクがなくなっても、受信したファクスはメモリに保存されるので安心です。大きなサイズのファクスは、端が切れないように記録用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

ECM(エラー修正機能)で、送受信のエラーを少なくすることもできます。

*キヤノンFAX標準チャートNo.1を標準モードで送信するとき
解像度：標準、オートハーフトーンはOFF　送信速度：14400 bps、ECM-MMR

メモリには、最大42ページ分(キヤノンFAX標準チャートNo. 1を標準モードで送るとき)の送受信ファクスを保存できます。

ECMでの送受信は、送信側、受信側の両方にECM機能があるときだけ使えます。

フォトインクで高画質のカラーコピー

360×360dpiという高解像度のフルカラーコピー機として使えます。モノクロ原稿(ハーフトーンを含む)なら、最大毎分3枚という高速で、一度に99部まで。70%、80%、90%に縮小コピーもできます。

600dpi相当の高品位カラースキャナ

Scan Gear 4.0 TWAINなど、TWAIN規格に準拠したグラフィックソフトやOCRソフトを使って、フルカラーや256階調グレースケールで画像をコンピュータに読みこめます。解像度は30～600dpiの間で1dpi単位で調整でき、複数ページの連続読みこみに対応したアプリケーションでは、自動給紙装置(ADF)を使って、連続スキャンもできます。

付属のMultiPASS Suiteでは、300dpiの高解像度で読みこみ、600dpi相当までエンハンス処理することができます。

PCファクス

コンピュータで送受信するファクスをPCファクスといいます。

B-20は、コンピュータでのモノクロファクスの送受信、カラーファクスの受信ができます。(コンピュータからカラーファクスを送信することはできません)

B-20をコンピュータと接続すれば、付属のDesktop ManagerやWindowsアプリケーションからファクスを送信したり、受信したファクスを印刷せずに、そのままコンピュータに保存できます。

送信先を登録しておけばかんたんにファクス送信でき、一度に複数の相手に送信したり、日時を指定して送信することもできます。送信するファクスには、自分で作ったカバーページをつけられます。

受信したファクスは、画面で内容を確認したり、印刷したり、加工して再送信できます。

MultiPASS Suite(スウィート)とは

付属のMultiPASS Suiteは、コンピュータから操作して、B-20を印刷、ファクス、スキャナ、電話として使うアプリケーションソフトの総称です。

- 印刷機能があるアプリケーションソフトからファクス送信できます。
- 画面にファクスを表示し、保存、編集、印刷、クリップボードへのコピーなどの操作ができます。
- 電話番号やファクス番号を電話帳に登録できます。
- 一度に複数の送信先へファクスを同報送信できます。
- ファクスにオリジナルのカバーページ(表紙)をつけられます。
- MultiPASS SuiteやTWAIN規格に準拠したアプリケーションソフトで画像を読みこめます。

MultiPASS Suiteのくわしい使い方については、『MultiPASS Suite使用説明書』をご覧ください。

本書の読み方

性能を十分にご利用いただくためにも、本書や付属している他の説明書は、必ずお読みください。

- 「MultiPASS B-20の特長」(→viページ)や「アフターサービスについて」(→xivページ)、「安全のためのご注意」(→xivページ)は必ずお読みください。
- ファクスやコピーなどの使い方は、本書の各章をお読みください。
- B-20を思うように操作できないときは、「9章 困ったときは」(→9-1ページ)をお読みください。
- くわしい仕様は、「付録」の「仕様」(→10-8ページ)をご覧ください。

操作方法がわからなくなったり、何か問題が発生したときのために、本書はすぐ手の届くところに用意しておいてください。

本書をお読みになっても、わからないことがあるときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)にご相談ください。

B-20を使い始める前に

●コンピュータと接続するとき

B-20をコンピュータと接続して、Windowsのアプリケーションや MultiPASS Suiteから印刷、スキャナ、ファクスの送受信などを行うときは、最初に『マルチパスB-20の羅針盤』にしたがってセットアップを行ってください。

●コンピュータと接続しないとき

B-20をコンピュータと接続しないで使うときは、『マルチパスB-20の羅針盤』の1～2章の操作を行った後、本書の1章の操作を行ってください。

マーク、表記について 本書の中のマークや表記には、つぎのような意味があります。

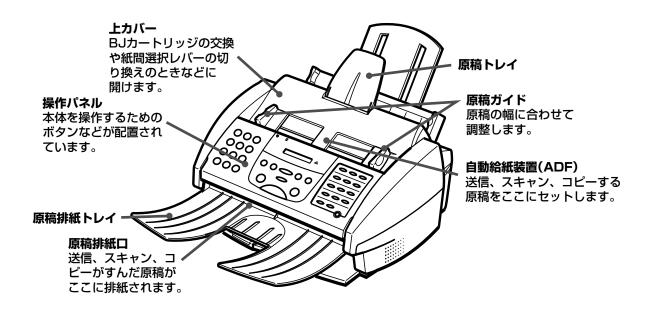
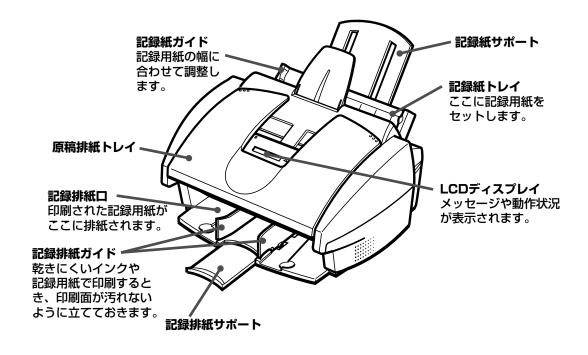
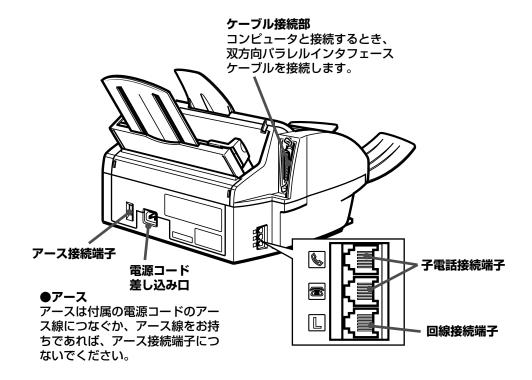
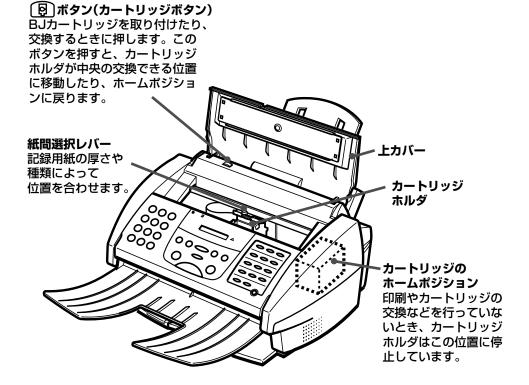
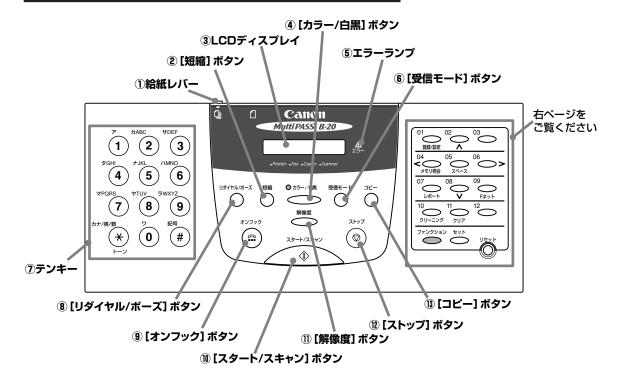
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
→3-6ページ	矢印は参照先を示しています。
「ソウシン　オワリマシタ」	操作パネルのLCDディスプレイに表示される ソウシン オワリマシタ のようなメッセージは「 」で囲んでいます。
	LCDディスプレイにいくつかのメッセージがくり返し表示されることを示します。
B-20	本機(MultiPASS B-20)の略称です。

各部の名称と働き

本体各部と取り付けた付属品の名称、機能は、つぎのとおりです。

前面

背面

●アース
アースは付属の電源コードのアース線につなぐか、アース線をお持ちであれば、アース接続端子につないでください。

内部

操作パネル

①給紙レバー

2枚以上の原稿をセットするときは給紙レバーを(左)に、1枚ずつセットするときは(右) にします。

②[短縮]ボタン

短縮ダイヤルを使うときは、このボタンを押してから登録した2桁の番号を押します。

③LCDディスプレイ

メッセージや動作状況が表示されます。設定を行うときは、メニューや選択項目が表示されます。

④[カラー/白黒]ボタン

このボタンを押して、ランプがついた状態にすると、コピーやファクス送信がカラーで行われます。もう一度ボタンを押してランプが消えると白黒になります。

⑤エラーランプ(⚠)

エラーが発生したり、記録用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。

⑥[受信モード]ボタン

押すたびに、受信モードが切り替わります。

⑦テンキー

ダイヤルするファクス番号や電話番号を入力します。相手先の名前の登録など、文字や記号を入力するときにも使います。

⑧[リダイヤル/ポーズ]ボタン

最後にテンキーでダイヤルした番号にもう一度かける(リダイヤルする)ときに押します。また、ファクス番号の間にポーズを入れるときにも押します。

⑨[オンフック]ボタン( )

電話をかけるときに押します。

⑩[スタート/スキャン]ボタン( )

送信、受信、スキャン、コピーなどの操作を開始するときに押します。

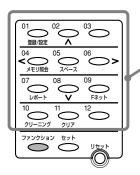
⑪[解像度]ボタン

コピーやファクス送信の画質を選びます。

⑫[ストップ]ボタン( )

送信や受信などの操作を中止して、スタンバイの状態にします。

⑬[コピー]ボタン

コピーをとるときに押します。

ワンタッチダイヤルボタン

ワンタッチダイヤルボタンですが、ファンクション ボタンを押して、ランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能に使えるようになります。
もう一度 ファンクション ボタンを押して、ランプが消えるとワンタッチダイヤルに使えるようになります。

［登録/設定］ボタン

さまざまなメニューを開いて、スピードダイヤルの設定、ユーザ情報、オプションの送受信など、その他の重要な設定を行います。

［∧］ボタン

データ登録設定のときに他の選択項目を表示できます。

［<］ボタン

登録のときに、カーソルを左に動かすことができます。

［メモリ照会］ボタン

メモリに保存されている原稿を印刷したり、原稿のリストを印刷したり、原稿を削除したりします。

［スペース］ボタン

送信先を登録するときなどに、文字や数字の間にスペースを入れます。

［>］ボタン

登録のときに、カーソルを右に動かすことができます。

［レポート］ボタン

登録した情報や、通信結果に関する情報のレポートを印刷します。

［∨］ボタン

データ登録設定のときに、他の選択項目を表示できます。

［Fネット］ボタン

ファクス番号を登録するときに、Fネットの第2ダイヤルトーンを自動的に検知するための記号を入力します。

［クリーニング］ボタン

インクカートリッジのノズルチェックやクリーニングを行います。

［クリア］ボタン

登録のときに、入力した内容を消去します。

［ファンクション］ボタン(ランプ)

［ファンクション］ボタンを押して、ランプがついた状態にすると、［登録/設定］ボタン、［∧］ボタンなど、青い文字で書かれた機能を使えるようになります。

［セット］ボタン

メニューを選ぶときや、データを登録するときに押します。

［リセット］ボタン

印刷中にコンピュータ側がエラーになったとき、コンピュータ側のエラーを修復したら、印刷を再開する前に、このボタンを押してB-20をリセットします。

アフターサービスについて

B-20は最新の技術を使って、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。

何か問題が発生したときは、まず「9章 困ったときは」(→9-1ページ)を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)までお問い合わせください。

安全のためのご注意

B-20をお使いになる前に、つぎの安全上のご注意を必ずお読みください。また、何か困ったことが起きたときにも参考にしてください。

⚠警告 心臓ペースメーカーをご利用の方へ

本機から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方で異常を感じた場合は本機から離れ、その後、医師にご相談ください。

⚠注意 設置する場所について

水平で振動のない安定した場所に設置してください。

周りに物を密着させないでください。

本体の内部では発熱しています。放熱が十分でないと、内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります。また、ベッド、ソファー、敷物の上など、柔らかいものの上や、エアコン、暖房器具など、熱を発するものの近くでは使わないでください。戸棚や本棚、ラックなど、十分に換気できない場所には収めないでください。

水滴のかかるような場所には設置しないでください。

水道の蛇口、加湿器、湯沸器の近くなど、水滴のかかるような場所には設置しないでください。万一、B-20に水をかけてしまった場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

直射日光の当たる場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所に設置すると、故障の原因になります。やむをえない場合は厚いカーテンやブラインドなどで遮光してください。

温度が急激に変化する場所は避けてください。

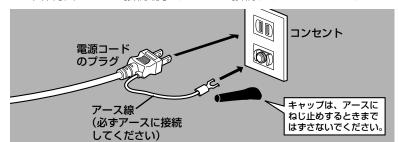
室内の温度範囲は10〜32.5度の間が適当です。

⚠注意 電源について

本体ラベルに指定されている電源を使ってください。

電源は、本体ラベルに指定されているものをお使いください。ご使用の電源の種類がよくわからない場合は、最寄りの電力会社にお問い合わせください。使用できる電源の種類についてご不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電源コードのアース線は必ずアースに接続してください。

付属の電源コードには、アース線が付いています。必ず、アース線をアースに接続してください。別にアース線をお持ちであれば、アース線でB-20本体背面のアース接続端子をアースに接続することもできます。

⚠警告 **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線はつぎのところに取り付けられます。**

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを75cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事(D種)が行われている接地端子

つぎのようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管
- 電話専用アース線
- 避雷針
- 水道管や蛇口

コンセントの供給限界を超えないように注意してください。

電源に接続しているすべての機器の合計の電力使用量が、コンセントの供給限界を超えないように注意してください。

電源コードを踏んだり、重いものをのせないでください。

電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。歩くときに電源コードが足に引っかからない場所に設置してください。また、コードがねじれたり、結び目ができていないか確認してください。

電源を切ってすぐに電源を入れないでください。

一度電源を切ったら、また電源を入れるまで少なくとも5秒間お待ちください。

印刷中は絶対に電源コードを抜かないでください。

紙づまりの原因になります。

雷が鳴ったら、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。

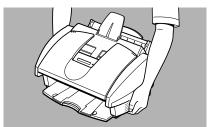
⚠注意 移動、運搬、清掃について

移動したり清掃したりするときは、必ず電源コードを抜いてください。

運搬するときは、BJカートリッジを取りはずさないでください。

カートリッジホルダがホームポジションにあることを確認してから電源を抜いてください。

B-20を持ち上げるときは本体側面を持ってください。

絶対に前面の記録排紙口や背面の記録紙トレイを持って持ち上げないでください。

⚠注意 その他の取り扱いについて

B-20は絶対に分解しないでください。

本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、触れると感電するおそれがあります。

本体に表示されている注意事項は必ずお守りください。

内部にものを差しこんだり、落としたりしないでください。

ドライバなど、細長いものを本体内部に差しこまないでください。本体内部には高圧電流部分が露出している箇所があり、これに触れると火災になったり、感電するおそれがあります。

また、B-20の内部に細かい異物(ピン、紙、クリップ、ホッチキスの針)などを落とさないように注意してください。万一、異物がはいってしまったときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠注意 つぎのような場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。

つぎのような場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡してください。

- **電源コードやプラグが傷ついたりすり切れたりしている。**
- **本体の上または内部に液体をこぼした。**
- **煙が出たり、異様な音や臭いがしている。**
- **B-20を落としてしまった。または、本体や付属品が壊れた。**
- **正しい手順で操作しても、うまく動かない。「9章　困ったときは」(→9-1ページ)の手順にしたがって操作しても問題が解決しない。**

B-20を操作するときは、必ずこの使用説明書の手順にしたがってください。不用意に装置を壊してしまうと、大がかりな修理が必要になる場合があります。

1章 B-20をコンピュータと接続しないときの設定のしかた

B-20を、コンピュータと接続しないで使うときは、B-20の操作パネルで、ファクスの送受信のために、現在の日付、時刻と電話回線の種類を設定してください。

コンピュータを接続して、Desktop Managerで設定を行うと、B-20の操作パネルで行った設定はすべて無効になってしまいます。B-20をコンピュータと接続して使うときは、コンピュータからDesktop Managerを使って設定してください。

コンピュータからの設定のしかた
→『マルチパスB-20の羅針盤』、『MultiPASS Suite使用説明書』

発信元情報を登録する

ファクスの送受信を行うために、いくつかの設定が必要です。現在の日付、時刻と電話回線の種類は、必ず正しく設定してください。

現在の日付、時刻

現在の日付、時刻を設定してください。送信されたファクスの上部に印刷されます。

発信元情報

送信したファクスのいちばん上(ヘッダ)に印刷される日付、時刻やページ番号などの情報を発信元情報といいます。

自分の氏名(または会社名)とファクス番号を登録して、印刷することもできます。スピードダイヤルを使ってファクスを送信したときは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている受信者側の氏名または会社名も印刷されます。

送信されたファクスに印刷された発信元情報

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

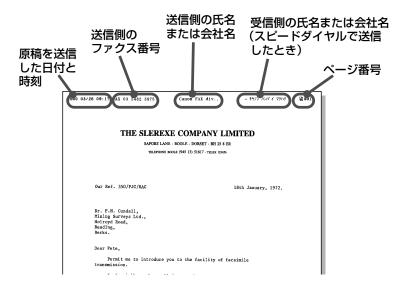
1 ファンクション ボタンを押します。

ファンクション ボタンが光ります。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

データ トウロク

3 セット ボタンを押します。

キホン セッテイ

4 セット ボタンを押します。

ヒヅケ/ジコク セット

設定を変更するときも同じように、変更する設定項目を表示し、テンキーや<04 メモリ照会 ボタン、06 >ボタンで変更します。

5 **セット ボタンを押します。**

設定されている日付、時刻が表示され、入力できるようになります。

`2000 12/20 13:00`（例）

6 **現在の日付、時刻をテンキーで入力します。**

日付は、年(西暦下2桁)、月、日の順に入力します。時刻は、午後2時38分を「14:38」のように、24時制で入力します。

年の下2桁を入力すると、上2桁は自動的に変わります。

`2000 12/23 14:38`（例）

7 **セット ボタンを押します。**

日付、時刻が保存されます。

```
トウロク シマシタ
ユーザ゛ TEL トウロク
```

8 **セット ボタンを押し、テンキーであなたのファクス番号を入力します。**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

番号を読みやすくするために、05 スペース ボタンを押してスペース(空白)を入れることもできます。

発信元情報にあなたのファクス番号をのせないときは、入力しなくてもかまいません。

`TEL=03 3758 2111`（例）

9 **セット ボタンを押します。**

ファクス番号が保存されます。

```
トウロク シマシタ
ユーザ゛ リャクショウ トウロク
```

10 **もう一度 セット ボタンを押し、テンキーであなたの名前か会社名を入力します。文字の入力のしかたはつぎのページをご覧ください。**

24文字まで入力できます。

発信元情報にあなたの名前や会社名をのせないときは、入力しなくてもかまいません。

`CANON :A`（例）

11 **セット ボタンを押し、ストップ ボタンを押します。**

氏名が保存され、スタンバイ状態になります。

`03/06 ジドウ`（例）

●文字の入力

→「文字を入力する」1-4ページ

文字を入力する

発信元情報にあなたの名前や会社名を入力するときは、テンキーや、06>ボタン、<04（メモリ照会）ボタンを使います。

テンキーのボタンでは、カナモード、英字モード、数字モードで、つぎの文字を入力することができます。

テンキー	カナモードのとき	英字モードのとき	数字モードのとき
①	アイウエオ		1
②	カキクケコ	ABCabc	2
③	サシスセソ	DEFdef	3
④	タチツテト	GHIghi	4
⑤	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧	ヤユヨ	TUVtuv	8
⑨	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
⓪	ワヲンァィゥェォャュョッ		0
㊕ #	゛ ゜ 。「 」 、 . ー	ー . ＊ # ! " , ; : ^ ` _ = / | ' ? $ @ % & + ( ) [ ] { } < >	
㊟ ＊	＊ボタンを押すと、カナモード、英字モード、数字モードが切り替わります。 カナモード ──→ 英字モード ──→ 数字モード		

●モードを切り替える

文字入力の状態で＊（カナ/英/数・トーン）ボタンを押すと、モードが切り替わりLCDディスプレイの右端に表示されます。

カナモードのときは、「:ア」と表示されます。

英字モードのときは、「:A」と表示されます。

数字モードのときは、「:1」と表示されます。

_ :1

●文字の入力のしかた(例:「キ」と入力するとき)

1 **入力する文字のモードになるまで [＊ カナ/英/数 トーン] ボタンを押します。**

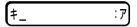
カナモード(右側に「：ア」と表示された状態)になるまで [＊ カナ/英/数 トーン] ボタンを押します。

_　　　　　　　:ア

2 **入力する文字が表示されるまで、その文字が割り当てられているテンキーのボタンを押します。**

たとえば、カ行の文字を入力したいときは、「カABC」と書かれている [2 カABC] ボタンを押します。

ボタンを押すたびに、そのボタンに割り当てられている文字が順番に表示されます。カナモードで「キ」と入力するときは、[2 カABC] ボタンを2回押します。

3 **[06 >] ボタンを押して、カーソルをつぎに移動します。**

つぎに入力する文字が違うボタンに割り当てられているときは、[06 >] ボタンを押さなくても、そのボタンを押すと、前の文字が入力され、カーソルがつぎに移動します。

●入力した文字を1字だけ消去、修正する

すでに入力されている文字はつぎのようにして消去、修正します。

1 **[06 >] ボタン、[04 < メモリ照会] ボタンを押して、消去、修正したい文字までカーソルを移動します。**

2 **テンキーで正しい文字を入力します。**

[05 スペース] ボタンを押すと、カーソル位置の文字が消去され、空白になります。

●入力した文字をすべて消去する

1 **[11 クリア] ボタンを押します。**

ユーザデータリストを印刷して発信元情報を確認する

登録した発信元情報を確認し、現在の設定をチェックするためには、ユーザデータリストを印刷します。

1 ファンクションボタンを押します。

2 07 レポートボタンを押します。

ツウシン カンリ レポ゜ート

3 ユーザ゛ デ゛ ータリスト と表示されるまで 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

ユーザデータリストが印刷されます。

2000 03/26 18:36 FAX 03 3758 2111　ﾔﾏﾀﾞ ｼｮｳｶｲ ﾀﾅｶ　001

JPN-XX-XX /n.nn

****
***　ユーザデータリスト　***
****

項目	設定
1.基本設定	
ユーザ電話番号	03 3758 2111
ユーザ略称	ﾔﾏﾀﾞ ｼｮｳｶｲ ﾀﾅｶ
発信元記録	付ける
発信元記録位置	画像の外に付ける
電話番号マーク	FAX
読取濃度	普通
オフフック アラーム	鳴らす
音量	
呼出音量	2
キータッチ音量	2
アラーム音量	2
通信音量	2
呼出音音質	高い
回線種類	ダイヤル回線
ダイヤルスピード	20PPS
2.レポート設定	
送信結果レポート	エラー時にプリントする
送信原稿	付ける
受信結果レポート	プリントしない
通信管理レポート	
自動プリント	する
3.送信機能設定	
ECM送信	する
ポーズ時間	2秒
自動リダイヤル	する
リダイヤル回数	2回
リダイヤル間隔	2分
ダイヤル タイム アウト	する
4.受信機能設定	
ECM受信	する
受信モード	自動受信
着信呼出	しない
自動受信切替	しない
リモート受信	する
リモート受信ID	25
代行受信	する
カラー 受信	する
5.プリント設定	
画像縮小	する
縮小方向	縦のみ
記録紙サイズ	A4
エコノミー記録	しない
カラーコピー用紙	普通紙
下 余白	普通
6.システム管理設定	
日付タイプ	YYYY MM/DD
送信開始速度	14400bps
受信開始速度	14400bps
画像メモリ量	0.672MByte

ユーザデータリスト

電話回線の種類を設定する

B-20本体を接続した電話回線の種類を設定してください。

工場出荷時は、ダイヤル回線(20pps)に設定されているので、ダイヤル回線に接続したときは、この設定は必要ありません。

電話回線の種類がわからないときは、NTTの回線調べ(116)に問い合わせてください。NTTの領収書、口座振替のお知らせでもわかります。(右記参照)

1 ファンクションボタンを押します。

2 01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セットボタンを押します。

キホン セッテイ

4 セットボタンを押します。

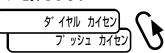
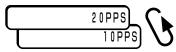
ヒヅ゛ケ/ジ゛コク セット

5 カイセン シュルイ センタク と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

設定されている電話回線の種類が表示されます。

7 使用する電話回線の種類が表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

8 セットボタンを押します。

ダイヤル回線のときはダイヤルスピードが表示されるので、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押してダイヤルスピードを選び、セットボタンを押します。

回線の種類が登録されます。

レポ゜ート セッテイ

●NTTの領収書で回線の種類を見分ける方法

領収書、口座振替のお知らせに「プッシュ回線使用料」が記載されているときは「プッシュ回線」。

記載されていないときは「ダイヤル回線(20pps)」を選んでください。

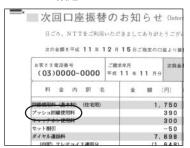
内線に接続したときなど、まれに「ダイヤル回線(10pps)」にしなければならないことがあります。相手が話し中でないのにエラー送信レポートに「話し中でした」と印刷されるときや、「ハナシチュウ デシタ」と表示されるときは、この設定にしてみてください。

次回口座振替のお知らせ (Infor

日ごろ、NTTをご利用いただきましてありがとうござい

次の金額を平成 11 年 12 月 15 日ご指定の口座より振

お客さま電話番号	ご請求年月
(03)0000-0000	平成 11 年 11 月分

料金内訳名	金額 (円)
回線使用料(基本料) (住宅用)	1,750
プッシュ回線使用料	390
キャッチホン使用料	300
セット割引	-50
ダイヤル通話料	7,698
(内訳) テレチョイス適用分	(1,648)

NTTの口座振替のお知らせの例

9 ストップ ボタンを押します。

設定が終了しスタンバイ状態に戻ります。

`03/24     FAX/TEL`（例）

2章
ファクスを送信する

この章では、B-20を使ってファクスを送信する方法について説明します。

送信する原稿は、自動給紙装置(ADF)にセットします。B-20で使用できる原稿については、「5章 原稿のセットとコピー、スキャン」(→5-1ページ)を参照してください。

ファクスを送る

B-20は、送信先のファクス番号を呼び出しながら原稿を読みこんでメモリに保存し、電話がつながると、残りの原稿を読みこみながら原稿を送ります。メモリに記憶しながら送信するので、この方法を「メモリ送信」といいます。

① カラーか白黒を選びます。

カラー/白黒ボタンを押すと、カラー、白黒が切り替わります。

ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

② 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。

LCDディスプレイの表示(例)

メモリ シヨウ リョウ 0%
ゲンコウ ガ アリマス

③ ダイヤルします。(ダイヤルのしかた→右ページ)

TEL= 0337582111 (例)

●メモリに記憶できる枚数

B-20のメモリは、最大42ページの原稿を記憶できますが、写真や絵が多い原稿や、文字が細かい原稿は、保存できるページ数が少なくなります。

B-20では、同時に複数の処理ができるので、原稿を読みこんでメモリに保存しているときでも、ファクスを受信したり、印刷することができます。

送信先のファクス機器にカラーファクスの機能がないときは、カラーでは送信できません。

●メモリ使用量

メモリ使用量が100パーセントに近いときは、メモリ送信はできません。メモリ内のファクスを印刷してメモリを空けるか、手動送信してください。

手動送信→「接続した電話機を使ってファクスを送る」2-6ページ

●解像度、読み取り濃度の調整

→「解像度を変える」2-7ページ、「読み取り濃度を変える」2-8ページ

●2枚以上の原稿をセットするとき

給紙レバーを(左)にしてください。

●2枚以上セットできない原稿

厚い紙の原稿、はがき・名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。これらの原稿は給紙レバーを(右)にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

ダイヤルのしかた

（くわしくはつぎのページ）

相手のファクス番号は、つぎのどれかの方法でダイヤルします。

●テンキーでダイヤルする

送信先のファクス番号をテンキーで順に押します。

●ワンタッチダイヤル

送信先が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。グループ（複数の送信先）が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「ワンタッチダイヤルを登録する」3-2ページ、「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

●短縮ダイヤル

短縮ボタンを押して、テンキーで送信先の短縮ダイヤル番号（2桁）を押します。グループ（複数の送信先）が登録されているときは、そのすべての送信先に送信されます。

送信先の登録→「短縮ダイヤルを登録する」3-6ページ、送信先の登録→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

●コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータからファクス番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●自動的な原稿読みこみ

スピードダイヤル（短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、グループダイヤル）でダイヤルしたときは、スタート/スキャンボタンを押さなくてもダイヤルして5〜10秒で自動的に原稿の読みこみとファクス番号の呼び出しが始まります。

操作パネルの「送信機能設定」メニューで「ダイヤル タイム アウト」の設定（→10-5ページ）を「シナイ」にすると、自動的には読みこまれないのでスタート/スキャンボタンを押してください。60秒以内にスタート/スキャンボタンを押さないと、送信はキャンセルされ、スタンバイ状態に戻ります。

この設定は、Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]の[自動スタート]でも変更できます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●受け付け番号

送受信するファクスごとに自動的につけられる番号です。送信は0001から、受信は5001からふられます。通信管理レポートでどのファクスかを区別するのに役立ちます。

●送信結果レポート

送信結果レポートを印刷するように設定されていれば、送信結果レポートかエラー送信レポートが印刷されます。

●相手が話し中のとき

受け付け番号が表示された後、

ジドウ リダイヤル

と表示されます。

4 スタート/スキャンボタンを押します。

原稿の読みこみと、ファクス番号の呼び出しが始まります。

送信中の表示（例）

```
ソウシン
ウケツケ バンゴウ 0012
ヨミコミ チュウ    P.001
          0337582111
ヨビダシ チュウ
ソウシン オワリマシタ
```

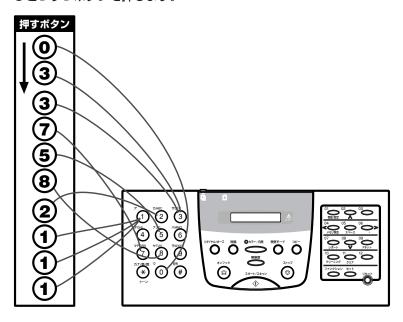
←送信が終わると、表示されます。

ダイヤルのしかた

ファクス送信先などのダイヤルには、主に3つの方法があります。

テンキーでダイヤルする方法

電話番号を、テンキーで順に押します。

たとえば、「03-3758-2111」をダイヤルするには、つぎのようにひとつずつボタンを押します。

●B-20を内線に接続しているとき

内線（構内回線）から外線番号に送るときは、最初に外線呼び出し番号（一般には「0」）を押し、リダイヤル/ポーズ ボタンを押し、送信先のファクス番号を入力してください。

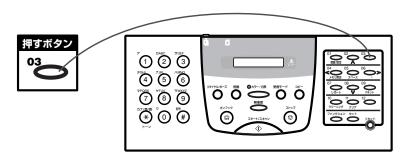
TEL=0p0337582111（例）

●誤ったボタンを押したとき

ストップ ボタンを押してからやりなおします。

ワンタッチダイヤル

電話番号が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。

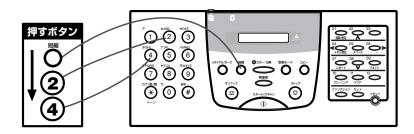
たとえば、「03-3758-2111」という電話番号がワンタッチダイヤルの「03」に登録されているときは 03 ボタンを押します。

ワンタッチボタンに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで、複数の送信先に順にファクスが送信されます。

●「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示されたとき

登録されていないワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルのボタンを押したときに表示されます。他のボタンを押すか、そのボタンに送信先を登録してください。

短縮ダイヤル

短縮ボタンを押して、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を押します。

たとえば、「03-3758-2111」という電話番号が、短縮ダイヤルの「＊24」に登録されているときは、短縮、②、④の順にボタンを押します。

短縮ダイヤルに、グループダイヤルとして複数の電話番号を登録しておくと、短縮ダイヤルを押すだけで、複数の送信先に順に送信されます。

コンピュータでダイヤルする

Desktop Managerを使って、コンピュータからファクス番号をダイヤルすることもできます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

接続した電話機を使ってファクスを送る

B-20に子電話を接続しているときは、受話器を取って相手と話してからファクスを送ることができます。これを「手動送信」といいます。手動送信では、相手と電話で話をしてからファクスを送信することができるので、相手が1本の電話回線を電話とファクスの両方に使っているときなどに便利です。

B-20の(オンフック)ボタンを使って子電話を使わずに手動送信することもできます。この場合は、相手と話すことはできません。

1 カラーか白黒を選びます。

原稿排紙トレイを開き、(カラー/白黒)ボタンを押すと、カラーと白黒が切り替わります。

ランプがついているときは、カラーで送られます。ランプが消えているときは、白黒で送られます。

B-20の(オンフック)ボタンを使って子電話を使わずに手動送信することもできます。この場合は、相手と話すことはできません。

●解像度や読み取り濃度の調整

→「解像度を変える」2-7ページ
→「読み取り濃度を変える」2-8ページ

2 原稿をセットし、原稿ガイドをよせます。

LCDディスプレイの表示（例）

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲ゛ンコウ ガ゛ アリマス
```

3 子電話から電話するか、(オンフック)ボタンを押して、B-20のテンキーやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで電話をかけます。

B-20本体でダイヤルすると、LCDディスプレイに電話番号が表示されます。

```
TEL=  0337582111
```
（例）

→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

●番号を間違ったとき

(オンフック)ボタンを押すか、受話器を戻して、3の操作からやりなおしてください。

●受話器を上げないで、(オンフック)ボタンを押したとき

相手の声は聞こえますが、あなたの声は相手には聞こえません。話をするときは受話器を上げてください。

5の操作では、(スタート/スキャン)ボタンを押す操作だけ行ってください。(オンフック)ボタンを押す必要はありません。

4 相手が応答したら、受話器で会話をします。

ファクスを送信するときは、相手に、ファクス機器のスタートボタンを押すなどの受信の操作をしてもらうように伝えてください。

5 ピーという音が聞こえたら、B-20の(スタート/スキャン)ボタンを押して、受話器を戻します。

LCDディスプレイには、「ソウシン」という文字と受け付け番号が表示されます。

```
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ 0012
```
（例）

●(スタート/スキャン)ボタンを押す前に受話器を戻したとき

電話が切れ、ファクスは送れません。

解像度を変える

B-20は、キヤノンのGENESIS（超鮮明画像処理技術）によって、原稿にきわめて近い画質でファクスを送信できます。また、原稿にもっとも適した状態でファクスを送信するために、解像度を使い分けることができます。解像度は、つぎのように設定します。

1 カラーの解像度を設定したいときは カラー/白黒 ランプがついた状態に、白黒の解像度を設定したいときは消えた状態にします。
カラー/白黒 ボタンを押すと、押すたびに切り替わります。

2 解像度 ボタンを押します。
設定されている解像度がLCDディスプレイに表示されます。

ﾌｧｸｽ ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

（例）

3 設定したい解像度が表示されるまで、 解像度 ボタンを押します。

最後に表示した解像度に設定されます。約10秒間何も操作しないと、LCDディスプレイの表示がスタンバイ状態に戻ります。

●カラーの2つのモード

ファクス ヒョウジュン
イラストやプレゼンテーション資料のような階調の少ないカラー原稿に適したモードです。B-20どうしならカラーBJカートリッジBC-21eで印刷するのに適しています。「ファクス ファイン」より、短い時間で送信できます。解像度は200×200dpi。

ファクス ファイン
写真や風景画など、階調の多い自然なカラー原稿に適したモードです。B-20どうしならカラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷するのに適しています。解像度は200×200dpi。ただし、カラーBJカートリッジBC-22eフォトをセットしているときは、ファクスを受信してもすぐには印刷されないので、「原稿プリント」で印刷してください。
原稿プリント→「メモリに保存されているファクスを印刷する」（4-10ページ）

●白黒の3つのモード

ファクス ヒョウジュン
8pels/mm×3.85lines/mmで、通常の文字原稿に適しています。

ファクス ファイン
8pels/mm×7.7lines/mmで、細かい文字原稿に適しています。

ファクス シャシン
8pels/mm×7.7lines/mmでハーフトーンに対応しているので、写真原稿などに適しています。写真などの濃淡が、モノクロではなく64階調のグレースケールで読みこまれます。送信時間は長くなりますが、写真などをよりきれいに送信できます。

読み取り濃度を変える

送信するファクスの濃度を、「濃く」、「普通」、「薄く」の3段階に設定できます。

原稿の色が薄くてかすんだり、はっきりしないときなどは「濃く」を選んでください。原稿の色が濃すぎるときや、原稿の用紙に色がついているときは「薄く」を選んでください。

工場出荷時は、「普通」に設定されています。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セット ボタンを押します。

キホン セッテイ

4 セット ボタンを押してから、 ヨミトリ ノウド゛ セット と表示されるまで 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

5 セット ボタンを押します。

設定されている読み取り濃度が表示されます。

フツウ （例）

6 設定したい読み取り濃度が表示されるまで 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

7 セット ボタンを押します。

設定が保存されます。

8 ストップ ボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24　　FAX/TEL （例）

セット ボタンを押す前に ストップ ボタンを押すと、読み取り濃度の設定は中止され、スタンバイ状態に戻ります。

●B-20をコンピュータとつないで使うとき

設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

送信を中止する

ファクスの送信を中止するときは、つぎのように操作します。

1 ストップボタンを押します。
手動送信していたときは、すぐに送信が中止されます。
メモリ送信していたときは、つぎのメッセージが表示されます。

ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
ハイ=(*) イイエ=(#)

2 メモリ送信を中止するときは、＊ボタンを押します。
メモリ送信を続けるときは、#ボタンを押します。
ストップ キーガ オサレマシタ と表示されます。

●原稿がB-20の中に残ったとき
操作パネルを開けて取り除いてください。
→「紙づまり」9-3ページ

設定によっては、エラー送信レポートが印刷されます。

●自動リダイヤルの中止

自動リダイヤルを中止するときは、つぎのように操作します。（リダイヤル待機中にストップボタンを押しても中止できません）

1 リダイヤルが開始されるまで待ち、ダイヤル チュウ と表示されたら、ストップ ボタンを押します。

2 ハイ=(*) イイエ=(#) と表示されたら、＊ボタンを押します。
ピーポーピーポーと音が鳴り、つぎのメッセージが交互に表示されます。

ストップ キーガ オサレマシタ
ウケツケ バンゴウ 0002（例）

●リダイヤル待機中に送信を中止するには
1 ファンクションボタンを押し、メモリ照会ボタンを押します。
2「ゲンコウ クリア」と表示されるまで、∨ボタンか∧ボタンを押し、セットボタンを押します。
受け付け番号が表示されます。
2通以上のファクスがリダイヤル待機中になっているときは∨ボタンか∧ボタンを押して、送信を中止するファクスを選びます。
>ボタンか<ボタンを押すと、そのファクスのファクス番号、受け付け時刻が表示されます。
3 セットボタンを押します。
「クリアシテ イイデスカ？」、「ハイ＝(＊) イイエ＝(＃)」と表示されます。
4 ＊ボタンを押します。
ファクスがクリアされ、送信が中止されます。
5 ストップボタンを押します。
スタンバイの状態に戻ります。

B-20の電源を切ると、自動リダイヤルで待機中の原稿や、受信してメモリに保存されている原稿は、すべて消えてしまいます。

リダイヤルする

テンキーでダイヤルした相手にもう一度送信するときは、原稿をセットして リダイヤル/ポーズ ボタンを押し、スタート/スキャン ボタンを押します。

最後にテンキーでダイヤルした番号に送信されます。

中止するときは、ストップ ボタンを押します。

リダイヤル/ポーズ ボタンは、自動リダイヤルの設定に関係なく、使うことができます。

●自動的な原稿読みこみ

スピードダイヤル（短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、グループダイヤル）でダイヤルしたときは、スタート/スキャン ボタンを押さなくてもダイヤルして5～10秒で自動的に原稿の読みこみとファクス番号の呼び出しが始まります。

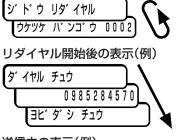
操作パネルの「送信機能設定」メニューで「ダイヤル タイム アウト」の設定（→10-5ページ）を「シナイ」にすると、自動的には読みこまれないので スタート/スキャン ボタンを押してください。60秒以内に スタート/スキャン ボタンを押さないと、送信はキャンセルされ、スタンバイ状態に戻ります。

この設定は、Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]の[自動スタート]でも変更できます。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

送信先が話し中のときに自動的にリダイヤルする

　メモリ送信では、話し中などで相手につながらなかったとき、そのファクス番号に自動的にもう一度送信(自動リダイヤル)されます。リダイヤルする回数やリダイヤルするまでの待ち時間も設定できます。

自動リダイヤル待機中の表示(例)

送信中の表示(例)

●「ハナシチュウ デシタ」と表示されるとき

　指定された回数、リダイヤルしても送信できなかったときに表示されます。しばらく待ってから送信しなおしてください。

　ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使ってメモリ送信したときは、登録されている名前も表示されます。

●自動的にリダイヤルしないようにするには

→「自動リダイヤル」10-5ページ

●リダイヤル間隔や回数を変更するには

→「自動リダイヤルの設定をする」次ページ

●自動リダイヤルの設定をする

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 セット ボタンを押します。

キホン セッテイ

3 ソウシン キノウ セッテイ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

ECMソウシン

5 ジ゛ド゛ウ リダ゛イヤル と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

6 セット ボタンを押します。

スル (現在の設定が表示されます)

「シナイ」と表示されているときは、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押して「スル」にします。

7 セット ボタンを押します。

リダ゛イヤル カイスウ

8 セット ボタンを押します。

2カイ (現在の設定が表示されます)

9 テンキーを使って、リダイヤル回数を入力します。

5カイ (例)

10 セット ボタンを押して、リダイヤル回数を登録します。

リダ゛イヤル カンカク

11 セット ボタンを押します。

2フン (現在の設定が表示されます)

12 テンキーを使って、リダイヤルする時間の間隔を入力します。

5フン (例)

13 セット ボタンを押して、リダイヤル間隔を登録します。

ダ゛イヤル タイム アウト

14 ストップ ボタンを押して、スタンバイ状態に戻します。

03/24　　FAX/TEL (例)

●B-20をコンピュータとつないで使うとき

設定の変更はDesktop Managerで行ってください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●リダイヤル回数

1〜15回の間で設定します。工場出荷時は2回に設定されています。

●リダイヤル間隔

2〜99分の間で設定します。工場出荷時は2分に設定されています。

複数の送信先に一度に送る（同報送信）

同じファクスを複数の送信先に一度に送れます。これを同報送信といいます。

ワンタッチダイヤル（12件まで）、短縮ダイヤル（100件まで）、テンキーでのダイヤル（1件のみ）を組み合わせて、113件までの送信先に送れます。

1 原稿排紙トレイを開き、原稿をセットします。

2 送信先のダイヤルをくり返します。

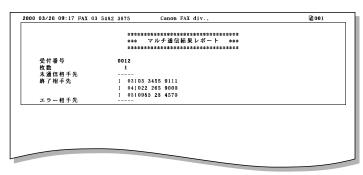
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルでダイヤルできます。
テンキーでも1件だけダイヤルできます。テンキーでダイヤルしたら、その後で［セット］ボタンを押してください。

3 すべての送信先のダイヤルをしたら、［スタート/スキャン］ボタンを押します。（押さなくても、5～10秒間たつと自動的に原稿が読みこまれます）

設定によっては、マルチ通信結果レポートが印刷されます。

2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875　Canon FAX div.,　001

```
**********************************
***   マルチ通信結果レポート   ***
**********************************

受付番号          0012
枚数                 1
未通信相手先      -----
終了相手先        [  03]03 3455 9111
                  [  04]022 265 9000
                  [  05]0985 28 4570
エラー相手先      -----
```

*カラー送信のときは、受け付け番号の横に「：カラー送信」と表示されます。

●グループダイヤルの登録

同じ複数の送信先にたびたびファクスを送信するときは、グループダイヤルが便利です。
→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ、
グループダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

●入力の順序と送信の順序

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーダイヤルは、どのような順序で入力してもかまいません。短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、テンキーダイヤルの順に送られます。

●ダイヤルの間隔

最初にワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルでダイヤルしてから、5秒間、つぎのダイヤルをしないと、自動的にファクスは送られます。また、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを複数ダイヤルするときも、10秒間何もしないと自動的にファクスの送信が開始されます。

●ダイヤルした番号を確認するには

［ファンクション］ボタンを押してから、［08 ∨］ボタンか［02 ∧］ボタンを押すと、番号が次々と表示されます。

●「メモリガ イッパイデス」と表示されたら

原稿の読みこみ中にメモリがいっぱいになると、表示されます。B-20の中に読みこみ途中の原稿が残ったときは、操作パネルを開けて取り除き、送信できなかった原稿はいくつかに分けて送信しなおしてください。

●マルチ通信結果レポートが印刷されるのは

送信結果レポートをファクス送信のたびに印刷する設定のときは、同報送信するたびに印刷されます。エラーのときだけ印刷する設定のときは、1件でもエラーが発生すると印刷されます。

送信結果のレポートを印刷する

送信の結果は、通信管理レポートや送信結果レポートを印刷して、確認することができます。

通信管理レポート

通信管理レポートには、最新の20件の送受信の結果が印刷されます。

工場出荷時は、ファクスの送受信が20件行われるごとに自動的に印刷されるように設定されています。

●通信管理レポートの設定
→「メニューの使い方」10-2ページ

2000 03/28 09:17 FAX 03 5482 3875 Canon FAX div., 001

*** 通信管理レポート ***

開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード	枚数	通信結果
*03/26 09:03	0985 28 4570	ﾐﾔｻﾞｷ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0008	送信 ECM	7	OK 03'06
*03/26 09:14	+1 714 438 3000		5006	自動受信 ECM	4	OK 02'05
*03/26 10:11	011 728 9000		5007	自動受信	2	OK 01'39
*03/26 11:02	027 224 5033	ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0010	送信 ｶﾗｰ	0	NG 00'00
						0 #018
03/26 15:48	027 224 5033		5008	手動受信	1	OK 00'51
03/26 23:30	03 3455 9000	ｵｷｬｸｻﾏ ｿｳﾀﾞﾝ ｾﾝﾀ	0009	送信	3	OK 04'02
03/27 08:14	098 869 9801	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ﾅﾊ	0011	送信	0	NG 00'00
						0 #018
03/27 08:15	098 869 9801		5009	自動受信	1	OK 00'54
03/27 09:12	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾎﾝｼｬ	0012	同報送信 ｶﾗｰ	3	OK 04'07
03/27 09:16	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc	0012	同報送信	1	NG 01'37
						2 STOP
03/27 1[illegible]:48	027 224 5033	ﾏｴﾊﾞｼ ｴｲｷﾞｮｳ ｼｮ	0[illegible]13	送信	2	OK 02'39

つぎのように操作するといつでも印刷できます。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 07 レポート ボタンを押します。

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

3 セット ボタンを押します。

通信管理レポートが印刷され、スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL （例）

送信結果レポート

送信結果レポートは、工場出荷時は、エラーが発生したときにだけ印刷されるように設定されていますが、送信するごとに印刷したり、まったく印刷しないように設定することもできます。

●送信結果レポートの設定
→「メニューの使い方」10-2ページ

開始時刻
最後に送信した時刻です。

通信時間
最後の送信にかかった時間です。リダイヤルが行われたときの、送信時間の合計ではありません。通信管理レポートと送信結果レポートを照合すると、その原稿の送信が何回試みられ、それぞれの送信で何ページ送られ、どれだけ時間がかかったかがわかります。

枚数
問題なく送信できた原稿のページ数です。

通信結果
1回、または設定されている自動リダイヤルの回数内で、全ページ送信できたときは「OK」、原稿の一部、またはすべてのページが送信できなかったときは「NG」と表示されます。

```
2000 03/26 09:17 FAX 03 3455 9111        Canon FAX div..            001

                 ******************************
                 ***    送信結果レポート    ***
                 ******************************

        次の送信は正しく終了しました

        受付番号              0031
        相手の電話番号              03 3455 9111
        相手先略称            ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
        開始時刻              03/26 09:17
        通信時間              02'34
        枚数                    5
        通信結果              OK
```

送信結果レポート

白黒原稿をメモリ送信で送るときは、送信結果レポートに、原稿の最初のページの一部を印刷することができます。

カラー送信のときは、受け付け番号の横に「：カラー送信」と表示されます。

●最初のページをつけるかどうかの設定
→「メニューの使い方」10-2ページ
カラーファクスのときは、設定にかかわらず最初のページは印刷されません。

```
2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875     Canon FAX div..          001

              ******************************
              ***    エラー送信レポート    ***
              ******************************

     次の送信はエラー終了しました

     受付番号             0025
     相手の電話番号             03 3455 9111
     相手先略称           ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
     開始時刻             11/25 20:02
     通信時間             00'00
     枚数                   0
     通信結果             NG          #018
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED
SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

送信しようとしたファクスの最初のページが印刷されます。

送信画像をつけた送信結果レポート

外線や海外へのダイヤル

B-20が会社などの内線に接続されていて外線にダイヤルするときや、海外にダイヤルするときは、ファクス番号の間や最後に待ち時間(ポーズ)を入れる必要があります。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録するときは、ポーズも含めて登録しておきます。海外へのダイヤルでは、ポーズを入れる位置や長さは国によって異なります。あらかじめ確認しておいてください。

ポーズを入れる

ファクス番号の間や最後にポーズを入力するときは、つぎのように操作してください。

1 ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録で、送信先のファクス番号を入力するように表示されたら、テンキーで送信先のファクス番号を入力します。

2 ポーズを入れたいところで、リダイヤル/ポーズ ボタンを押します。

番号の間に入れたポーズは小文字の「p」で表示されます。

番号の最後にポーズを入れるときは、リダイヤル/ポーズ ボタンを押してから、セット ボタンを押します。

番号の最後のポーズは、大文字の「P」で表示されます。

●ポーズの長さ

「p」(小文字)ひとつ分の長さは2秒です。待ち時間を長くしたいときは、複数のポーズを入れます。

「P」(大文字)ひとつ分の長さは、10秒です。

番号の間に入れたポーズ(p)の長さは、操作パネルから「送信機能設定」で変更することができます。また、コンピュータのDesktop Managerで、[設定]メニューの[ファクス設定]を開いて、[ファクス送信]タブの[詳細設定]をクリックし、[ポーズ時間]で変更することもできます。

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う

使っている回線がダイヤル(パルス)回線でも、いったん回線を接続すると、プッシュ(トーン)信号に切り替えることができます。プッシュホンサービスなどを使えるようになります。

1 オンフックボタンを押すか、子電話の受話器を取り、テンキーで相手の電話番号をダイヤルします。

2 カナ/英/数（トーン）ボタンを押してプッシュ(トーン)信号に切り替えます。
LCDディスプレイに「T」と表示され、プッシュ信号が使えるようになります。

3 相手の指示にしたがい、テンキーのボタンを押して、プッシュホンサービスを利用します。
ファクスを受信するときはスタート/スキャンボタンを押します。

4 終わったら、オンフックボタンを押すか、受話器を戻して、通話を切ります。

●ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録

ファクス番号の後にカナ/英/数（トーン）ボタンを入力しておくと、回線がつながった後にプッシュ信号を使えるようになります。

例：

①②③④⑤⑥ リダイヤル/ポーズ リダイヤル/ポーズ リダイヤル/ポーズ カナ/英/数（トーン） カナ/英/数（トーン） ③

[リダイヤル/ポーズ]ボタン

```
TEL=123456pppT*3
```

この例では、ファクス番号(123456)にダイヤルした後、相手の応答を待つために6秒間(2秒×3)のポーズ(ppp)を入れてから、プッシュ信号(T)に切り替えています。ここまでをワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておきます。その後は、相手の指示にしたがってテンキーのボタンを押し(＊3)、サービスをご利用ください。

カナ/英/数（トーン）ボタンは、プッシュ信号に切り替えるときは「T」、その後の操作では「＊」とLCDディスプレイに表示されます。

Fネットに接続する

Fネット（ファクシミリ通信網）は、NTTの有料サービスです。

ご利用になるときは、「G3の16Hz」で契約してください。

ここでは、Fネットのサービスの概要とB-20での代表的な使い方を説明します。

●Fネットについて

くわしくは、お近くのNTTにお問い合わせください。

B-20は、1300Hzのサービスには対応していません。

Fネットのサービス

Fネットには、つぎのようなサービスがあります。

自動記載 送信者のファクス番号や送信日時が、送信されるファクスに自動的につけられます。

再コール 相手が話し中のとき、自動的にかけなおします。B-20の自動リダイヤルと同様の機能です。

送達通知 送信の結果が通知されます。

不達通知 ファクスが送信できなかったとき、通知されます。

短縮ダイヤル 送信先を短縮ダイヤルに登録しておくと、送信のとき、ダイヤルする手間が省けます。B-20の短縮ダイヤルとは別のサービスです。

同報通信 同じファクスを一度に複数の相手に送信できます。

案内サービス いろいろな情報サービスを利用できます。ファクシミリボックスでは、送信中でも、ボックスでファクスを受信できます。

閉域接続 特定のグループ内だけで通信できます。

親展通信 暗証番号を使って、特定の相手とだけ通信できます。

Fネットのサービス番号

契約の内容によって操作手順が異なる場合があります。

Fネットのサービス番号はつぎのとおりです。

区分				操作手順
発信の場合	一般電話番号の場合			161．○○○○○
	短縮ダイヤル番号の場合			162．＊△△＃
短縮ダイヤルなどの登録の場合	短縮ダイヤルの登録・変更			162．＃312＊△△○○○○○★＊△△○○○○○……＊△△○○○○○★
	短縮ダイヤルの登録確認			162．＃318＊◇＊◇……＊◇＃
	短縮ダイヤルの消しかた			162．＃319＊△△★＊△△★……＊△△★
	マークシート装置による登録			162．＃313
同報通信の場合	個別指定	一般電話番号の場合		162．＃213○○○○○＊○○○○○……＊○○○○○＃
		短縮ダイヤル番号の場合		162．＃213＊△△＊△△…………＊△△＃
	グループ指定			162．＃214＊◇＊◇…………＊◇＃
	一括指定			162．＃215＃
親展送信の場合	発信の場合	一般電話番号の場合		162．1243○○○○○
		短縮ダイヤル番号の場合		162．＃243＊△△＃
	受け取りの場合			161．1244××××
	暗証番号の登録・変更			161．1242××××（旧）××××（新）
送達通知利用の場合	一般電話番号の場合			162．＃52○○○○○
	短縮ダイヤル番号の場合			162．＃52＊△△
	同報通信の場合	個別指定	一般電話番号の場合	162．＃213＊＃52○○○○○＊○○○○○….＊○○○○○＃
			短縮ダイヤル番号の場合	162．＃213＊＃52＊△△＊△△…………＊△△＃
		グループ指定		162．＃214＊＃52＊◇＊◇…………＊◇＃
		一括指定		162．＃215＊＃52＃
ファクシミリ案内サービス（取り出し）				162．＃284○○○○○NN（＊PP）＃
ファクシミリボックスの場合	セット			161．1431（アナウンス）
	解除			161．1430（アナウンス）

○○○○○　相手電話番号(市外局番を含む)
△△　短縮ダイヤル番号
◇　短縮ダイヤルのグループ番号(0〜9)
××××　親展通信の暗証番号
．　第2ダイヤルトーン(プップップッ)(これを確認してからつぎの操作に移ってください)
NN　案内情報番号(01〜99)
PP　ひとつの案内情報番号の中に2ページ以上の情報があるとき、途中のページから最後のページまでを取り出すことができます。この場合は、最初のページ番号(02〜10)を指定します。
★　セット完了音(プップップッ)(これを確認してからつぎの操作に移ってください)

●ダイヤル回線(パルス回線)に接続しているとき

（＊：カナ/英/数・トーン）ボタンを押してプッシュ信号が使えるように切り替えてください。そうしないと「＊」や「＃」を入力できません。

→「ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う」2-17ページ

Fネットの登録

Fネットのサービス番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録することができます。ここでは例として、「03 3758 2111」と「03 3455 9111」のふたつの送信先に同報送信する方法について説明します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録するとき、「TEL=」と表示されたら、続けてつぎのように操作してください。

1 テンキーで、Fネットの同報通信のサービス番号「162」を入力します。

TEL=162_

2 09 Fネット ボタンを押します。

TEL=162._ （「.」が入力されます）

3 テンキーで、個別指定のサービス番号「#213」を入力します。

TEL=162.#213_

4 テンキーで、最初の送信先のファクス番号「03 3758 2111」を入力します。

TEL=30337582111_ （例）

5 カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押します。

電話番号と電話番号の間には「＊」を入力します。

TEL=0337582111*_ （例）

6 つぎの送信先のファクス番号「03 3455 9111」を入力します。

TEL=*0334559111_ （例）

7 記号 # ボタンを押します。

TEL=0334559111#_ （例）

8 セット ボタンを押します。

あとは、通常のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルと同じように登録します。

●「.」の入力

「.」はFネットの第2ダイヤルトーンを自動的に検知するための記号で、ファンクション ボタン、09 Fネット ボタンの順に押すと入力できます。

「.」を入力しても、うまくつながらないときは、「.」を入力したあとでリダイヤル/ポーズ ボタンを2回押してから、つぎの番号を入力してください。

TEL=162.PP_

●空白の入力

見やすくするため、市外局番、局番、電話番号の間に 05 スペース ボタンで空白を入れることもできます。

●ダイヤル回線（パルス回線）に接続しているとき

カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押してプッシュ信号が使えるように切り替えてから入力してください。そうしないと「＊」や「#」を入力できません。

TEL=162.T#213_

→「ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う」2-17ページ

3章 スピードダイヤルの登録

ファクス番号(電話番号)をダイヤルする方法には、テンキーを使ってダイヤルする方法のほかに、あらかじめファクス番号を登録しておいてダイヤルするスピードダイヤルがあります。

スピードダイヤルには、つぎの3つがあります。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルに送信先のファクス番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけでダイヤルできます。12件まで登録できます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに送信先のファクス番号を登録しておくと、(短縮)ボタンを押して登録した2桁の数字のキーを押すだけでダイヤルできます。100件まで登録できます。

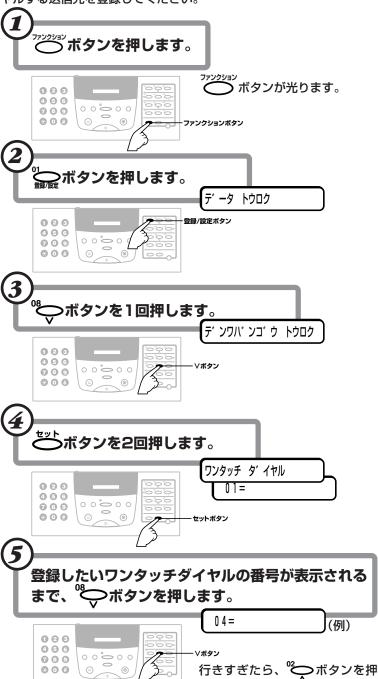
グループダイヤル

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、複数の他のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録できます。これをグループダイヤルといいます。グループダイヤルをまとめて登録したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使うと、登録したすべての送信先に一度にファクスを送信できます。

● コンピュータと接続して使うとき

スピードダイヤルは、Desktop Managerで登録してください。B-20の操作パネルで登録しても、上書きされ、消去される可能性があります。操作パネルで登録したスピードダイヤルはDesktop Managerには表示されません。また、Desktop Managerでは、漢字などの全角文字を使えますが、B-20のLCDディスプレイはこれらの文字を表示できないので「......」と表示されます。B-20でもきちんと表示したいときは、送信先の名前は半角のカタカナや英数字で登録してください。全角文字で登録しても、B-20のLCDディスプレイには「......」としか表示されません。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルボタンには、12件まで登録できます。よくダイヤルする送信先を登録してください。

●B-20をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使ってコンピュータから登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

ワンタッチダイヤルの使い方→「ダイヤルのしかた」2-4ページ

01から12までのどれかに登録します。

すでにファクス番号が登録されているときは、その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

グループダイヤルの変更や削除→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

ワンタッチダイヤルの登録を続けるときは、5〜10の操作をくり返します。

スタンバイ状態に戻ります。

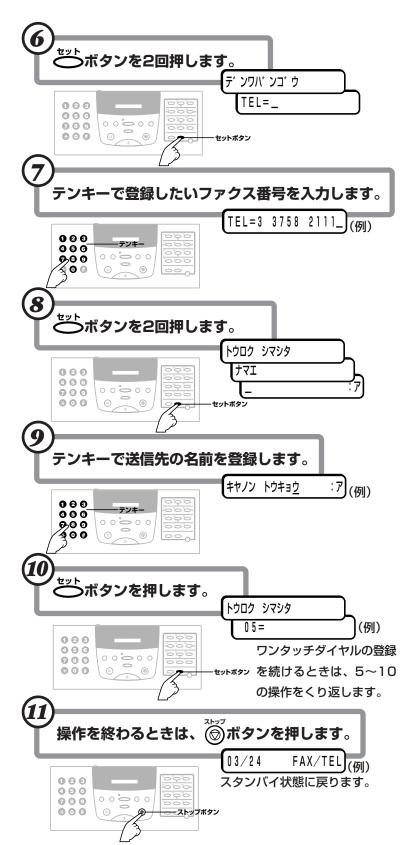
●ファクス番号

スペースを含めて120桁まで入力できます。

番号の間にスペースを入れるとき

05 スペース ボタンを押します。（スペースは番号を読みやすくするためのもので、実際にダイヤルするときは無視されます）

入力されているファクス番号を消去するとき

04 メモリ照会 ボタンを押します。

カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときは 11 クリア ボタンを押します。

番号の間に待ち時間がいるとき

必要な数だけ リダイヤル/ポーズ ボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

●送信先の名前

スペースを含めて16文字まで入力できます。

文字の入力→「文字を入力する」1-4ページ

●続けてワンタッチダイヤルを変更、削除するとき

「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」(→3-4ページ)、「ワンタッチダイヤルを削除する」(→3-5ページ)の4以降の操作をします。

ワンタッチダイヤルの一覧の印刷→「スピードダイヤルの一覧を印刷する」3-11ページ

ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する

ワンタッチダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更します。

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

データ トウロク

2 08 ∨ ボタンを1回押します。

デンワバンゴウ トウロク

3 セット ボタンを2回押します。

ワンタッチ ダイヤル　　01=03 3455 9111 (例)

4 変更するワンタッチダイヤルの番号が表示されるまで08 ∨ ボタンか02 ∧ ボタンを押します。

04=03 3758 2111 (例)

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。
グループダイヤルの変更や削除→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

5 セット ボタンを2回押します。

デンワバンゴウ　　TEL=3 3758 2111_ (例)

●ファクス番号を変更するとき

04 < メモリ照会 ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで、登録されているファクス番号の上に新しいファクス番号を入力するか、11 クリア ボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

TEL=43 211 9111_ (例)

●ファクス番号
120桁まで入力できます。

6 セット ボタンを2回押します。

登録されている名前が表示されます。

ナマエ　　キヤノン ハンバイ :ア (例)

●名前を変更するとき

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力します。

キヤノン カナガワ :ア (例)

●名前(送信先の名前)
最大16文字まで入力できます。
文字の入力→「文字を入力する」1-4ページ

7 セット ボタンを押します。

つぎのワンタッチダイヤルが表示されます。

05=0462 23 8221 (例)

●続けて他のワンタッチダイヤルも変更するとき
4の操作からくり返します。

●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき
「ワンタッチダイヤルを登録する」(→3-2ページ)の5以降の操作を行います。

●続けて他のワンタッチダイヤルを削除するとき
「ワンタッチダイヤルを削除する」(→3-5ページ)の4以降の操作を行います。

8 操作を終わるときは、ストップ ボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL (例)

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルに登録した送信先を削除するときは、つぎのように操作します。

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08 ∨ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

3 セットボタンを2回押します。

ワンタッチ ダ゛イヤル　　01=03 3455 9111（例）

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

グループダイヤルの変更や削除→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

4 削除するワンタッチダイヤルボタンの番号が表示されるまで08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

04=03 3758 2111（例）

5 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL=3 3758 2111_（例）

6 11 クリアボタンを押します。

ファクス番号が削除されます。

7 セットボタンを押します。

ファクス番号を削除すると、名前も削除されます。

クリア シマシタ　　ナマエ

8 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24　　FAX/TEL（例）

●続けて他のワンタッチダイヤルも削除するとき

セットボタンを2回押した後、4の操作からくり返します。

●続けてワンタッチダイヤルを登録するとき

セットボタンを2回押した後、「ワンタッチダイヤルを登録する」(→3-2ページ)の5以降の操作を行います。

●続けて他のワンタッチダイヤルを変更するとき

「ワンタッチダイヤルのファクス番号や名前を変更する」(→3-4ページ)の4以降の操作を行います。

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、送信先を100件まで登録できます。

1 ファンクションボタンを押し、01登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

3 セットボタンを押してから、08ボタンを1回押します。

タンシュク ダ゛イヤル

4 セットボタンを押します。

＊00＝

5 短縮ボタンを押してテンキーで「00」〜「99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号を押すか、「＊00」〜「＊99」のうち登録する短縮ダイヤルの番号が表示されるまで08ボタンか02ボタンを押します。

＊05＝（例）

6 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　　TEL＝_

7 テンキーで登録したいファクス番号を入力します。

TEL＝3 3758 2111_（例）

8 セットボタンを押します。

トウロク シマシタ　　ナマエ

9 もう一度セットボタンを押してから、テンキーで送信先の名前を登録します。

キヤノン ハンバ゛イ :ア（例）

10 セットボタンを押します。

トウロク シマシタ　　＊06＝

11 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL（例）

●B-20をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使って登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

●すでにファクス番号が登録されているとき

その番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

●ファクス番号

スペースを含めて120桁まで入力できます。

番号の間にスペースを入れるとき

05スペースボタンを押します。（スペースは番号を読みやすくするためのもので、実際にダイヤルするときは無視されます）

入力されているファクス番号を消去するとき

04メモリ照会ボタンを押します。

カーソルの左の1文字が消去されます。すべて消去するときはクリアボタンを押します。

番号の間に待ち時間がいるとき

必要な数だけリダイヤル/ポーズボタンを押して、ポーズを入れます。ポーズひとつにつき、2秒の待ち時間になります。

●送信先の名前

スペースも含めて16文字まで入力できます。

文字の入力→「文字を入力する」1-4ページ

●短縮ダイヤルの登録を続けるとき

5以降の操作を行います。

●続けて短縮ダイヤルを変更、削除するとき

「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」（→3-7ページ）の5以降の操作を行います。

短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する

短縮ダイヤルに登録したファクス番号や名前を変更するときや削除するときは、つぎのように操作します。

1 ファンクションボタンを押し、01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

2 08 ∨ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク

3 セットボタンを押してから、08 ∨ボタンを1回押します。

タンシュク ダ゛イヤル

4 セットボタンを押します。

*00=03 3758 2111（例）

5 短縮ボタンを押して、テンキーで「00」～「99」のうち変更する短縮ダイヤルの番号を押すか、その番号が表示されるまで08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

*05=043 211 9111（例）

登録されているファクス番号が表示されます。グループダイヤルが登録されているときは、「グループ ダイヤル」と表示されます。

グループダイヤルの変更や削除→「グループダイヤルを登録、変更、削除する」3-9ページ

6 セットボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　TEL=43 211 9111_（例）

●ファクス番号を変更するとき

04 < メモリ照会ボタンを押して1字ずつ番号を消してからテンキーで新しいファクス番号を入力するか、11 クリアボタンを押してから新しいファクス番号を入力します。

TEL=3 3455 9111_（例）

●登録を削除するとき

11 クリアボタンを押し、セットボタンを押して、9の操作に進んでください。

7 セットボタンを2回押します。

登録されている名前が表示されます。

ナマエ　キヤノン ハンバ゛イ :ア（例）

●名前を変更するとき

テンキーで登録されている名前の上から新しい名前を入力するか、クリアボタンを押してから、新しい名前を入力します。

キヤノン カナガワ　:ア（例）

8 セットボタンを押します。

つぎの短縮ダイヤルが表示されます。

*06=0985 28 4570（例）

9 操作を終わるときは、ストップボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24　FAX/TEL（例）

●名前

最大16文字まで入力できます。

●続けて他の短縮ダイヤルも変更、削除するとき

5の操作からくり返します。

●続けて短縮ダイヤルを登録、削除するとき

「短縮ダイヤルを登録する」（→3-6ページ）の5以降の操作を行います。

グループダイヤルを登録、変更、削除する

複数の送信先によくファクスを送信するときは、それらの送信先をひとつにまとめてグループダイヤルとして登録することができます。

グループに入れる送信先は、あらかじめワンタッチダイヤルボタンか短縮ダイヤル番号に登録してください。また、それぞれのグループダイヤルは、ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルのひとつとして登録します。

グループダイヤルには、送信先を111件まで登録できます。

●B-20をコンピュータと接続して使うとき

Desktop Managerを使って登録してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

1 ファンクション ボタンを押します。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 08 ∨ ボタンを1回押します。

デ゛ンワバ゛ンコ゛ウ トウロク

4 セット ボタンを押してから、08 ∨ ボタンを2回押します。

ク゛ルーフ゜ ダ゛イヤル

5 セット ボタンを押します。

6 グループダイヤルを登録、変更、削除するワンタッチダイヤル、または、短縮ダイヤルの番号を選びます。

●ワンタッチダイヤルのとき

08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押すか、ファンクション ボタンを押してランプを消してワンタッチダイヤルボタンを押して、「01」～「12」のうち登録、変更、削除するワンタッチダイヤルボタンの番号を表示します。

番号がすでに登録されているときは、「ワンタッチ ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

●短縮ダイヤルのとき

短縮 ボタンを押してから、テンキーで、「00」～「99」のうち登録、変更、削除する短縮ダイヤルの番号(2桁)を入力します。一度、短縮ダイヤルを入力すると、08 ∨ ボタン、02 ∧ ボタンで短縮ダイヤルを選べるようになります。

番号がすでに登録されているときは、「タンシュク ダイヤル」または「グループ ダイヤル」と表示されます。

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルにすでに送信先が登録されているとき

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには、送信先かグループダイヤルのどちらかひとつを登録できます。すでに登録されている番号に上書きしてしまわないように注意してください。

すでに送信先が登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの番号にグループダイヤルを登録したいときや、グループダイヤルを登録しなおしたいときは、先に登録されている内容を削除してから登録してください。

→「ワンタッチダイヤルを削除する」3-5ページ
→「短縮ダイヤルのファクス番号や名前を変更、削除する」3-7ページ

7 セット ボタンを2回押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	TEL=

8 **送信先を登録、削除します。**

●ワンタッチダイヤルに登録されている送信先を登録するとき

ファンクション ボタンを押して ファンクション ボタンのランプを消し、登録したいワンタッチダイヤルボタンをすべて押してから、もう一度 ファンクション ボタンを押します。

●短縮ダイヤルに登録されている送信先を登録するとき

短縮 ボタンを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を入力します。短縮ダイヤル番号を複数入力するときは、この操作をくり返してください。

●グループに登録されている送信先を削除するとき

08 ∨ ボタン、02 ∧ ボタンを押して削除したい送信先が表示されたら、11 クリア ボタンを押します。

●グループそのものを削除するとき

11 クリア ボタンをくり返し押してグループ内のすべての番号を削除します。すべての番号を削除して、 TEL= と表示されたら、9の操作に進んでください。

9 セット **ボタンを2回押してから、テンキーでグループ名を入力、または、変更します。(グループを削除するときは、グループ名は入力しないで、10の操作に進んでください)**

ナマエ	キヤノン グ゛ループ゜_ :ア	(例)

10 セット **ボタンを押します。**

つぎのダイヤルやワンタッチダイヤルが表示されます。

トウロク シマシタ	04=ワンタッチ ダ゛イヤル	(例)

11 **他のグループも登録、変更、削除するときは、6〜10の操作をくり返します。**(短縮ダイヤルにグループを登録した後に、ワンタッチダイヤルにグループを登録するときは、 ファンクション ボタンを押してワンタッチダイヤルボタンで登録してください)

操作を終わるときは、 ストップ ボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL	(例)

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されていない送信先は、グループに登録できません。

08 ∨ ボタン、02 ∧ ボタンを押すと、グループに登録されている番号が順に表示されます。

●グループ名

16文字まで入力できます。

文字の入力→「文字を入力する」1-4ページ

9の操作で セット ボタンを押す前に ストップ ボタンを押すと、それまでのグループの登録、変更、削除の操作は取り消され、スタンバイ状態に戻ります。

スピードダイヤルの一覧を印刷する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルのリストを印刷することができます。

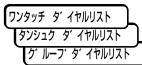
1 ファンクション ボタンを押し、07 レポート ボタンを押します。

ツウシン カンリ レポート

2 08 ∨ ボタンを1回押します。

ダ゛イヤルリスト

3 セット ボタンを押します。

4 印刷したいリストが表示されるまで 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

5 セット ボタンを押します。

●**ワンタッチダイヤルリスト、短縮ダイヤルリストを選んだとき**

ソート シュツリョク
ハイ=(＊)　　イイエ=(#)

と表示されます。

送信先の名前の順に印刷するときは カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを、番号順(ボタン順)に印刷するときは 記号 # ボタンを押すと、リストが印刷されます。

●**グループダイヤルリストを選んだとき**

リストが印刷されます。

2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875　　Canon FAX div.,　　001

*** ワンタッチダイヤル電話番号リスト ***

番号	相手の電話番号	相手先略称
[01]	03 3758 2111	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
[02]	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
[03]	022 265 9000	ｵｷｬｸｻﾏ ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀﾞ
[04]	0985 28 4570	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
[05]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[06]	0077 31 2	

ワンタッチダイヤル
電話番号リスト

2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875　　Canon FAX div.,　　001

*** 短縮ダイヤル電話番号リスト ***

番号	相手の電話番号	相手先略称
[* 00]	0187 63 5401	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵｵﾏｶﾘ
[* 01]	0155 47 1001	ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ
[* 02]	019 646 8710	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
[* 05]	0839 73 2165	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾔﾏｸﾞﾁ
[* 07]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
[* 14]	0776 53 7	
[* 30]	001 1 516	
[* 40]	001112987	
[* 41]	012345678	
[* 47]	090001123	

短縮ダイヤル
電話番号リスト

2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875　　Canon FAX div.,　　001

*** グループダイヤル電話番号リスト ***

グループ	番号	電話番号	相手先略称
[* 11] ﾒｲﾝ ｶｲﾗﾝ	[01]	001 1 516 488 6700	Canon U.S.A. Inc
	[02]	03 3758 2111	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
	[06]	03 3455 9111	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ
	[* 30]	0077 31 20 545 8545	Canon Europa N.V
[* 12] ﾊﾝﾊﾞｲ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A	[04]	019 646 8710	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
	[* 02]	0462 23 8221	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｱﾂｷﾞ
	[* 07]	0985 28 4570	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾐﾔｻﾞｷ
[* 13] ｵﾄｸｲ ｻﾏ	[* 40]	00111298765	ﾅｶﾑﾗ ﾓﾝﾄﾞ
	[* 41]	0123456789	ｺﾏﾂｻﾞｷ ﾗﾝ
	[* 47]	0900011234	ﾌﾞｽｼﾞﾏ ｼﾞｭｳﾀ

グループダイヤル
電話番号リスト

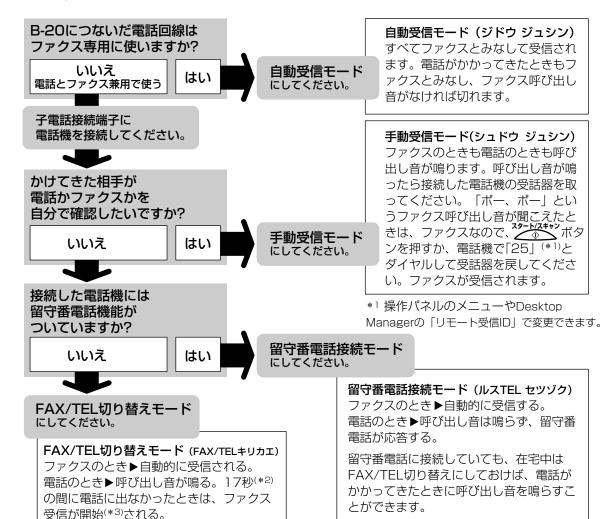
4章 ファクスを受信する

この章では、ファクスを受信する方法について説明します。

受信したファクスを印刷するときは、カラーBJカートリッジBC-22eフォトをセットしていると、受信したファクスは自動的には印刷されません。また、蛍光BJカートリッジBC-29Fも使わないでください。カラーインクがまだ残っているのにブラックインクだけがなくなって、カートリッジが使えなくなってしまいます。

カラーファクスを受信するときは、カラーBJカートリッジBC-21eを、そうでないときはブラックBJカートリッジBC-20をセットしておくことをおすすめします。

ファクス受信モードの種類

B-20には、4つのファクス受信モードがあります。つぎの図を見て、適切なモードを選んでください。

*2 操作パネルのメニューやDesktop Managerの「呼び出し時間」で変更できます。
*3 操作パネルのメニューやDesktop Managerの「呼び出し後の動作」で、電話を切るように設定できます。

●B-20をコンピュータと接続して使うとき

MultiPASS SuiteのDesktop Managerでは、受信したファクスを印刷せずに、コンピュータに送り、画像データとして保存する(PCファクス)ように設定することもできます。

ファクス受信モードを切り替える

　B-20の受信モードは、つぎのように設定します。設定は必要に応じていつでも変更できます。

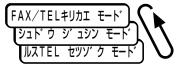
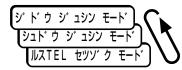
1 受信モード ボタンを押します。

設定されている受信モードが表示されます。

| ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ |（例）

2 設定したい受信モードが表示されるまで 受信モード ボタンを押します。

「受信機能設定」の「受信モード選択」が「FAX/TEL切り替え」のとき

「受信機能設定」の「受信モード選択」が「自動受信モード」のとき

3 ストップ ボタンか セット ボタンを押すか、約10秒待ちます。

選んだ受信モードに設定され、スタンバイ状態に戻り、今日の日付と設定した受信モードが表示されます。

| 03/26　　ﾙｽTEL |（例）

●「受信機能設定」の「受信モード選択」を切り替えるには

1 ファンクション ボタンを押し、01 登録/設定 ボタンを押します。

| ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ |

2 セット ボタンを押します。

| ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ |

3 | ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ | と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

| ECMｼﾞｭｼﾝ |

5 | ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ | と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

6 セット ボタンを押します。

●B-20をコンピュータと接続して使うとき

　受信モードは、Desktop Managerで設定してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

7 08▽ボタンか02△ボタンを押して、設定したいモードに表示を切り替えます。

FAX/TEL キリカエ
ジドウ ジュシン モード

「ジドウ ジュシン モード」にしたときは17の操作へ進んでください。

8 セットボタンを押します。

ヨビダシ カイシ ジカン

「呼び出し開始時間」、「呼び出し時間」、「呼び出し後の動作」を設定しないときは、ストップボタンを押し、操作を終わってください。

9 もう一度セットボタンを押します。

8ビョウ（現在の設定が表示されます）

10 テンキーを使って、呼び出し開始時間を、2桁の数字で秒単位で入力します。（08▽、02△ボタンで選ぶこともできます）

9ビョウ（例）

11 セットボタンを押して、設定を登録します。

ヨビダシ ジカン

12 もう一度セットボタンを押します。

17ビョウ（現在の設定が表示されます）

13 テンキーを使って、呼び出し時間を、2桁の数字で秒単位で入力します。（08▽、02△ボタンで選ぶこともできます）

23ビョウ（例）

14 セットボタンを押して、設定を登録します。

ヨビダシゴ ノ ドウサ

15 もう一度セットボタンを押します。

ジュシン（例）

16 08▽ボタンを押して「ジュシン」か「シュウリョウ」を選びます。

17 セットボタンを押して、設定を登録します。

チャクシン ヨビダシ

18 ストップボタンを押して、スタンバイ状態に戻します。

03/24　　FAX/TEL（例）

●呼び出し開始時間

かけてきた相手が電話かファクスかを判別する時間。この時間の間にファクスの呼び出し音が聞こえてこなかったときは、電話とみなして呼び出し音を鳴らし始めます。0〜30秒の間で設定できます。工場出荷時の設定は8秒です。

●呼び出し時間

呼び出し音が鳴っているのに、ここで指定した時間の間、誰も受話器を取らないと、ベルは止まり「呼び出し後の動作」が行われます。10〜300秒の間で設定することができます。工場出荷時の設定は17秒です。

●呼び出し後の動作

「ヨビダシ ジカン」で設定した時間の間、ベルを鳴らしても誰も電話に出なかったときにどうするかを設定します。工場出荷時の設定は「ジュシン」です。

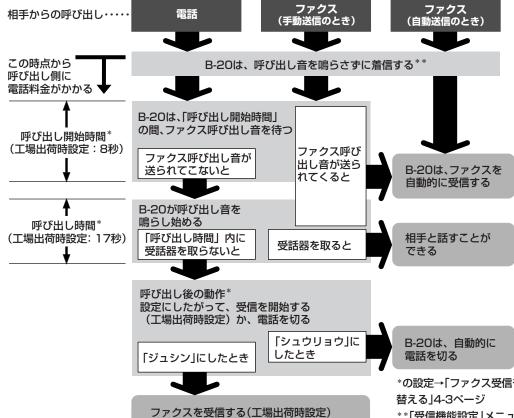
ジュシン
自動的にファクス受信を開始します。原稿が送られてこないときは、約35秒後に電話を切ります。

シュウリョウ
すぐに電話を切ります。

FAX/TEL切り替えモード

B-20をファクス以外に、電話としても使いたいときは、FAX/TEL切り替えモードにします。電話を使うためには、B-20に子電話を接続しておく必要があります。

FAX/TEL切り替えモードでは、つぎのようにかけてきた相手がファクスか電話かを自動的に判断します。

子電話、留守番電話の接続→『マルチパスB-20の羅針盤』

*の設定→｢ファクス受信モードを切り替える｣4-3ページ

**｢受信機能設定｣メニューの｢着信呼び出し｣(→10-6ページ)で子電話のベルを鳴らすように設定できます。

B-20は、呼び出しがあるとファクスか電話かを判断するためにファクス呼び出し音(ポーという音)が送られてくるのを待ちます。呼び出しがファクスのとき(ファクス呼び出し音が送られてきたとき)は、自動的に受信します。呼び出しが電話のとき(ファクス呼び出し音が送られてこないとき)は、受話器を取るように呼び出し音が鳴ります。｢呼び出し時間｣(17秒)以内に受話器を取らないと、呼び出し音が止まり、呼び出し後の動作に移ります。

●受信中に記録用紙やインクがなくなったとき

残りのファクスはメモリに保存されます。

●受信を途中で中止するとき

ストップボタンを押し、さらにカナ/英/数 トーンボタンを押します。

●エラーランプが点灯したとき

LCDディスプレイの表示を確認してから、リセットボタンを押してください。くわしくは、｢印刷できない｣(→9-15ページ)の｢印刷時にエラーランプが点灯し、警告音が鳴る｣を参照してください。

手動受信モード

B-20に接続した電話をよく使うときは、手動受信モードにします。手動受信モードでは、B-20に子電話を接続しておく必要があります。

子電話の接続→『マルチパスB-20の羅針盤』

●電話・ファクスの受け方

1 呼び出し音が鳴ったら、子電話の受話器を取ります。

2 人の声が聞こえたときは電話なので、相手と会話をします。会話の後でファクスを受信するときは、3の操作をします。

ポーという音が聞こえたり、何も聞こえなかったときはファクスなので、3の操作をします。

3 操作パネルの スタート/スキャン ボタンを押します。

B-20から離れたところに子電話があるときは、リモート受信が便利です。子電話のダイヤルで②⑤（工場出荷時設定）と押すと、B-20が受信を始めます。この②⑤をリモート受信IDといいます。

4 受話器を戻します。

受信を開始する前に受話器を戻すと、回線が切れてしまうので注意してください。

●リモート受信

子電話がB-20から離れた場所にあるときに便利です。

リモート受信IDは、工場出荷時は「25」に設定されています。子電話として留守番電話を接続しているとき、外出先からメッセージを聞くなどの留守番電話の操作のための番号がリモート受信IDと同じだと、B-20が誤動作することがあります。そういうときは、リモート受信IDの番号を変更してください。

リモート受信IDの変更
→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

●原稿をセットしているとき

送信モードになってしまいます。スタート/スキャン ボタンを押す前に原稿がないことを確認してください。

●呼び出しが続いたら自動受信モードに切り替わるように設定する

手動受信モードで一定時間呼び出しが続いたら、自動的に自動受信モードに切り替わるように設定できます。

自動受信切り替えの設定→「自動受信切り替え」10-6ページ

自動受信モード

B-20を、ファクスの送受信専用に使う電話回線に接続して、ファクスだけを自動的に受信するようにしたいときは、自動受信モードにします。

自動受信モードでは、ファクスは自動的に受信し、電話のときは回線を切ります。

●呼び出し音

自動受信モードで呼び出しがあったときに、呼び出し音を鳴らすかどうかは、変えることができます。鳴らすときは、B-20に子電話を接続する必要があります。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

留守番電話接続モード

B-20に留守番電話を接続すると、ファクスを受信するだけでなく、留守のときは相手のメッセージを録音することができます。

留守番電話接続モードでは、留守番電話の応答メッセージを流してから、ファクス呼び出し音を待ちます。ファクス呼び出し音が送られてくると、受信を開始します。

留守番電話の接続→『マルチパスB-20の羅針盤』

●記録用紙やインクがなくなったとき

受信したファクスはメモリに保存されます。留守中に記録用紙やインクが切れても安心です。記録用紙を補給したりインクカートリッジを交換すると、保存されていたファクスが自動的に印刷されます。

●留守番電話機の準備

留守番電話接続モードにするときは、つぎのような準備をしてください。

留守番電話の設定

ベルが1回または2回鳴ったところで応答するように、設定してください。

応答メッセージ

応答メッセージの長さは15秒以内にしてください。メッセージでは、つぎのように、ファクスの送信方法を説明してください。

「はい、○○です。ただいま留守にしています。ご用の方は、ピーという音の後にご用件をお話しください。ファクスを送信するときは、スタートボタンまたは送信ボタンを押してください」

●ファクスの受信がうまくいかないとき

応答メッセージの最初の6秒間を、何も話さない無音の状態にしてみてください。この間にB-20は、かかってきたのが電話かファクスかを判断します。

カラーで受信する

工場出荷時の設定では、カラー対応のファクス機器から送られてくる原稿はカラーで受信するようになっています。ファクスを受信するときは、その原稿がカラーか白黒かを判別して印刷します。

カラーBJカートリッジBC-21eが取り付けてあるときは、カラーファクスを受信すると自動的に印刷されます。

他のBJカートリッジを取り付けているときは、カラー受信した原稿はメモリに保管され、つぎのメッセージが交互に表示されます。

ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ
BC21e ﾆ ｺｳｶﾝ

カラーBJカートリッジBC-21eと交換すると、メモリに保存されているカラーファクスが自動的に印刷されます。

●カラーBJカートリッジBC-21e以外のBJカートリッジでカラーファクスを印刷するには

→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

●カラー受信するかどうかを設定する

工場出荷時の設定では、カラーファクスからの原稿はカラーで受信するようになっています。

1 ファンクションボタンを押し、01登録/設定ボタンを押します。

ﾃﾞｰﾀ ﾄｳﾛｸ

2 セットボタンを押します。

ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ

3 「ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」と表示されるまで、08∨ボタンか02∧ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

ECMｼﾞｭｼﾝ

5 「ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ」と表示されるまで、08∨ボタンか02∧ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

ｽﾙ

（現在の設定が表示されます）

7 08∨ボタンか02∧ボタンを押して、「スル」か「シナイ」を選びます。

8 セットボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ

9 ストップボタンを押すと、スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL

（例）

メモリでの受信

エラーが発生したときは、ファクスはメモリに保存されます。

このときは、「ダイコウ ジュシン シマシタ」とつぎのようなメッセージが交互に表示されます。つぎのように対処すると、メモリに保存されたファクスは印刷されます。

メモリには、A4サイズで約42ページ分の白黒ファクスを保存できます。（モノクロ、標準モードでキヤノンFAX標準チャートの場合）

発生した問題が解決できたら、リセットボタンを押してください。保存されていたファクスが印刷されてから、メモリの内容が消去されます。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

`ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｺｳｶﾝ`

原因：BJカートリッジのインクが切れたか、カートリッジ自体がきちんと取り付けられていません。

対処：BJカートリッジがきちんと取り付けられているか確認し、必要に応じて新しいカートリッジと交換してください。

`ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ`

原因：BJカートリッジが取り付けられていません。

対処：BJカートリッジを取り付けてください。

BJカートリッジの取り付け
→『マルチパスB-20の羅針盤』

`ｶﾗｰ ｲﾝｸｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ`

原因：カラーインクカートリッジBCI-21 Colorのインクが不足しているときに表示されます。

対処：カラーBJカートリッジBC-21eのカラーインクカートリッジBCI-21 Colorを新品に交換すると、メモリに保存されている原稿が自動的に印刷されます。

`ｸﾛ ｲﾝｸｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ`

原因：印刷中にブラックインクカートリッジBCI-21 Blackのインクの残量が少なくなったときに表示されます。

対処：カラーBJカートリッジBC-21eのブラックインクカートリッジBCI-21 Blackを新品に交換すると、メモリに保存されている原稿が自動的に印刷されます。

`BC21e ﾆ ｺｳｶﾝ`

原因：カラーファクスを受信しましたが、カラーBJカートリッジBC-21eが取り付けられていません。

対処：カラーBJカートリッジBC-21eに交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

`BC21e/20 ﾆ ｺｳｶﾝ`

原因：カラーBJカートリッジBC-22eフォトがセットされています。

対処：カラーBJカートリッジBC-21eか、ブラックBJカートリッジBC-20に交換してください。

`ｷﾛｸｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ`

原因：記録用紙がセットされていません。

対処：記録紙トレイに記録用紙を補給し、リセットボタンを押します。

`ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ`

原因：紙づまりが発生しています。

対処：つまっている記録用紙を取り除き、リセットボタンを押します。

→「紙づまり」9-3ページ

メモリに保存されているファクスを印刷する

記録用紙切れやカートリッジのインク切れのときに受信したファクスは、印刷できないので、メモリに保存されます。記録用紙を補充して[リセット]ボタンを押したり、カートリッジを新しいものに交換すれば、自動的に印刷され、メモリから消去されます。

送信に失敗した原稿はメモリに残りません。すべて消去されます。

Desktop Managerで、受信したファクスを印刷せずにコンピュータに送るように設定している場合、コンピュータが起動していないと受信したファクスはB-20のメモリに保存され、つぎのふたつの表示が交互に表示されます。

保存されたファクスは、コンピュータの電源を入れ、Desktop Managerを起動すると、コンピュータに送られます。

コンピュータに送らずにB-20でそのまま印刷するときは、コンピュータの電源を入れずに、つぎのように操作してください。印刷すると、メモリから消去され、コンピュータには送れなくなります。

1 [ファンクション]ボタンを押し、[04 メモリ照会]ボタンを押します。

2 [ファイル プリント]と表示されるまで[08 ∨]ボタンか[02 ∧]ボタンを押します。

3 [セット]ボタンを押します。
メモリに保存されているすべてのファクスが印刷されます。

●カラーBJカートリッジBC-22eフォトを使って、カラーファクスをより美しく印刷する方法

カラーBJカートリッジBC-22eフォトを使うと、カラーBJカートリッジBC-21eよりもきれいにカラーファクスを印刷できます。

ただ、カラーBJカートリッジBC-22eフォトをセットしていると、受信したファクスは印刷されずにメモリに保存されるので、受信した後でつぎの操作が必要です。

1 ファンクション ボタンを押し、04 < メモリ照会 ボタンを押します。

2 08 ∨ ボタンを押します。
「ゲンコウ プリント」と表示されます。

3 セット ボタンを押します。
受け付け番号が表示されます。後で消去しなくてはいけないので、受け付け番号を控えてください。
2通以上のファクスを受信しているときは、印刷したファクスの受け付け番号が表示されるまで 08 ∨ ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。
「サイショノ ページ ダケ？」、「ハイ＝（＊） イイエ＝（#）」と表示されます。

5 記号 # ボタンを押します。
「BC-22eデ プリント?」、「ハイ=（＊） イイエ=（#）」と表示されます。

6 カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押します。
ファクスが印刷されます。

7 ストップ ボタンを押します。

ここで操作を終わると、ファクスはメモリに戻ったままになり、カラーBJカートリッジBC-21eをセットするとまた印刷されてしまうので、この後の操作を行ってメモリから消去してください。

8 ファンクション ボタンを押し、04 < メモリ照会 ボタンを押します。

9 「ゲンコウ クリア」と表示されるまで 08 ∨ ボタンを押し、セット ボタンを押します。
受け付け番号が表示されます。
2通以上のファクスを受信しているときは、印刷したファクスの受け付け番号が表示されるまで 08 ∨ ボタンを押します。

10 セット ボタンを押します。
「クリアシテ イイデスカ？」、「ハイ＝（＊） イイエ＝（#）」と表示されます。

11 カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押します。
「クリア シマシタ」と表示され、ファクスがメモリから消去されます。

12 ストップ ボタンを押します。
スタンバイ状態に戻ります。

●蛍光BJカートリッジBC-29F

蛍光BJカートリッジBC-29Fでも印刷できますが、インクの消費がかたよって経済的ではないので、受信ファクスの印刷には使わないことをおすすめします。

●ブラックBJカートリッジBC-20をセットしているときにカラーファクスを受信すると

自動的には印刷されずメモリに保存されます。白黒で印刷したいときは、左の「カラーBJカートリッジBC-22eフォトを使って、カラーファクスをより美しく印刷する方法」と同じように操作します。

途中で「シロクロニ ヘンカン シマスカ？」と表示されたら、カナ/英/数 ＊ トーン ボタンを押すと、印刷が始まります。

また、BJカートリッジをカラーBJカートリッジBC-21eと交換するとまた印刷されてしまうので、8～11の操作を行ってメモリから消去してください。

カラーで印刷したいときは、BJカートリッジをカラーBJカートリッジBC-21eと交換してください。すぐに印刷されます。

設定中や印刷中のファクス受信

　B-20は、複数の処理を同時にできるので、いろいろな設定や、コピー、印刷をしているときでも、ファクスを受信したり電話に応答できます。

　受信したファクスを、コンピュータに送らないで、印刷するように設定しているときは、コピーや印刷中に受信したファクスは、いったんメモリに保存され、コピーや印刷が終了すると、自動的に印刷されます。設定中に受信したファクスは、その場ですぐに印刷されます。

受信を中止する

ファクスの受信は、つぎのように操作すると中止できます。

1 受信中に(ストップ)ボタンを押します。

```
ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
ハイ=(*)      イイエ=(#)
```

2 (*)ボタンを押します。
受信を続けるときは(#)ボタンを押します。

受信を中止すると、設定によっては、受信結果レポートが印刷されます。

受信結果のレポート

受信の結果は、通信管理レポートや受信結果レポートを印刷して確認することができます。

通信管理レポート→「送信結果のレポートを印刷する」2-14ページ

受信結果レポート

受信結果レポートは、工場出荷時は印刷しないように設定されていますが、受信するたびに印刷したり、受信エラーが発生したときにだけ印刷するように設定することもできます。

設定→「メニューの使い方」10-2ページ

2000 03/26 09:17 FAX 03 5482 3875 Canon FAX div., 001

****
***　受信結果レポート　***
****

次の受信は正しく終了しました

受付番号	5003
相手の電話番号	61235308
相手先略称	
開始時刻	11/25 20:32
通信時間	01'12
枚数	2
通信結果	OK

受信結果レポート

5章
原稿のセットとコピー、スキャン

この章では、ファクス送信、スキャン、コピーできる原稿の種類とセットのしかた、コピーのとり方などを説明します。

使用できる原稿

原稿は自動給紙装置(ADF)にセットします。原稿によって自動給紙か1枚給紙します。

●自動給紙できる原稿(一度に2枚以上セットできる原稿)

サイズ	最大:幅216mm×長さ356mm
	最小:幅210mm×長さ148mm
枚数	A4:20枚
($75g/m^2$の紙)	B5:20枚
	A5:20枚
	レター:20枚
	リーガル:10枚
	(これ以外のサイズの原稿は1枚給紙してください)
厚さ	0.07〜0.13mm
	(これより厚い原稿は1枚給紙してください)
質量	$75〜90g/m^2$

●自動給紙
一度に複数の原稿をセットできます。原稿は自動的に次々と送られます。1枚だけセットすることもできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。

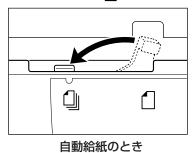
サイズや厚さや質量が違う原稿は、いっしょにセットしないでください。

●1枚給紙できる原稿(1枚ずつしかセットできない原稿)

サイズ	最大:幅216mm×長さ約1m
	最小:幅80mm×長さ45mm
枚数	1枚
厚さ	0.07〜0.43mm
質量	$90〜340g/m^2$

●1枚給紙
原稿を1枚ずつセットします。厚い用紙の原稿やはがき、名刺などの小さな原稿、表面に凹凸がある原稿、写真、光沢処理された用紙、キャリアシートなどは、1枚給紙してください。

●自動給紙と1枚給紙の切り替え

給紙レバーで切り替えます。自動給紙のときは給紙レバーを に、1枚給紙のときは に合わせます。

自動給紙のとき　　1枚給紙のとき

使用できない原稿

紙づまりの原因になるので、つぎのような原稿は使わないでください。

しわのよっている原稿

丸まっている原稿

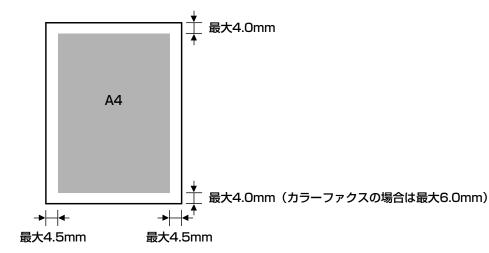
破れている原稿

ノンカーボン紙

コーティングされた紙

極端に薄い原稿

読みこめる範囲

原稿の左右の端から最大4.5mmずつ、上下の端から最大4.0mmずつの範囲は読みこめません。この部分に文字や絵があっても欠けてしまうので、注意してください。

●原稿をセットする前に

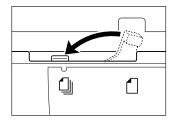
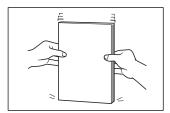
原稿をセットするときは、クリップ、ホチキス、テープなどは、すべて取り除いてください。また、インク、修正液、のりなどが完全に乾いているか確認してください。

B-20の中にきちんと送られない原稿は、他のコピー機などでコピーして、そのコピーを原稿として使ってください。

原稿をセットする

複数の原稿をセットする（自動給紙する）

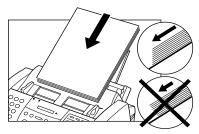
自動給紙では、一度に複数の原稿をセットできます。A4サイズの普通紙など、通常の原稿は自動給紙できます。

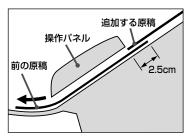
1 給紙レバーを左（自動給紙の位置）に動かします。

2 原稿が複数のときは、机の上などで端をそろえます。

3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

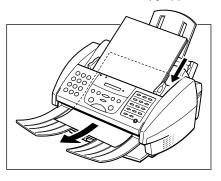
4 原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置（ADF）に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。

原稿は、下に置かれたものから順に1枚ずつ自動的に送られます。

●複数の原稿がうまく送られないとき

一度自動給紙装置（ADF）から取り出して机の上などで端をそろえてから、図のように、自動給紙装置（ADF）に端が斜めになるようにして差しこんでください。

●原稿が20枚より多いとき

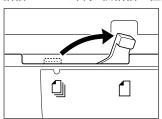
図のように、前にセットした原稿の最後のページが残り2.5cmぐらいまで送られたときに、追加する原稿を上に重ねてセットしてください。

●写真など、大事な原稿

写真など、大事な原稿の表面が、自動給紙装置（ADF）によって送られるときに汚れたり、傷ついたりしないようにしたいときは、キャリアシートSH-101を使ってください。キャリアシートについては、お買い求めの販売店かお客様相談センター（→裏表紙）にお問い合わせください。

原稿を1枚だけセットする(1枚給紙する)

1枚給紙では、原稿を1枚ずつ、つぎのようにしてセットします。

●写真などの大事な原稿を1枚給紙するとき

表面を傷つけないように、キャリアシートSH-101を使ってください。

1 給紙レバーを右(1枚給紙の位置)にします。

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

3 原稿面を下にし、原稿の上の方から自動給紙装置(ADF)に、ピッと音が鳴るまでゆっくりと差しこみます。

原稿をコピーする

カラーや白黒でコピーをとることができます。

1 記録用紙をセットします。

2 給紙レバーを切り替えます。

2枚以上の原稿をまとめてセットするときは、給紙レバーを(左)にしてください。

3 原稿をセットします。

LCDディスプレイの表示(例)

```
メモリ シヨウ リョウ    0%
ゲンコウ ガ  アリマス
```

4 カラーか白黒かを選びます。

カラー/白黒ボタンを押すと切り替わります。ランプがついているときはカラー、消えているときは白黒でコピーされます。

●白黒コピーに使うBJカートリッジ

カラーBJカートリッジBC-22eフォトや、蛍光BJカートリッジBC-29Fは使わないでください。カラーインクがまだ残っているのにブラックインクがなくなって、カートリッジが早く使えなくなってしまいます。

→「BJカートリッジの種類」7-3ページ

●「カラー ハガキサイズ」でコピーするとき

Desktop Managerの[設定]メニューの[ファクス設定]で、[ファクス受信]タブの[用紙サイズ]を[A4]に設定してください。[レター]になっていると、印刷位置がズレてプラテンやハガキの裏面を汚すことがあります。

●2枚以上セットできない原稿

厚い紙の原稿、はがき・名刺などの小さな原稿、写真、光沢処理された紙の原稿、キャリアシートなど。これらの原稿は給紙レバーを(右)にして1枚ずつセットしてください。

→「使用できる原稿」5-2ページ

5 コピー◯ボタンを押します。

```
コピ゜ー　　　100%　01
```

6 設定したい解像度が表示されるまで、解像度◯ボタンを押します。

カラーのとき

```
カラー　ヒョウシ゛ュン
カラー　ファイン
カラー　ハカ゛キサイス゛
```

白黒のとき

```
シロクロ　モシ゛
シロクロ　シャシン
```

7 縮小コピーしたいときは、ファンクション◯ボタンを押してランプをつけ、08◯ボタンを押して、縮小率を選びます。

100%、90%、80%、70%の中から選べます。

```
コピ゜ー　　　80%　01
```

（例）

いきすぎたら02◯でもどします。

8 白黒コピーのときは、テンキーでコピー部数を入力します。

99部まで指定できます。

```
コピ゜ー　　　80%　37
```

（例）

9 スタート/スキャン◯ボタンを押します。

コピーが開始されます。

```
コピ゜ー
```

●白黒コピーの解像度

シロクロ モジ

文字だけの白黒原稿に適しています。360×360dpi。

シロクロ シャシン

写真がはいっている白黒原稿に適しています。写真部分が256階調のグレースケールできれいにコピーできます。360×360dpi。

●カラーコピーの解像度

カラー ヒョウジュン

360×180dpiでカラーコピーします。A4サイズ1ページのコピーに、約3分（参考値）かかります。

カラー ファイン

360×360dpiでカラーコピーします。A4サイズ1ページのコピーに、約9分（参考値）かかります。

カラー ハガキサイズ

カラー写真など、幅が100mm以下のカラー原稿のときに選びます。縮小コピー（90%、80%、70%）のときは、縮小して100mm幅に収まれば、このモードを使えます。360×360dpiで、100×148mmの写真をコピーするのに、約3分50秒（参考値）かかります。

カラーの場合は、1部ずつしかコピーできません。

●コピーを中止するとき

ストップ◯ボタンを押します。原稿がB-20の中に残ったときは、操作パネルを開いて取り除いてください。（→「紙づまり」9-3ページ）

●コピー中にエラーが発生したとき

LCDディスプレイに「ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。原稿をセットしなおして、コピーをやりなおしてください。

●「メモリガ イッパイデス」と表示されたとき

メモリ内の原稿を送信するか、メモリ受信したファクスを印刷してからコピーを始めてください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

カラーコピーの用紙の設定

カラーコピーをとるとき、使用する記録用紙によっては、記録用紙の設定を高品位専用紙にすると、きれいにコピーできる場合があります。高品位専用紙HR-101/101Sやフォト光沢ハガキKH-201/201Nなどにコピーするときは、試してみてください。工場出荷時は、「フツウシ」になっています。

1 ファンクションボタンを押します。

2 01 登録/設定ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セットボタンを押します。

キホン セッテイ

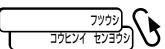
4 プ゛リント セッテイ と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

5 セットボタンを押します。

ガ゛ソ゛ウ シュクショウ

6 カラー コピ゜ー ヨウシ と表示されるまで、08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

7 セットボタンを押します。

8 08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押して、カラーコピーに使う用紙の種類を選択します。

9 セットボタンを押します。

設定内容が登録されます。

シタ ヨハク

10 ストップボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24 FAX/TEL（例）

カラー印刷するときの下余白を設定する

カラー印刷やカラーコピーをしたり、カラーファクスを受信したりするときの下余白を調整できます。工場出荷時は、「フツウ」(21mm)になっています。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 01 登録/設定 ボタンを押します。

デ゛ータ トウロク

3 セット ボタンを押します。

キホン セッテイ

4 プ゛リント セッテイ と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

5 セット ボタンを押します。

ガ゛ゾ゛ウ シュクショウ

6 シタ ヨハク と表示されるまで、08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

7 セット ボタンを押します。

フツウ (例)

8 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押して、下余白の長さを選びます。

フツウ　白黒原稿よりも下余白が長くなります(21mm)。

チイサイ　白黒原稿の下余白と同じ長さになります(7mm)。

「チイサイ」にすると印刷範囲は広くなりますが、その部分にはきれいに印刷されない場合もあります。

9 セット ボタンを押します。

設定が登録されます。

システム カンリ セッテイ

10 ストップ ボタンを押します。

スタンバイ状態に戻ります。

03/24　　FAX/TEL (例)

原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)

原稿をコンピュータに読みこむ(スキャンする)ときは、その原稿を自動給紙装置(ADF)にセットし、MultiPASS Suiteを使って読みこみ、画像ファイルとして保存します。ファイル形式は、TIFF、BMP、PCX、JPEG、FPX形式のうちどれかを選ぶことができます。また、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションで原稿を直接読みこむこともできます。

読みこんだ原稿は、MultiPASS Suiteでコンピュータの画面に表示し、保存、加工、印刷したり、クリップボードにコピーすることができます。また、画像データとして、「Adobe PhotoDeluxe」、「花子」、「Wang Imaging」などのアプリケーションで使うこともできます。

MultiPASS Suiteでの原稿の読みこみ→『MultiPASS Suite使用説明書』

他のアプリケーションでの原稿の読みこみ→そのアプリケーションのマニュアル

6章
記録用紙のセットと印刷

A4、B5、A5、レター、リーガルサイズの普通紙をはじめ、光沢紙、封筒、OHPフィルム、バックプリントフィルム、繊維紙など、さまざまな記録用紙に、鮮明なモノクロ印刷や躍動感あふれるカラー印刷ができます。

B-20でコピーやファクスに使う記録用紙のサイズは、操作パネルのメニューで設定するか、Desktop Managerでコンピュータから設定します。

記録用紙の種類

つぎのような記録用紙に印刷できます。

キヤノン純正以外の記録用紙をお使いになるときは、大量に注文する前に、一度テスト印刷を行うことをおすすめします。また、記録用紙について不明な点があるときは、キヤノン製品の正規販売代理店にお問い合わせください。

一般的な記録用紙

普通紙

A4、B5、A5、レター、リーガルサイズで、厚さは0.2mm以下、重さは64～90g/m^{2}の普通紙が使えます。1枚ずつ手差しで給紙すれば、重さが90～105g/m^{2}の普通紙も使えます。

封筒

洋形4号(235×105mm)と洋形6号(190×98mm)の封筒に印刷できます。

官製はがき

往復はがき以外の官製はがきに印刷できます。

キヤノンのBJプリンタ専用紙

B-20には、つぎのような専用紙があります。これらの記録用紙を使えば、B-20の印刷性能を十分に活かすことができます。くわしくは、お近くのキヤノン販売店にお問い合わせください。

バブルジェット用紙LC-301

画像を明るく鮮明に印刷でき、耐水性があり、水などをこぼしてもインクがにじみません。また、他の記録用紙よりも画像をきわだたせることができます。両面に印刷できます。

高品位専用紙HR-101/101S

グラフィックスや写真を、くっきりと鮮明に写真に近い品質で印刷できます。カラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷するときは、必ずこの記録用紙か、フォト光沢紙GP-201をお使いください。

高品位専用紙は、光沢のある面に印刷してください。また、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

フォト光沢紙GP-201

上質紙に光沢の出るコーティングを施した紙で、デジタルカメラの画像や、案内状など各種カードの印刷に適しています。カラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷するときは、必ずこの記録用紙か、高品位専用紙HR-101/101Sをお使いください。

フォト光沢紙は、光沢のある面に印刷してください。また、パッケージの記録用紙をすべて使い終わったら、付属のクリーニングシートでローラを清掃してください。

OHPフィルムCF-102

キヤノンカラーBJプリンタ用のOHPフィルムで、見やすく本格的なプレゼンテーションができます。他のOHPフィルムを使うと、インクが定着しないで流れてしまうので使わないでください。

OHPフィルムは、一番後ろに普通紙を1枚つけて記録紙トレイにセットします。

バックプリントフィルムBF-102

会議や展示会のプレゼンテーションなどに使えます。グラフィックスや写真もくっきりと鮮明にカラー印刷できます。

光沢フィルムHG-101

コート紙で、より鮮明でくっきりとしたカラー印刷ができます。カラーBJカートリッジBC-21eでは、この記録用紙を使うと、最もきれいなカラー印刷ができます。720×360dpiの解像度で印刷すれば、展示会のパネルなどのプレゼンテーションにも利用できます。

BJクロスFS-101

キヤノンカラーBJプリンタ用のクロス(白い木綿の布)です。絵や模様などを印刷して、クロスステッチ、クッション、室内履きなどに利用できます。

Tシャツ転写紙TR-201

Tシャツ、トレーナー、エプロンなどに転写できるアイロンプリントが作れます。綿または綿/ポリエステル混合の布に転写できます。

バナー紙(長尺紙)BP-101

店頭ポスターやパーティーの飾り付けなどに使う紙です。約180cm(A4、6枚分)まで、つながった状態で印刷できます。

2～6枚までつながった状態で印刷します。

フォト光沢ハガキKH-201/201N

カラーBJカートリッジBC-22eフォトではがきに印刷するときは、このハガキをお使いください。

バックプリントフィルムは、ザラザラした光沢のない面に、鏡像印刷(左右を逆にして印刷すること)します。バックプリントフィルムは、ザラザラした面を上に向け、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて、記録紙トレイにセットします。

Tシャツ転写紙は、緑色の線のはいっていない面に鏡像印刷(左右を逆にして印刷すること)します。

フォト光沢ハガキの光沢のない宛名面に印刷するときはブラックBJカートリッジBC-20やカラーBJカートリッジBC-21eをお使いください。

B-20で使用できる記録用紙のサイズ、記録紙トレイに一度にセットできる枚数、印刷面(セットするときに上にする面)、紙間選択レバーの位置は、つぎのとおりです。

記録用紙	記録用紙サイズ	セットできる枚数	印刷面	紙間選択レバーの位置
普通紙	A4、B5、A5、 レター、リーガル	100枚 *1	ー	左
封筒	洋形4号、洋形6号	10枚	宛名を書く面	右
官製はがき	ハガキ	40枚	ー	左
バブルジェット用紙 LC-301	A4、レター	100枚 *1	ー	左
高品位専用紙 HR-101/101S	A4、レター	100枚 *1	光沢のある面(より白い面)	左
フォト光沢紙 GP-201	A4、レター	1枚	光沢のある面(より白い面)	左
OHPフィルム CF-102	A4、レター	50枚 *2	ザラザラした光沢のない面	左
バックプリントフィルム BF-102	A4、レター	10枚 *2	ザラザラした光沢のない面	左
光沢フィルム HG-101	A4、レター	1枚	光沢のある面	左
BJクロス FS-101	241×356mm	1枚	布地面、 開口部の逆の方から差しこむ	右
Tシャツ転写紙 TR-201	A4	1枚	緑色の線のはいっていない面	左
バナー紙(長尺紙) BP-101	A4	1枚 *3	ー	右
フォト光沢ハガキ KH-201/201N	ハガキ	20枚	光沢のある面は絵や文、 光沢のない面は宛名	左

*1 100枚までセットできますが、厚さが10mmを超えないようにしてください。

*2 OHPフィルムCF-102、バックプリントフィルムBF-102は、いちばん後ろに普通紙を1枚つけてセットしてください。

*3 バナー紙(長尺紙)BP-101は2〜6枚までつながった状態で印刷してください。

記録用紙サイズの実際の値(幅×長さ)は、つぎのとおりです。

記録用紙サイズ	幅×長さ
A4	210×297mm
B5	182×257mm
A5	148×210mm
レター	215.9×279.4mm
リーガル	215.9×355.6mm
洋形4号	235×105mm
洋形6号	190×98mm
ハガキ	100×148mm

記録用紙の取り扱いと保管

記録用紙の取り扱いや保管には、つぎの点に注意してください。

保管する場所

- 温度が18～24℃、相対湿度が40～60%の場所に平らな状態で保管してください。
- セットするまで包装紙から出さないでください。余ったら、包装紙に入れたまま、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。
- 長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。曲がったり丸まったりすることがあります。これが原因でうまく給紙されなかったり、つまったりすることがあります。

使ってはいけない記録用紙

- 湿ったり、丸まったり、しわがよったり、破れた記録用紙は絶対に使わないでください。紙づまりや印刷品質の低下の原因になります。
- 感熱ファクス用などのロール紙ではなく、定型サイズに裁断された紙をお使いください。
- 指定されている厚さ以上の記録用紙は使わないでください。厚い記録用紙に印刷すると、プリントヘッドのノズルと記録用紙が接触してこすれると、BJカートリッジが使えなくなります。

古い記録用紙の取り扱い

- 新しい記録用紙と古い記録用紙が混ざらないように、記録紙トレイの記録用紙を使い切ってから、新しい記録用紙を補給してください。

まっすぐ給紙されないとき、2枚いっしょに給紙されるとき、紙づまりになったとき

- 光沢紙、OHPフィルム、バックプリントフィルムがまっすぐに給紙されなかったり、2枚いっしょに給紙されたり、紙づまりになったときは、1枚ずつ補給してください。温度が低いときや高いとき、湿度が高いときに、このようなトラブルが起こることがあります。

印刷すると記録用紙が丸まってしまうとき

- 薄い記録用紙に大量のインクを使う文字や絵を印刷すると、記録用紙が少し丸まることがあります。このようなときは、厚めの記録用紙を使ってください。丸まった記録用紙は、紙づまりの原因になるので、すぐに取り除いてください。

OHPフィルムやバックプリントフィルム

- OHPフィルムやバックプリントフィルムは、記録排紙口にためずに、1枚排紙されるごとに取り出し、15分以上待ってじゅうぶん乾燥させてから保管してください。クリアファイルなどに保管するときは、フィルムの印刷面に普通紙をあてて保護してください。

●記録用紙のセット

記録用紙をセットするときは、記録紙トレイの最大枚数を示すマーク(▲)や、トレイについているタブを超えないように注意してください。記録用紙が多すぎると、紙づまりの原因になります。

また、記録紙ガイド、記録紙トレイの右側との間にすきまがないようにセットしてください。

●印刷された記録用紙

記録排紙口には、50枚(バブルジェット用LC-301換算)までしかはいりません。紙づまりの原因になるので、記録排紙口に記録用紙がたまらないようにしてください。

●インクの乾燥

大量のインクを使う絵などを印刷すると、インクがにじむことがあります。印刷が終わったら、インクが完全に乾くまで30～60秒は記録排紙口に置いておきます。原稿排紙トレイを開いている場合は、印刷した記録用紙を取り出すときに触れないように注意してください。

印刷時に使用するインクの量によっては、完全に乾くまでに時間がかかることがあります。インクは2、3秒たつと、こすっても汚れなくなり、さらに数分間乾かすと、水をこぼしてもにじまなくなります。

●インクでB-20本体を汚してしまったとき

柔らかい布を、水か食器用洗剤を水で薄めた液に濡らして拭き取ってください。

●記録用紙の幅からはみだして印刷されたとき

B-20内部にあるローラやプラテンがインクで汚れることがあります。汚れたときは、柔らかい布で拭き取ってください。

紙間選択レバーの調整

使用するBJカートリッジや記録用紙に応じて、紙間選択レバーでプリントヘッドと記録用紙の間のすきまを調整してください。

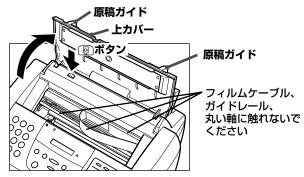
プリントヘッドと記録用紙の間のすきまをきちんと調整しないと、汚れたり、思いどおりに印刷できません。

1 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

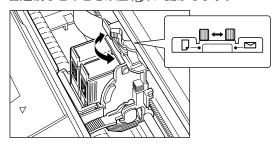
上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

2 (カートリッジ)ボタンを押します。

印刷の途中で上カバーを開けて、紙間選択レバーを操作しないでください。紙づまりやインク汚れなどの原因になります。

カートリッジホルダが本体中央に移動します。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、むりに動かさないでください。故障の原因になります。

3 紙間選択レバーをセットします。

封筒、BJクロスFS-101など、厚い記録用紙のときは右(✉)に、普通紙などのときは左(□)に動かします。

4 (カートリッジ)ボタンを押します。

カートリッジホルダがホームポジションに移動し、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

5 上カバーを閉じます。

封筒に印刷する

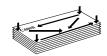
記録紙トレイには、封筒を10枚までセットできます。

紙づまりや汚れ、故障の原因になるので、つぎのような封筒には印刷しないでください。

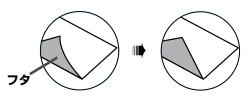
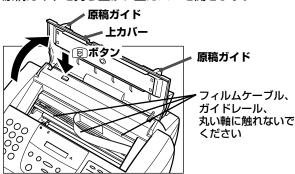
- 窓、穴、ミシン目、切り抜きがあったり、フタが二重になっている封筒
- 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒
- シールが貼ってある封筒
- 手紙がはいっている封筒

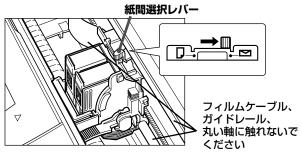
封筒はつぎのように記録紙トレイにセットします。

1 安定したきれいな台の上に封筒を置き、四隅を押して端をそろえます。

封筒の周りや、フタの部分を押して、まっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。

フタの部分を十分に押して、平らにしてください。

封筒がそっているときは、対角線の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

封筒のフタが、丸まっているときは、まっすぐに伸ばします。

2 原稿ガイドを持ち上げ、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

3 [カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押してカートリッジホルダが中央に移動したら、紙間選択レバーを右側の封筒の位置にします。

4 [カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

5 宛名を印刷する面を上にして、封筒の上の方から記録紙トレイにつきあたるまで差しこみ、記録紙ガイドを封筒の左端に合わせます。

これで、封筒に印刷できるようになります。

印刷の途中で上カバーを開けて、紙間選択レバーを操作しないでください。紙づまりやインク汚れなどの原因になります。

専用紙に印刷する

キヤノンのBJプリンタ専用紙に印刷するときは、パッケージについている注意書きや説明をよくお読みになり、その指示にしたがってください。

フィルムは、印刷が終わったら、インクが完全に乾いてから、重ねてください。印刷した面に普通紙(コーティングされていない用紙)を置いてから、重ねることをおすすめします。印刷したフィルムをクリアファイルやプラスチック製のホルダに入れるときも同様にした方がよいでしょう。

フィルムを長時間にわたって記録紙トレイに置いたままにしないでください。フィルムにゴミやホコリがついて、印刷品質が低下することがあります。

記録用紙の種類	インクが乾くまでの時間(めやす)
光沢フィルムHG-101	10分
フォト光沢紙GP-201	10分
BJクロスFS-101	1時間
OHPフィルムCF-102	15分
バックプリントフィルムBF-102	15分

インクでB-20本体が汚れてしまった場合には、柔らかい布を水、または、食器用洗剤を水で薄めた液に濡らして拭き取ってください。

OHPフイルムCF-102、バックプリントフイルムBF-102のセット

OHPフィルムとバックプリントフィルムは、いちばん後ろに普通紙を1枚つけて記録紙トレイにセットします。フィルムを扱うときは、指紋がつかないように布製の薄い手袋をはめてください。フィルムは記録排紙口で重ならないように1枚印刷するたびに取り出します。このとき、印刷面が原稿排紙トレイに触れないように注意してください。

色あせするので、印刷したフィルムを日光に当てないでください。

使用しない記録用紙やフィルムは平らな場所に保管してください。印刷するときだけ保護パッケージからフィルムを取り出してください。

使用しないフィルムは、温度が15℃～30℃の場所に保管してください。

バックプリントフィルムを平らにする

バックプリントフィルムを平らに伸ばすには、つぎのようにします。

1 光沢のない面を上にして普通紙を重ねます。

2 丸まっている方とは逆にフィルムを丸めます。
強く丸めすぎないでください。
フィルムは直径約2～3cmに丸めてください。

3 丸めたら、約5分間そのままにしておきます。
輪ゴムなどで留めておくとよいでしょう。

フォト光沢紙GP-201のセット

きれいに印刷するために、フォト光沢紙は1枚ずつ給紙トレイにセットしてください。

1 記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。

→「記録排紙ガイドの使い方」このページの下

2 原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

3 [カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーが左の位置になっているか確認します。

→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ

4 もう一度[カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

5 記録紙サポートを、止まるまで引き出します。

6 光沢のある面を上にして、フォト光沢紙を1枚だけ、つきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドをフォト光沢紙の端に合わせます。

高品位専用紙HR-101/101Sのセット

1 記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。

→「記録排紙ガイドの使い方」次項

2 原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

3 [カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーが左の位置になっているか確認します。

→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ

4 もう一度[カートリッジボタン](カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

5 記録紙サポートを、止まるまで引き出します。

6 光沢のある面を上にして、高品位専用紙をつきあたるまで記録紙トレイに差しこみ、記録紙ガイドを記録用紙の端に合わせます。

記録排紙ガイドの使い方

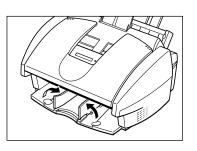
フォト光沢紙GP-201や高品位専用紙HR-101/101Sに印刷するときは、排紙された記録用紙がたるんだり引っかかったりして汚れないように、記録排紙ガイドを立ててください。

1 左右の記録排紙ガイドを立てます。

記録排紙ガイドは、両方とも立ててください。

2 印刷が終わったら、記録排紙ガイドを元に戻します。

記録排紙ガイドを立てているときは、1枚印刷するごとに、印刷された記録用紙を取り出してください。記録排紙口に記録用紙をためないでください。

ファクスを受信するときは、受け取ったファクスがあふれたり、紙づまりの原因になるので、記録排紙ガイドは必ずたおしておいてください。

専用紙に付属しているクリーニングシートの使い方

フォト光沢紙GP-201や高品位専用紙HR-101/101Sのパッケージには、クリーニングシートが付属しています。パッケージにはいっている紙をすべて使い切ったら、このクリーニングシートでB-20のローラを清掃してください。

1 クリーニングシートの2枚のシールをはがします。

2 シールが貼ってあった面を上に向け、シールが貼ってあった場所に近い端の方から、つきあたるまで記録紙トレイの右端に合わせて差しこみます。

3 記録紙ガイドをクリーニングシートの端に合わせます。

4 ファンクション ボタンを押します。

5 10 クリーニング ボタンを押します。

6 「キロク ローラ クリーニング」と表示されるまで 08 ∨ ボタンか 02 ∧ ボタンを押します。

7 セット ボタンを押します。

クリーニングシートが給紙されます。クリーニングが終わると、クリーニングシートが排紙されます。

BJクロスFS-101での印刷

1 原稿排紙トレイを開き、原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

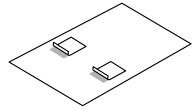
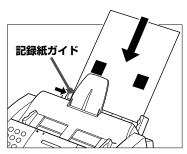
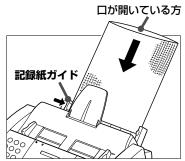
上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

2 (カートリッジ)ボタンを押して、紙間選択レバーが右側の位置になっているか確認します。

→「紙間選択レバーの調整」6-6ページ

3 もう一度 (カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

4 布地面を上にし開口部の逆の方から、BJクロスを1枚だけ、つきあたるまで記録紙トレイに差しこみます。

5 記録紙ガイドをBJクロスの端に合わせます。

パッケージにはいっている色止め剤は、印刷には必要ないので使わないでください。

1時間程度たってインクが完全に乾くまで、印刷した面には触れないでください。

バナー紙(長尺紙)BP-101に印刷する

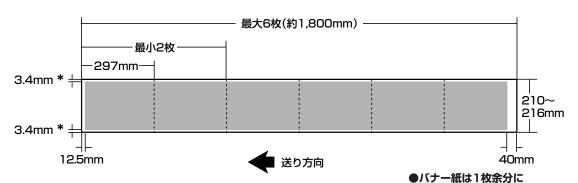
バナー紙(長尺紙)BP-101は、等間隔にミシン目がはいった連続用紙で、図のように最小2枚〜最大6枚までつながった状態で印刷できます。(6枚全体の長さは約1,800mmです)ミシン目にそって必要な長さに切って使ってください。

バナー紙は、キヤノンの「バナー紙(長尺紙)BP-101」をおすすめします。これは、BJプリンタのために特別に開発されたバナー紙で、鮮やかにはっきりとカラー印刷できます。

* 幅が210mmのときの値

●バナー紙は1枚余分に

予定の枚数に印刷が収まらなかった場合を考えて、最後に予備の用紙を1枚つけてください。

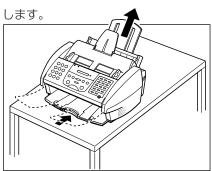
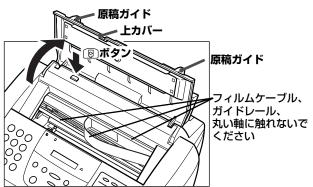
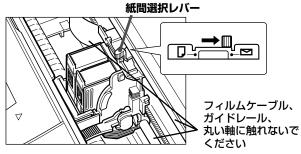
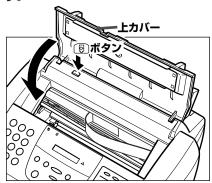
余白部分には印刷できないので注意してください。

1 記録排紙ガイドを左右、両方とも立てます。

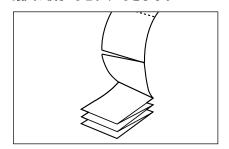
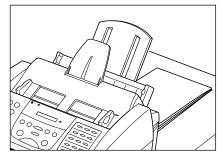
2 B-20を台の端近くに置き、印刷されたバナー紙が下に落ちるようにします。

記録紙サポートを引き出し、記録排紙サポートは押しこんだ状態にします。

3 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

4 (カートリッジ)ボタンを押し、カートリッジホルダを本体中央に移動します。

5 紙間選択レバーを右にセットします。

6 もう一度 (カートリッジ)ボタンを押し、上カバーを閉じます。

7 バナー紙をミシン目にそって必要な長さに切り離します。

最大6枚までセットできます。

8 バナー紙をB-20の後ろの平らな所に置きます。

●インクの残量

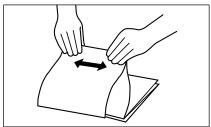
バナー紙に印刷するときは、BJカートリッジにじゅうぶんなインクが残っているか確認してください。インクの残量に不安があるときは、新しいBJカートリッジを使ってください。

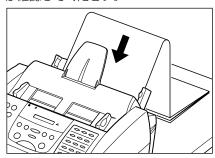
バナー紙には、色の薄い印刷のほうがきれいに仕上がります。

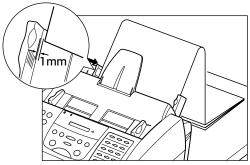
●バナー紙は1枚余分に

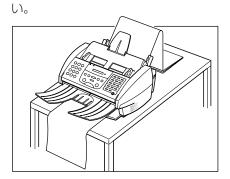
予定の枚数に印刷が収まらなかった場合を考えて、最後に予備の用紙を1枚つけてください。

余白部分には印刷できないので注意してください。

9 1枚めと2枚めの間のミシン目を軽く折り曲げます。

10 バナー紙の1枚めの右端を記録紙トレイの右端に合わせ、つきあたるまで差しこみます。

残りのバナー紙が記録紙トレイの後ろに、まっすぐに置かれているか確認してください。

11 記録紙ガイドをバナー紙の端に合わせます。このとき、記録紙ガイドとバナー紙の端を1mm程度空けるようにします。

バナー紙が、記録紙トレイと記録紙ガイドのタブの下になっているのを確認してください。

12 コンピュータで、印刷を開始します。

印刷されたバナー紙が、台の端から垂れ下がるようにしてください。

カラー印刷するときの注意

カラー印刷するときは、つぎのような注意が必要です。

記録用紙について

きれいにカラー印刷するためには、用途に最も適した記録用紙を選ぶ必要があります。また、同じように印刷しても、記録用紙によって色が異なります。

→「記録用紙の種類」6-2ページ

アプリケーションについて

B-20は、最大1670万色までの色調を再現できますが、実際に印刷できる色数は、アプリケーションによって異なることがあります。

また、アプリケーションによっては、つぎのようなカラー調整ができるものもあります。

- 明度(輝度)では、色の明るさを調整します。印刷した結果が、ディスプレイでの色よりも明るいときや暗いときに調整します。
- 色相では、色合いを調整します。

くわしくは、そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

ディスプレイについて

最適なカラー印刷を行うためには、24ビットのカラー表示が可能なディスプレイとビデオカードを使ってください。くわしくは、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

ディスプレイでは、赤、緑、青の光の組み合わせで色を表しています。プリンタでは、シアン、イエロー、マゼンタ、ブラックのインクの組み合わせで色を表しています。

B-20は、一般的なディスプレイでの色に、できるだけ近い印刷ができるように調整されていますが、ディスプレイとプリンタでは色の表し方が異なるので、完全には同じ色にならないことがあります。

印刷時間を短くするには

カラー印刷では、非常に多くの情報を処理しなければならないので、印刷に時間がかかりますが、つぎのようにすると、印刷時間を短くすることができます。

- コンピュータのメモリ容量を増やす。
- CPUの処理速度が速いコンピュータを使う。
- スクリーンセーバーやメモリ常駐のアプリケーション、他のアプリケーションを終了する。
- 色数を少なくする。
- 絵や写真のサイズを小さくする。
- 完成前のチェックのための印刷(ドラフト印刷)は、白黒か、オートパレットの[ドラフト]で印刷する。また、記録用紙の設定も普通紙にして、普通紙に印刷する。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

インクを節約するには

カラー印刷では、白黒印刷よりも経費(ランニングコスト)がかかりますが、つぎのようにするとインクを節約できます。

- 完成前のチェックのための印刷(ドラフト印刷)では、カラーBJカートリッジBC-21eを使う。
- 図表やグラフなどの色をつける部分は、塗りつぶさずに、斜線などのパターンにする。
- なるべく白に近い薄い色を使う。たとえば、赤の代わりにピンクを使うと、赤と白(紙の色)のドットが交互にくり返されるので、赤で塗りつぶすよりインクを節約できる。
- 背景にはなるべく色をつけない。
- ドラフト印刷のときは色をつけない。色をつけるのは、いちばん最後の印刷のときだけにする。
- 複数のページを印刷する場合、使っているアプリケーションに、複数のページを縮小して1ページに印刷する機能があるときは、チェック段階ではその機能を使って印刷する。

7章
BJカートリッジ

キヤノンでは、さまざまな印刷に対応するため、多数のBJ(Bubble Jet)カートリッジを提供しています。ここでは、BJカートリッジの取り扱いやメンテナンスのしかた、目的に合ったBJカートリッジの選び方について説明します。

B-20には、カラーBJカートリッジBC-21eと、ブラックインクがなくなったときの交換用のブラックインクカートリッジBCI-21 Blackがひとつずつ付属しています。

BJカートリッジの取り扱いと保管

B-20を快適にお使いいただくためにも、BJカートリッジの取り扱いと保管にはつぎの点に注意し、最適な印刷品質を保つようにしてください。

BJカートリッジの保管

- 室温で保管してください。
- 子供の手が届かない場所に保管してください。
- B-20に取り付ける直前まで、保護パッケージや保管箱から取り出さないでください。
- 保護キャップと保護テープをはずしたら、すぐにB-20に取り付けてください。
- 交換のために取りはずしたら、付属のBJカートリッジ保管箱SB-21に入れて保管してください。
- 必要なとき以外は、B-20から取りはずさないでください。
- カラーBJカートリッジBC-21eは、両方のインクカートリッジを取り付けた状態でお使いください。インクカートリッジを取りはずしたり、片方のインクカートリッジだけで使うと、目づまりの原因となります。

使用する期間

- 使い始めて1年以上のカートリッジは使わないでください。

取り扱い

- 分解したり、インクを補充しないでください。
- 落としたり振ったりしないでください。また、プリントヘッドを下に向けて置かないでください。BJカートリッジのインクが衣服などにつくと、洗い落とすことは困難です。
- 持つときは側面を持ってください。プリントヘッドやその周り、底面や側面の金属部分や電極部分には、絶対に触れないでください。

B-20を使わないとき

- 本体内のカートリッジホルダが右側のホームポジションにあるか確認してください。ホームポジションにないときは、(カートリッジ)ボタンを押してください。ホームポジションでは、BJカートリッジのプリントヘッドが乾燥しないように保護されます。

ボタン

ホームポジション
カバーの下に
かくれています。

文字がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できないとき

- プリントヘッドをクリーニングしてください。
  5回以上クリーニングを繰り返してもきれいに印刷できないときは、インクカートリッジやBJカートリッジを交換してください。

クリーニング方法→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

BJカートリッジの種類

つぎのBJカートリッジやインクカートリッジをお使いいただけます。印刷する目的に合わせて適切なカートリッジをお選びください。

ここで紹介されていないカートリッジを使うと、思いどおりに印刷できなかったり、故障の原因になる場合もあるので、じゅうぶんに注意してください。

カラーBJカートリッジBC-21e

通常のカラー印刷には、このカートリッジをお使いください。
このカートリッジはインクカートリッジだけを交換できます。インクがなくなったら、ブラック(ブラックインクカートリッジBCI-21 Black)またはカラー(カラーインクカートリッジBCI-21 Color)のどちらかなくなった方のインクカートリッジだけを交換してください。

ブラックインク
カートリッジ
BCI-21 Black

カラーインク
カートリッジ
BCI-21 Color

カラーBJカートリッジBC-21eには、必ずインクカートリッジをふたつ取り付けて使ってください。インクカートリッジをひとつしか取り付けないで使うと、インクがつまることがあります。

ブラックBJカートリッジBC-20

受信したファクスなど、白黒印刷には、このカートリッジをお使いください。カラーBJカートリッジBC-21eよりもブラックインクのノズル数が多く、半分の時間で白黒印刷できます。

カラーBJカートリッジBC-22eフォト

写真画像をきれいに印刷したいときは、このカートリッジで、高品位専用紙HR-101/101Sやフォト光沢紙GP-201に印刷してください。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトでは、白黒で受信したファクスは印刷できません。(カラーで受信したファクスの印刷→4-11ページ)また、白黒コピーにも使わないでください。インクカートリッジとプリントヘッドが一体化されているので、ファクスの印刷や白黒コピーでブラックインクを使い切ると、カラーインクが残っていてもカートリッジごと交換しなければなりません。

蛍光BJカートリッジBC-29F

このカートリッジで、高品位専用紙HR-101/101Sやフォト光沢紙GP-201に印刷すると、鮮やかな蛍光色のカラー印刷ができます。

蛍光BJカートリッジBC-29Fは、受信したファクスの印刷やコピーには使わないでください。カラーBJカートリッジBC-22eフォトと同じように、ブラックインクを使い切ると、カラーインクが残っていてもカートリッジごと交換しなければなりません。また、カラーコピーをしても、正確な(忠実な)色表現ができません。

BJカートリッジ保管箱SB-21

インクの乾燥を防ぐため、取りはずしたBJカートリッジは、この保管箱に保管してください。
保管箱が2個以上必要なときは、お近くの販売店でお買い求めください。

BJカートリッジのクリーニングと交換

いつもきれいに印刷するためには、BJカートリッジのプリントヘッドをクリーニングしたり、古くなったBJカートリッジやインクカートリッジを交換することが必要です。

B-20に取り付けたBJカートリッジの状態を調べるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。

ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドのノズルからきちんとインクが出ているかどうかを確認できます。

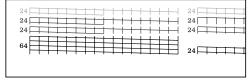
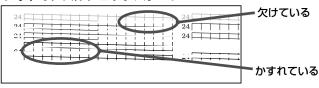
1 ［ファンクション］ボタンを押します。

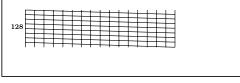
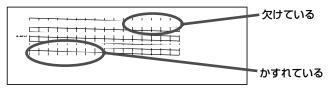
2 ［10 クリーニング］ボタンを押します。

［ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾉｽﾞﾙ ﾁｪｯｸ］と表示されます。

3 ［セット］ボタンを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

カラーBJカートリッジBC-21e/22eフォトのノズルチェックパターン

正常な場合

かすれたり欠けている場合の例

ブラックBJカートリッジBC-20のノズルチェックパターン

正常な場合

かすれたり欠けている場合の例

ノズルチェックパターンがかすれていたり欠けていたときは、プリントヘッドをクリーニングしてから、もう一度ノズルチェックパターンを印刷してください。5回クリーニングしてもノズルチェックパターンがかすれていたり欠けているときは、BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

プリントヘッドのクリーニング

BJカートリッジのプリントヘッドには、インクを記録用紙に吹きつけるためのノズルがあり、きれいに印刷するためには、ときどきクリーニングする必要があります。

印刷がかすれたり欠けたりしてきれいに印刷できなくなったときは、つぎのようにプリントヘッドをクリーニングしてください。

1 ファンクション ボタンを押します。

2 10 クリーニング ボタンを押します。

3 「ヘッド クリーニング」と表示されるまで08 ∨ボタンか02 ∧ボタンを押します。

4 セット ボタンを押します。

クリーニングが終わると終了を知らせる音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

5 ノズルチェックパターンを印刷して、きれいに印刷できるか確認します。

6 きれいに印刷できないときは、プリントヘッドのクリーニングをさらに4回までくり返してください。

5回クリーニングしてもきれいに印刷できないときは、新品のBJカートリッジやインクカートリッジに交換してください。

印刷が薄いときは、印刷の濃度や速度を調整すると、きれいに印刷できることがあります。プリントヘッドをクリーニングする前に、調整してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

プリントヘッドのクリーニングを行うと、少量ですがインクが使われます。ひんぱんにクリーニングすると、カートリッジのインクがなくなってしまうので、必要なときだけにしてください。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-4ページ

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ
→「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

カートリッジの交換時期

BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期は、印刷の内容によって異なります。たとえば、ハーフトーンやグレースケールを使ったグラフィックスの印刷では、文字だけの印刷よりもインクを多く使うので、交換時期も早くなります。

BJカートリッジの交換のめやすは、つぎのとおりです。

- 取り付けたカラーBJカートリッジBC-21eを6か月以上使い続けているか、ブラックBJカートリッジBC-20を1年以上使い続けているとき
- プリントヘッドを5回クリーニングしても、印刷がかすれたり欠けたりゆがんでいるときや、適切な色でカラー印刷できないとき
- カラー印刷なのに黒だけで印刷されるとき
- 「クロ インクガ アリマセン」、「カラー インクガ アリマセン」と表示されるとき

●BJカートリッジの平均印刷枚数

→「BJカートリッジ、インクカートリッジの仕様」10-14ページ

キヤノンでは、多数のBJカートリッジを提供していますが、B-20には、

カラーBJカートリッジBC-21e
ブラックBJカートリッジBC-20
カラーBJカートリッジBC-22eフォト
蛍光BJカートリッジBC-29F

のどれかをお使いください。

また、カラーBJカートリッジBC-21eのインクカートリッジには、カラーインクカートリッジBCI-21 ColorとブラックインクカートリッジBCI-21 Blackをお使いください。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトでは、受信したファクスの自動印刷やレポート印刷はできないので注意してください。

●カラーBJカートリッジBC-21eを使っているとき

何も印刷されないときや、印刷がかすれるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-4ページ

ノズルチェックパターンが印刷されないときは、カラーとブラックのインクカートリッジが空になっていると思われるので交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

どれかの色だけが、または、いくつかの色が印刷されないときは、カラーのインクカートリッジを交換してください。

ブラックだけが印刷されないときはブラックのインクカートリッジを交換してください。

横方向にかすれるときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

プリントヘッドが損傷するか、あるいは印刷部数が2000枚を超えない限り、カラーBJカートリッジBC-21eを交換する必要はありません。

●「カートリッジ コウカン」と表示されたとき

LCDディスプレイに「カートリッジ コウカン」と表示されたときは、インクがなくなったか、プリントヘッドが目づまりしています。まず、プリントヘッドをクリーニングしてみてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

プリントヘッドがきれいになると、メッセージが消え、ファクスをメモリ受信していたときは印刷が始まります。

クリーニングを5回くり返してもメッセージが消えないときは、カートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ
→「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

●コピーが薄かったり､白紙になってしまうとき

印刷やファクス受信は正常なのに、コピーが薄かったり、何も印刷されなかったり、ゆがんでいるときは、本体のスキャナ部を清掃します。

→「スキャナ部の清掃」8-3ページ

清掃してもきれいに印刷できないときは、カートリッジを交換してみてください。

BJカートリッジを交換する

BJカートリッジは、つぎのようにして交換してください。

1 B-20の電源がはいっているか確認します。

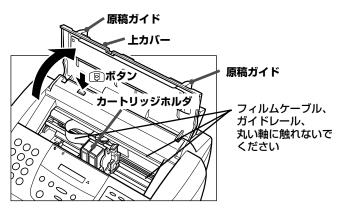
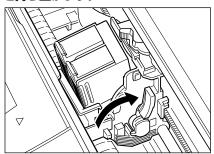
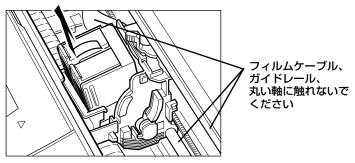
2 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

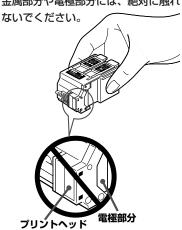
上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

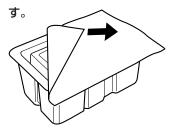
3 (カートリッジ)ボタンを押します。

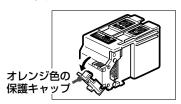
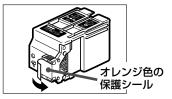
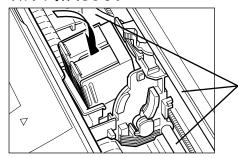
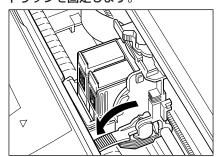
カートリッジホルダが中央に移動します。

B-20には、過熱防止のための自動保護機能があります。カートリッジホルダが移動しないで、警告音が数回鳴ったときは、B-20の電源を切り、数分間待ってから、もう一度電源を入れ、(カートリッジ)ボタンを押してカートリッジホルダを移動させてください。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、むりに動かさないでください。故障の原因になります。

4 カートリッジホルダの青色のカートリッジ固定レバーを、ゆっくりと持ち上げます。

5 BJカートリッジを取りはずします。

取りはずしたBJカートリッジがまだ使えるときは、付属のBJカートリッジ保管箱SB-21に入れて保管してください。

BJカートリッジを持つときは、側面を持ってください。プリントヘッドやその周り、底面の金属部分、側面の金属部分や電極部分には、絶対に触れないでください。

→「BJカートリッジの保管」7-11ページ

6 保護パッケージのカバーをはがし、BJカートリッジを取り出します。

7 新しいBJカートリッジのプリントヘッドからオレンジ色の保護キャップを取りはずしてから、オレンジ色の保護シールをはがします。

取りはずした保護キャップと保護シールは捨ててください。BJカートリッジを保管するときも、保護キャップや保護シールは取り付けないで、BJカートリッジ保管箱SB-21に入れてください。

8 カートリッジのラベル面を本体正面の方向に向けて、カートリッジホルダに挿入します。

9 カートリッジがカートリッジホルダの背面に当たっているか確認してから、カートリッジ固定レバーを止まるまで押し下げ、BJカートリッジを固定します。

10 (カートリッジ)ボタンを押し、「カートリッジガ モドリマス」と表示されたら、上カバーを閉じます。

ピーピーと音が鳴り、カートリッジホルダが本体右側のホームポジションに移動しプリントヘッドのクリーニングが始まります。約55秒かかります。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、むりに動かさないでください。故障の原因になります。

カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する

カラーBJカートリッジBC-21eを取り付け、正しく印刷の操作をしたのに、何も印刷されなかったときは、インクカートリッジが空になっている可能性があります。このときは、「プリントヘッドのクリーニング」(→7-5ページ)にしたがって、プリントヘッドをクリーニングしてください。クリーニングを5回くり返しても、まだ何も印刷されないときは、つぎのようにインクカートリッジを交換してください。

●「クロ インクガ アリマセン」と表示されたとき

ブラックインクカートリッジBCI-21 Black(右側)を交換してください。

●「カラー インクガ アリマセン」と表示されたとき

カラーインクカートリッジBCI-21 Color(左側)を交換してください。

1 B-20の電源がはいっているか確認します。

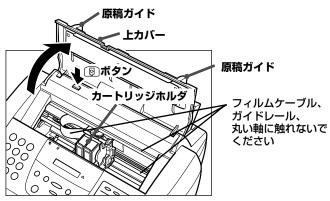
2 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

3 (カートリッジ)ボタンを押します。

カートリッジホルダが中央に移動します。

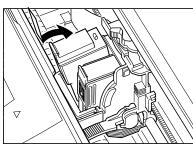
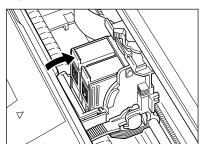
動いているカートリッジホルダを手で止めたり、むりに動かさないでください。故障の原因になります。

B-20には、過熱防止のための自動保護機能があります。カートリッジホルダが移動しないで、警告音が数回鳴ったときは、B-20の電源を切り、数分間待ってから、もう一度電源を入れ、(カートリッジ)ボタンを押してカートリッジホルダを移動させてください。

4 空のインクカートリッジの上部のタブを持って、手前に引いてから持ち上げて取りはずします。

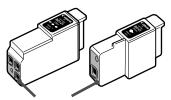
取りはずしたインクカートリッジは、残っているインクがほかのものにつかないようにビニール袋に入れて、きちんと処分してください。

5 新しいインクカートリッジを袋から取り出し、オレンジ色の保護カバーを取りはずします。

手にインクがつかないように、インクカートリッジの底面には触れないでください。

6 新しいインクカートリッジを入れます。

7 インクカートリッジの上部のタブを図の方向にしっかりと押しこみます。

8 もうひとつのインクカートリッジも交換するときは、同じように交換します。

9 インクカートリッジがきちんとはまっているか確認して、カートリッジボタンを押し、「カートリッジガ モドリマス」と表示されたら、上カバーを閉じます。

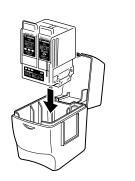
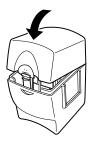
ピーピーと音が鳴り、カートリッジホルダが右側のホームポジションに移動しプリントヘッドのクリーニングが始まります。約55秒かかります。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

BJカートリッジの保管

BJカートリッジから保護キャップや保護シールを取りはずした後は、目づまりなどを防ぐために、プリントヘッドが乾燥しないように注意してください。

B-20に取り付けられているカートリッジは、本体右側のホームポジションに自動的に移動し、乾燥しないように保護されます。

使用中のBJカートリッジをB-20から取りはずしたときは、付属のBJカートリッジ保管箱SB-21に保管してください。

1 カートリッジのラベル面を正面に向け、プリントヘッドを下にして、カートリッジを保管箱に入れます。

2 カチッと音がするまでフタを閉めます。

8章
清掃と輸送

この章では、日常のお手入れと輸送するときの梱包について説明します。

定期的に清掃すれば、快適に使い続けることができます。

清掃する

いつもいいコンディションでお使いいただくために、定期的に清掃を行ってください。清掃するときは、つぎの点に注意してください。

電源コードを抜くと、メモリ内のファクスはすべて消去されます。

清掃する前に、メモリに保存されているファクスをすべて印刷してください。LCDディスプレイに「ダイコウ ジュシン シマシタ」や「ファイル ジュシン シマシタ」と表示されているときは、メモリに保存されているファクスを印刷してください。

送信待ちの原稿があるときにB-20の電源を切った場合は、清掃後にもう一度原稿をセットし、送信の操作を行ってください。

→「メモリでの受信」4-9ページ、「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

清掃にはティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。

部品に紙の粉が吸い付いたり、静電気の原因になることがあります。

本体外側の清掃

本体外側は、つぎのように清掃してください。

1. 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。
2. カートリッジホルダがホームポジションにあるのを確認して、B-20から電源コードを抜きます。
   ホームポジションにないときは、カートリッジボタンを押してください。
3. 柔らかい布を、水か中性洗剤を水で薄めた液に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。
4. 電源コードを接続します。

ホームポジション→「各部の名称と働き」xiページ

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。本体が変色したり、故障の原因になります。

本体内部の清掃

インクの汚れや紙の粉などが本体内部にたまると、きれいに印刷できなくなることがあります。つぎのように本体の印刷部分を定期的に清掃してください。

1 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

2 カートリッジホルダがホームポジションにあるのを確認して、B-20から電源コードを抜きます。

ホームポジション→「各部の名称と働き」xiページ

3 柔らかくて乾いた、糸くずのでない、きれいな布を使って、プラテン周りを中心にインクの汚れや紙の粉を取り除きます。
カートリッジに触れないように注意してください。

本体内部の清掃には、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

本体内部のガイドレールやフィルムケーブル、丸い軸に触れないでください。

4 プラテンの手前に2列に並んでいる、白と黒の小さなローラが汚れているときは、柔らかくて乾いた歯ブラシを使ってきれいにします。

5 上カバーを閉じ、電源コードを接続します。

スキャナ部の清掃

スキャナ部は、つぎのように定期的に確認し清掃してください。

本体から電源コードを抜くと、メモリに保存されているファクスが消去されます。電源コードを抜く前に、印刷してください。
→「メモリでの受信」4-9ページ
→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

1 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

2 カートリッジホルダがホームポジションにあるのを確認して、B-20から電源コードを抜きます。

3 操作パネルをゆっくりと手前に引いて開きます。

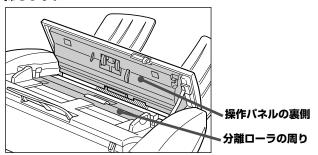
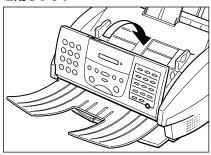
4 柔らかくて乾いたきれいな布で、分離ローラと分離ガイドの汚れを拭きとります。
白いシートとスキャンガラスは、水で湿らせ固くしぼった布で汚れを落としてから、柔らかくて乾いた布で拭きとります。

スキャン部が汚れていると、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。

スキャン部を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。

静電気による故障の原因になるので、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。

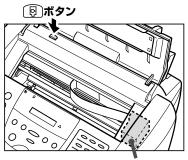
5 操作パネルの裏側や分離ローラの周りも、柔らかくて乾いた布で清掃します。

この部分の汚れやほこり、紙の粉によっても、送信、コピー、スキャンした画像が汚れます。

6 清掃が終わったら、図のように操作パネルの中央を押してしっかりと閉じます。

カチッと音がするまでしっかり閉じてください。きちんと閉じていないと、正常に動作しません。

7 電源コードを接続します。

輸送するときの梱包

B-20を輸送するときは、輸送中に破損したり故障したりしないように、つぎのように梱包してください。

1. 原稿ガイドを持ち上げて上カバーを開きます。
2. カートリッジホルダが右側のホームポジションにあるか確認します。
   ホームポジションにないときは、(カートリッジ)ボタンを押してください。
3. BJカートリッジとカートリッジホルダをテープでB-20本体に固定します。
4. 電源コードを抜きます。
5. モジュラージャックコード、コンピュータとのパラレルケーブルを取りはずします。
   子電話、留守番電話を取り付けているときは、それも取りはずします。
6. 原稿トレイを取りはずします。
7. 購入時に取りはずした梱包材を取り付け、B-20本体と付属品を、箱に収めます。

BJカートリッジは、取り付けたまま輸送します。取りはずすと、プリントヘッドが乾燥して使えなくなることがあります。また、テープでしっかり固定しないと、B-20内部にインクがもれることがあります。

●元の箱や梱包材がないとき

適当な大きさの丈夫な段ボール箱に入れて、一般の発泡スチロールやビニール袋などの梱包材を使い、中で本体がガタガタしたり、輸送のショックで破損、故障しないように、しっかりと梱包してください。発泡スチロールなどの小さな梱包材を使うときは、B-20の中にはいりこまないように、先にB-20本体をビニール袋などで包んでください。

9章
困ったときは

操作がうまくいかないとき、動作がおかしいときなどは、この章の説明にしたがって対処してください。

⚠注意 B-20本体から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。絶対に自分で修理、分解しないでください。

●パソコンの画面に「MultiPASSの初期化」というメッセージが表示されたとき

つぎの点をチェックしてください。

- B-20本体の電源コードが抜けていないか？
- パラレルケーブルが抜けていないか？
- パラレルポートの設定は正しいか？
  B-20を接続するパラレルポートが正しく動作してるかチェックしてください。
- パラレルポートに他の機器が接続されていないか？
  B-20は、同じパラレルポートに、コピーガード装置やZIPドライブ、CD-ROMドライブなど、他の機器が接続されていると、正しく動作しません。それらの機器は取りはずすか、B-20とは別のパラレルポートに接続してください。

どうしても問題が解決しないとき

この章の説明にしたがって対処してみても、どうしてもうまくいかなかったときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（→裏表紙）に連絡してください。

キヤノンサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。キヤノン製品を使っていてお困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

連絡の前に、あらかじめつぎのことをメモしておいてください。

- 装置名－MultiPASS（マルチパス）B-20
- シリアルナンバー（機体番号：B-20本体の背面のラベルに書かれています。）

Canon H12159
電圧 AC100V 周波数 50-60Hz
消費電力 43W
認証機器名 MultiPASS B-20
認証番号 A99-1149JP
NO. XXX XXXXX
キヤノン株式会社 MADE IN THAILAND
HB1-4130 H12-1591

シリアルナンバー

- MultiPASS Suiteのバージョン
  （MultiPASS Suiteを使っていない場合は、必要ありません）
- お買い求めの販売店名
- トラブルのくわしい状況
- この章の説明にしたがって対処したことと、その結果（複数ある場合はすべて）

⚠注意 B-20をご自分で修理、分解すると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

B-20のまわりで煙、異様な臭い、騒音などの異常がみられたら、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センターに連絡してください。絶対に自分で分解したり、修理したりしないでください。

MultiPASS Suiteのバージョンの調べ方→『MultiPASS Suite使用説明書』

紙づまり

自動給紙装置（ADF）の原稿や記録紙トレイの記録用紙が途中でひっかかったり、つまったときは、つぎのようにして取り除いてください。

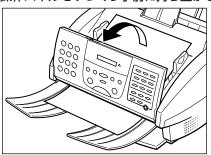
つまった紙は、電源を入れたままで取り除きます。

原稿がつまったとき

自動給紙装置（ADF）で原稿がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、「ｹﾞﾝｺｳ ｦ ﾁｪｯｸ」と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。

1 紙づまりしてもまだ原稿が送られつづけているときは、（ストップ）ボタンを押します。

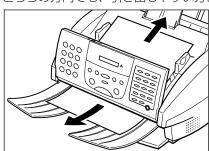
2 複数の原稿をセットしていたときは、いったん全部取り出します。

3 操作パネルをゆっくり手前に持ち上げるようにして開きます。

操作パネルを開けずに原稿を引き出そうとすると、原稿が破れたり、汚れたりすることがあります。

4 つまった原稿をゆっくりと引き出します。

どちらの方向でも、引き出しやすい方に引き出してください。

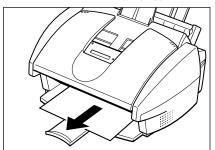
●原稿をうまく引き出せないとき

無理に引っぱると、破れる恐れがあります。そのままの状態で、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（→裏表紙）に連絡してください。

5 操作パネルをゆっくり閉じて、カチッという音がするまで中央部を静かに押します。

6 エラーメッセージが表示されているときは、（リセット）ボタンを押すと消えます。

記録排紙口で記録用紙がつまったとき

記録排紙口で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに、「ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ」と表示されます。このときは、つぎのようにして取り除いてください。

1 図のように、つまった記録用紙をゆっくり引き出します。

2 (リセット)ボタンを押すと、エラーメッセージが消えます。
Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信した内容はメモリに保存されています。つまった紙を取り除いて(リセット)ボタンを押すと印刷されます。

カートリッジ付近で記録用紙がつまったとき

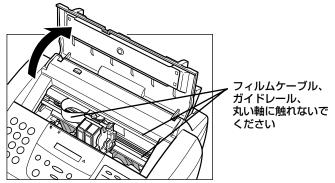
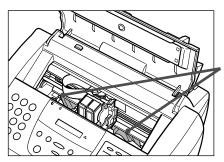
カートリッジ付近で記録用紙がひっかかったり、つまったりすると、LCDディスプレイに「ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｼﾞｬﾑ」と表示されます。

このときは、つぎのように対処してください。

ファクス受信中に記録用紙がつまったときは、受信した内容はメモリに保存されています。つまった紙を取り除いて（リセット）ボタンを押すと印刷されます。

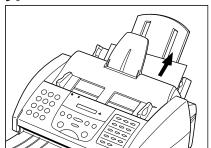
1 原稿ガイドを持ち上げて、上カバーを開きます。

上カバーが開きにくいときは、原稿ガイドを外側にひろげてください。

動いているカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かさないでください。故障の原因になります。

2 カートリッジ付近につまっている記録用紙を、記録紙トレイ側から引き出しやすいようにできるだけ平らにします。

3 上カバーを閉じます。

紙がちぎれたときは、ピンセットなどで切れ端を取り除いてください。

4 記録紙トレイから、つまっている記録用紙をゆっくり引き出します。

5 （リセット）ボタンを押すと、エラーメッセージが消えます。

ピーピーと音が鳴り、カートリッジが本体右側のホームポジションに移動します。

Windowsアプリケーションから印刷していたときは、コンピュータの画面の表示にしたがってください。

記録紙トレイの記録用紙がうまく送られない

記録紙トレイにセットした記録用紙がうまく送られないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

記録用紙がはいっていかない

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

記録用紙の量が最大用紙量のマーク（▲）を超えないように注意してください。

セットできる枚数→6-4ページ

記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

斜めに印刷される

記録用紙の束の右側が、記録紙トレイの右側にそろい、記録紙ガイドが記録用紙の左側に合わされているか確認してください。

→「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

記録排紙口にゴミや異物が付着していないか確認してください。

何枚か重なって送られる

記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

記録用紙どうしがくっついていないか確認してください。

記録用紙を記録紙トレイに入れるときは、よくさばいてからそろえてセットしてください。

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

記録用紙の量が最大用紙量のマーク（▲）を超えないように注意してください。

記録紙トレイにセットできる枚数は、普通紙では100枚までです。無理に押さえつけてつめこまないでください。

記録紙トレイに種類の違う記録用紙がはいっていませんか？

記録紙トレイには、一種類の記録用紙だけをセットしてください。また、記録用紙が条件に合っているか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

OHPフィルムやバックプリントフィルムがうまく送られない

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎませんか？

記録紙トレイにセットできる枚数は、OHPフィルムは50枚まで、バックプリントフィルムは10枚までです。

紙づまりがたびたび起こる

記録用紙そのものに問題がある可能性があります。

記録用紙が条件に合っているか確認してください。また、記録用紙どうしがくっつかないように、よくさばいてからそろえて記録紙トレイにセットしてください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

封筒が送られない

封筒が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください。

封筒は、一度に10枚までセットできます。

→「封筒に印刷する」6-7ページ

コンピュータの用紙の設定で、正しい封筒サイズが選ばれているか、確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

封筒の種類は、条件に合っていますか？

印刷できる封筒は、つぎのとおりです。

洋形4号(235×105mm)

洋形6号(190×98mm)

→「記録用紙の種類」6-2ページ

ファクスを送信できない

ファクスの送信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

ファクスを送信できない

B-20が内部の温度が上がりすぎて冷えるのを待っている状態である可能性があります。

電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、しばらく放置してください。機械が冷えてから、もう一度送信してみてください。ただし、B-20の電源を切ると、メモリに保存されていた原稿は消去されます。

それでも送信できないときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)は正しく設定されていますか?

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのNTTにお問い合わせください。116番(無料)で調べてもらえます。

→「電話回線の種類を設定する」1-7ページ

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか?

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

紙間選択レバーは原稿の種類に合わせて設定されていますか?

操作パネルは閉じていますか?

指定したワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルには、番号が登録されていますか?

登録内容を確認してください。

送信先のファクス機器の記録用紙はなくなっていませんか?

送信先に連絡して、確認してもらってください。

カラー対応ではないファクスにカラー原稿を送信していませんか?

カラー対応のファクスにだけカラー原稿を送信できます。送信先のファクスがカラー対応ではない場合は、白黒で送信しなおしてください。

メモリから別のファクスを送信中ではありませんか?

LCDディスプレイにスタンバイ状態を表すメッセージ(日付と受信モード)が表示されているか確認してください。

送信時に通信エラーが発生した可能性があります。

通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

→「通信管理レポート」2-14ページ、「メッセージとその内容」9-24ページ

電話回線に異常がある可能性があります。

子電話の受話器を取って、発信音が聞こえるか確認してください。聞こえないときは、最寄りのNTTに連絡してください。

送信先のファクス機器がG3対応かどうか、確認してください。

すべての項目を確認してもファクスを送信できないとき

B-20の電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源コードをコンセントに差しこんで電源を入れてください。ただし、B-20の電源を切ると、メモリに保存されていた原稿は消去されます。

それでも送信できないときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

送信したファクスが汚れている

送信先のファクス機器に原因があるかもしれません。

B-20でコピーをとってみてください。コピーがきれいにとれれば、送信先のファクス機器が原因と思われます。送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか?

原稿をいったん全部取り出し、セットしなおしてください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

ECMモードで送信できない(「ECM ソウシン」と表示されない)

Desktop Managerのファクス送信の設定、またはB-20本体の「送信機能設定」で、ECM送信に設定されていますか?

Desktop Managerか、B-20の操作パネルで設定を確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

送信先のファクス機器はECMに対応していますか?

対応していないときは、エラーチェックを行わずに、標準モードで送信します。

送信先のファクス機器で、ECM受信が無効になっている可能性があります。

送信先に連絡して、確認してもらってください。

送信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

Desktop Managerの[ファクス送信の詳細設定]画面か、B-20本体の操作パネルの「システム管理設定」で、「送信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

ファクスを受信できない

　ファクスの受信がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてください。

自動でファクスを受信できない

受信モードは正しく設定されていますか?

ファクスを自動で受信するためには、受信モードが自動受信モード、留守番電話接続モード、FAX/TEL切り替えモードのどれかに設定されていなければなりません。正しく設定してください。

→「ファクス受信モードの種類」4-2ページ

留守番電話接続モードに設定している場合は、留守番電話が接続されていることと、電話が留守番電話の状態になっていて、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか？

Desktop Managerで設定を確認してください。[ファクス設定]画面の[ファクス受信]タブで、[コンピュータ起動時]の設定を[ファクスをアップロード]にしているときは、受信したファクスは印刷されずにコンピュータに送られます。コンピュータに送らずにB-20で印刷するときは[ファクスを印刷]に設定してください。すでにコンピュータに送られたファクスは、Desktop Managerで印刷してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

メモリにファクスが残っていて、空きがない可能性があります。

メモリ内のファクスを印刷してください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

受信時に通信エラーが発生した可能性があります。

LCDディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、調べてみてください。

また、通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

→「メッセージとその内容」9-24ページ、「通信管理レポート」2-14ページ

記録紙トレイに記録用紙がはいっているか確認してください。

モジュラージャックコードがしっかり接続されているか、確認してください。

電話と自動的に切り替わらない

受信モードは正しく設定されていますか?

ファクスを自動で受信するためには、受信モードが自動受信モード、留守番電話接続モード、FAX/TEL切り替えモードのどれかに設定されていなければなりません。正しく設定してください。

→「ファクス受信モードの種類」4-2ページ

留守番電話接続モードに設定している場合は、留守番電話が接続さ

れていることと、電話が留守番電話の状態になっていて、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

メモリにファクスが残っていませんか？

メモリ内のファクスを印刷してください。

→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

受信時に通信エラーが発生した可能性があります。

LCDディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、調べてみてください。

また、通信管理レポートを印刷し、エラーコードを調べてみてください。

→「メッセージとその内容」9-24ページ、「通信管理レポート」2-14ページ

記録紙トレイに記録用紙ははいっていますか?

送信側のファクス機器がファクス呼び出し音(CNG信号)を送信していない可能性があります。

B-20は、ファクス呼び出し音によって、ファクスが送信されてきたことを検知しています。送信側のファクス機器がファクス呼び出し音を送信できないときは、手動受信するか、FAX/TEL切り替えモードで「呼び出し後の動作」を「受信」に設定してください。

→「ファクス受信モードの種類」4-2ページ

手動でファクスを受信できない

スタート/スキャン ボタンを押すか、リモートIDを押す前に、受話器を置きませんでしたか？

受話器を置く前に、スタート/スキャン ボタンを押すか、リモートIDを押してください。

自動給紙装置(ADF)に原稿がセットされていませんか？

自動給紙装置に原稿がセットされていると送信モードになります。取り除いてください。

ECMモードで受信できない(「ECM ジュシン」と表示されない)

送信側のファクス機器がECMに対応していない可能性があります。

対応していないときは、受信時にエラーチェックや修正は行われません。

Desktop Managerの[ファクス受信の詳細設定]画面、またはB-20本体の「受信機能設定」でECM受信に設定されていますか？

Desktop ManagerかB-20の操作パネルで設定を確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

受信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

Desktop Managerの[ファクス受信の詳細設定]画面か、B-20本体の操作パネルの「システム管理設定」で、「受信開始速度」の設定を遅くしてみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』、本書「メニューの使い方」10-2ページ

受信したファクスがきれいに印刷されない、汚れている

記録紙トレイにセットされている記録用紙が条件に合っていますか？

B-20で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

送信側のファクス機器に原因があるかもしれません。

B-20でコピーをとってみてください。コピーがきれいにとれれば、送信側のファクス機器が原因と思われます。ファクスの画質は、通常、送信側のファクス機器によって決まります。送信してきた相手に連絡して、読み取り部や原稿カバーが汚れていないか点検してもらってください。

電話回線や接続の状態がよくない可能性があります。

ECM受信してみてください。電話回線の状態がよくないときは、再送信してもらった方がいいでしょう。

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

受信したファクスがまったく印刷されない

BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色のテープを取りはずしましたか？

オレンジ色のテープは必ず取りはずしてください。

BJカートリッジは正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか確認してください。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトを取り付けていませんか？

このカートリッジでは、受信したファクスの印刷はできません。カラーBJカートリッジBC-21e、またはブラックBJカートリッジBC-20に交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

BJカートリッジの交換時期にきている可能性があります。

交換時期かどうか調べてください。

→「カートリッジの交換時期」7-5ページ

Desktop Managerで、受信したファクスをコンピュータに送るように設定していませんか？

Desktop Managerで設定を確認してください。[ファクス設定]画面の[ファクス受信]タブで、[コンピュータ起動時]の設定を[ファクスをアップロード]にしているときは、受信したファクスは印刷されずにコンピュータに送られます。コンピュータに送らずにB-20で印刷するときは[ファクスを印刷]に設定してください。すでにコンピュータに送られたファクスは、Desktop Managerで印刷してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

電話が使えない

電話がうまくかからないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

ダイヤルできない

モジュラージャックコードはしっかり接続されていますか？

接続を確認してください。

電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)は正しく設定されていますか？

使用する電話回線の種類に合わせて設定してください。電話回線の種類がわからないときは、最寄りのNTTにお問い合わせください。116番(無料)で調べてもらえます。

→『マルチパスB-20の羅針盤』、本書「電話回線の種類を設定する」1-7ページ

電源ははいっていますか？

電源コードがB-20と電源コンセントに接続していることを確認してください。

通話中に電話が切れてしまう

モジュラージャックコードは電話用コンセントにしっかり差しこまれていますか？

接続を確認してください

子電話が、停電時にでも通話できる電話機であれば、電源コードが抜けたり、停電になっても、通話は継続できます。

コピーできない

うまくコピーできないときは、つぎの項目をチェックしてください。

まったくコピーできない

LCDディスプレイになにか表示されていますか？

なにも表示されていないときは、電源に問題がある可能性があります。電源コードがしっかり接続されているか、電源コンセントが正常か確認してください。

エラーメッセージが表示されているときは、「メッセージとその内容」(→9-24ページ)にしたがって対処してください。

「コピー」、「ソウシン」、「ジュシン」、[ヨビダシチュウ]などが表示されていたり、送信先の宛名や電話番号が表示されているとき動作中です。動作が終わるまで待ってください。

時刻が表示されているときは、次以降の項目を確認してください。

BJカートリッジのインクがなくなっていませんか？

BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

適切なBJカートリッジが取り付けられていますか？

BJカートリッジBC-22eフォトでは、白黒コピーはできません。カラーBJカートリッジBC-21eかブラックBJカートリッジBC-20に交換してください。

ブラックBJカートリッジBC-20では、カラーコピーはできません。カラーBJカートリッジBC-21eかBJカートリッジBC-22eフォトに交換してください。

原稿は自動給紙装置(ADF)に正しくセットされていますか？

正しくセットされ、「ゲンコウ ガ アリマス」と表示されているか、給紙レバーの位置は正しいか確認してください。

→「原稿をセットする」5-4ページ

B-20が故障している可能性があります。

コンピュータから正しく印刷できるか、確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

B-20本体が熱くなっていませんか?

オーバーヒートを起こして、自動的に動作を停止している可能性があります。そのまま、本体が冷めるまでしばらくお待ちください。電源コードを抜くとはやく冷めますが、メモリに保存された情報が失われます。

子電話の受話器がはずれていませんか？

置き台にきちんと置いてください。

複数のコピーができない

「メモリ ガ イッパイデス」と表示されていませんか？

メモリ内のファクスを印刷してから、コピーをとってください。

自動リダイヤル待機中の原稿は印刷できません。

→「メモリに保存されているファクスを印刷する」4-10ページ

カラーコピーは1部ずつしかコピーできません。

印刷できない

印刷がうまくいかないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

印刷時にエラーランプが点灯し、警告音が鳴る

紙づまりのとき

つまった紙を取り除いてください。

→「紙づまり」9-3ページ

紙づまりでないとき

電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、5秒間待ってから、もう一度電源コードをコンセントに差しこんで電源を入れてください。問題が解決していれば、エラーランプは点灯せず、BJカートリッジがホームポジションに移動し、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されます(スタンバイ状態になります)。ただし、B-20の電源を切ると、メモリに保存されていた原稿は消去されます。

電源を入れなおしてもまだエラーランプが点灯するときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

まったく印刷されない

電源コードのコネクタとプラグは、B-20の差しこみ口とコンセントにしっかり差しこまれていますか?

接続を確認してください。

B-20とコンピュータのパラレルケーブルはしっかり接続されていますか?

接続を確認してください。

→『マルチパスB-20の羅針盤』

パラレルケーブルの種類が違っていませんか?

IEEE 1284に適合した、長さが2m以下の双方向パラレルインタフェースケーブルを使ってください。

コンピュータやB-20の電源を入れたまま、パラレルケーブルを接続しませんでしたか?

両方の電源を切ってから、もう一度接続しなおしてください。

BJカートリッジやインクカートリッジは正しく取り付けられていますか?

正しく取り付けられているか確認してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

プリントヘッドが目づまりしていませんか?

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

BJカートリッジやインクカートリッジの交換時期にきている可能性があります。

交換時期かどうか調べてください。

→「カートリッジの交換時期」7-5ページ

印刷に使うプリンタとして、B-20が選ばれていますか？

[プリンタ]画面またはアプリケーションの[印刷]画面で、[プリンタ名]に[Canon MultiPASS B-20 Printer]を選んでください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

プリンタドライバのポートの設定が間違っていませんか？

B-20のプリンタドライバが、コンピュータのパラレルポートを使用するように設定されているか確認してください。

コンピュータ側で、パラレルポートが使用できなくなっていませんか？

コンピュータのBIOSに、B-20を接続したパラレルポートが使用可能に設定されているか確認してください。また、そのパラレルポートで、双方向通信が可能になっているかどうかも確認してください。くわしくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

MultiPASSサーバは起動してますか？

起動していないときは、起動してください。

BJカートリッジは動いているのに､印刷されない

BJカートリッジを取り付けるときに、オレンジ色のテープをはがしましたか？

オレンジ色のテープは必ずはがしてください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ

BJカートリッジやインクカートリッジが正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか確認してください。

プリントヘッドがインクで目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

インクカートリッジが空になっていませんか？

インクカートリッジを交換してください。

→「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

一行ごとに印刷が止まる

プリントヘッドが加熱しすぎている可能性があります。

長時間、続けて印刷してプリントヘッドが加熱しすぎると、冷ますために動きが遅くなります。処理中の印刷が終了したら、しばらく使用しないで、冷ましてください。

コンピュータの画面に「MultiPASSの初期化」と表示される

コンピュータからB-20にデータを送信しても、B-20が応答しないと、タイムアウトになります。

B-20の電源がはいっているか、パラレルケーブルがしっかり接続されているか、確認してください。

紙づまりが起こっていたら、つまった紙を取り除き、記録紙トレイに記録用紙が正しくセットされているのを確認してください。

元の絵と印刷が全然違う

B-20とコンピュータをつなぐパラレルケーブルはしっかり接続されていますか？

接続を確認してください。

→『マルチパスB-20の羅針盤』

正しいパラレルケーブルを使っていますか？

IEEE 1284に適合した、長さが2m以下の双方向パラレルインタフェースケーブルを使用してください。

→『マルチパスB-20の羅針盤』

印刷に使うプリンタとして、B-20が選ばれていますか？

[プリンタ]画面またはアプリケーションの[印刷]画面で、[プリンタ名]に[Canon MultiPASS B-20 Printer]を選んでください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

他の周辺機器が、B-20と同じパラレルポートに接続されていませんか？

同じパラレルポートの周辺機器を別のパラレルポートに接続しなおすか、B-20を別のパラレルポートに接続しなおして、MultiPASS Suiteとプリンタドライバをアンインストールし、Windowsを再起動した後で再インストールしてください。

記録用紙の種類の設定は適切ですか?

コンピュータで記録用紙の種類を普通紙ではなく光沢紙にしてみてください。

前回、印刷したときの設定がそのまま残っている可能性があります。

印刷に使うアプリケーションで、印刷の設定を確認してください。

設定のしかた→そのアプリケーションのマニュアル

印刷が記録用紙サイズと合っていない

記録用紙は記録紙トレイに正しくセットされていますか？

正しくセットされているか確認してください。

→「6章 記録用紙のセットと印刷」6-1ページ

印刷に使うアプリケーションの記録用紙サイズと余白の設定が、記録紙トレイにセットされている記録用紙に合っていますか？

印刷に使うアプリケーションで、確認してください。

印刷に使うプリンタとして、B-20が選ばれていますか？

[プリンタ]画面またはアプリケーションの[印刷]画面で、[プリンタ名]に[Canon MultiPASS B-20 Printer]を選んでください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

印刷ジョブが消える､文字化けする

他のアプリケーションソフトが、MultiPASSステータスモニタが使っているプリンタポートにアクセスしようとしています。

そのアプリケーションソフトをアンインストールするか、削除します。

設定のしかた→そのアプリケーションのマニュアル

MultiPASSステータスモニタが認識されているか確認します。

スクリーンの下にMultiPASSステータスモニタのアイコンが表示されていないときは、MultiPASSステータスモニタを起動してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

印刷に時間がかかりすぎる

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

きれいに印刷、コピーできない

きれいに印刷できないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

鮮明に印刷できない

記録紙トレイにセットされている記録用紙は条件に合っていますか？

B-20で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

記録用紙の裏側に印刷していませんか？

記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

プリントヘッドのノズルがインクで目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

文字や絵がギザギザになる

プリンタドライバをチェックして、選択した印刷モードを確認してください。ドラフトモードで印刷すると、文字がギザギザになります。

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

また、ドットマトリックスプリンタ専用のビットマップフォントはギザギザに印刷されます。

Adobe Type ManagerやBitstream Faceliftなどアウトラインフォントマネージャがインストールされていること、あるいはTrueTypeフォントを選択していることを確認してください。

一部のMSフォント(MS Serifなど)はギザギザになるので、他のフォントを選択してください。

インクのしみやはねがある

プリントヘッドのノズルがインクで目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

線状にまたは部分的に白く印刷が抜けている

プリントヘッドのノズルにゴミが付着したり、インクが乾いて目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

インクが空になっていませんか？

BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

BJカートリッジやインクカートリッジは正しく取り付けられていますか？

正しく取り付けられているか確認してください。

記録紙トレイにセットされている記録用紙は条件に合っていますか？

B-20で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

色が薄い、印刷がかすむ

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

ドラフトモードで印刷しているときは、標準モードかファインモードで印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

ぼやけていたりインク汚れの箇所がある

記録紙トレイにセットされている記録用紙は条件に合っていますか？

B-20で使用できる記録用紙かどうか確認してください。

→「記録用紙の種類」6-2ページ、「プリンタ仕様」10-11ページ

記録用紙の裏側に印刷していませんか？

記録用紙には、裏表があるものがあります。そのような記録用紙のときは、表が上になるように記録紙トレイにセットしてください。裏表がよくわからないときは、裏返して印刷してみてください。

印刷した記録用紙が汚れている

記録用紙からはみ出してプラテンに印刷され、プラテンがインクで汚れていませんか？

記録ローラクリーニングを行って、プラテンのインクを拭き取ってください。

記録用紙を2、3枚セットして、ファンクション ボタン、10 クリーニング ボタンの順に押し、08 ∨、02 ∧ ボタンで「キロク ローラ クリーニング」を選んで セット ボタンを押します。これを数回くり返します。

本体の上カバーを開けたところ

ガイドレール、丸い軸、フィルムケーブルに触れないでください　プラテン

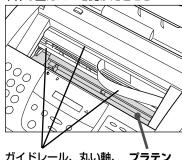
「カラー ハガキサイズ」でコピーしていますか？

「カラー ハガキサイズ」でコピーするときは、Desktop Managerの[設定]メニューの[ファクス設定]で[ファクス受信]タブの[用紙サイズ]を[A4]に設定するか、操作パネルでプリント設定メニューの記録用紙サイズを「A4」にしてください。「レター」になっていると、印刷位置がズレてプラテンやはがきの裏面を汚すことがあります。

→「記録用紙の取り扱いと保管」6-5ページ

記録用紙が丸まってしまう

インクを多く使って印刷する部分が多いと丸まってしまうことがあります。

印刷された記録用紙は30～60秒ほど記録排紙口に置いて、インクを乾かします。原稿排紙トレイなどに印刷面が触れないように注意しながら取り出し、完全に乾かしてから、丸まっている方向とは逆の方向に記録用紙を丸めます。(記録用紙を取り出すときにインクでB-20本体が汚れたときは、柔らかい布を、水か、食器用洗剤を水で薄めた液に濡らして拭き取ってください)

カラー印刷、カラーコピーができない

カラー印刷やカラーコピーで色がうまく出ないときは、つぎの項目をチェックしてみてください。

黒一色で印刷されてしまう

[Canon MultiPASS B-20 Printerのプロパティ]画面のBJカートリッジの設定で[ブラック]が選ばれていませんか？

[カラー](カラー/ブラック)か[フォト](フォトカラー)を選んでください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

プリンタドライバでカラーに設定していますか？

プリンタドライバで、カラーで印刷する設定にしてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

カラーBJカートリッジに異常がある可能性があります。

ノズルチェックパターンを印刷し、カラーBJカートリッジとインクカートリッジからインクがちゃんと出ているか確認してください。

→「ノズルチェックパターンの印刷」7-4ページ

プリントヘッドがつまっていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

インクが空になっていませんか？

BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

印刷に使うアプリケーションはカラー印刷に対応していますか？

アプリケーションのマニュアルで確認してください。

色にムラがある、1行だけ色の感じが違う

設定を変えたり、記録用紙の種類を変えたりして、印刷してみてください。

密度の濃い画像を印刷するときは、普通紙でなく高品位専用紙やフォト光沢紙を使ってください。高品位専用紙やフォト光沢紙を使った印刷のときは、[Canon MultiPASS B-20 Printerのプロパティ]画面の[用紙の種類]で[高品位専用紙]や[光沢紙]、[フォトカード]、[光沢はがき]を選んでください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

高品位専用紙でカラーコピーをとるときは、B-20本体で「プリント設定」メニューの「カラーコピー用紙」の設定を「高品位専用紙」にすると、きれいにコピーできる場合もあります。

→「カラーコピーの用紙の設定」5-8ページ

細い線が見えにくい

原色以外の色で、細い線を引いていませんか？

原色以外の色では、複数の色や白のドットが交互に印刷されるので、細い線だと見えにくくなります。細い線は、4つの原色、シアン(青)、マゼンタ(赤)、イエロー(黄)、ブラック(黒)のうちのどれかにすると、見やすくなります。

元の色と違う

[Canon MultiPASS B-20 Printerのプロパティ]画面のBJカートリッジの設定で[ブラック]が選ばれていませんか？

[カラー](カラー/ブラック)か「フォト」(フォトカラー)を選んでください。

B-20は、画面の色どおりに印刷できるように設計されていますが、色によっては、完全には一致しないことがあります。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

[Canon MultiPASS B-20 Printerのプロパティ]画面の[用紙の種類]は正しく設定されていますか？

正しい記録用紙が選ばれているか確認してください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

青が紫や紺色に印刷される。

コンピュータの画面の色はR(赤)、G(緑)、B(青)を加色混合という方法で混合して表現されていますが、プリンタではC(シアン)、M(マゼンタ)、Y(黄色)、K(黒)を減色混合という方法で混色して表現するので、画面の色を完全に再現することはできません。このため、青い色は、画面に比べると濃くなったり、紫色に近くなったりします。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

色合いが変わってしまう

プリントヘッドのノズルにゴミが付着したり、インクが乾燥して目づまりしていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてください。

→「プリントヘッドのクリーニング」7-5ページ

インクが空になっていませんか？

BJカートリッジやインクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

細かい部分がきれいに印刷できない

『MultiPASS Suite使用説明書』にしたがって、印刷の設定を変えて印刷してみてください。

→『MultiPASS Suite使用説明書』

一般的なトラブル

電源がはいらない

電源コードのコネクタとプラグが、B-20の差しこみ口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?

電源コードをしっかりと差しこみなおしてください。

電源コンセントには、電気が供給されていますか?

他の電化製品の電源コードをその電源コンセントに差しこんでみてください。他の電化製品も電源がはいらないときは、電源コンセントに電気が供給されていないと思われるので、他の電源コンセントに接続してください。

電源コードは断線していませんか?

別の電源コードに交換してみるか､テスターで通電をチェックしてください。

レポートを印刷できない

カラーBJカートリッジBC-21eのブラックインクがなくなっていませんか?

インクカートリッジを交換してください。

→「BJカートリッジを交換する」7-7ページ、「カラーBJカートリッジのインクカートリッジを交換する」7-9ページ

カラーBJカートリッジBC-22eフォトがセットされていませんか?

カラーBJカートリッジBC-22eフォトがセットされているときは、レポートは印刷されません。カラーBJカートリッジBC-21eかブラックBJカートリッジBC-20に交換してください。

LCDディスプレイに何も表示されない

電源コードのコネクタとプラグが、B-20の差しこみ口と電源コンセントにしっかり差しこまれていますか?

電源コードをしっかりと差しこみなおしてください。

電源コンセントには、電気が供給されていますか?

他の電化製品の電源コードをその電源コンセントに差しこんでみてください。他の電化製品も電源がはいらないときは、電源コンセントに電気が供給されていないと思われるので、他の電源コンセントに接続してください。

電源コードは断線していませんか?

別の電源コードに交換してみるか､テスターで通電をチェックしてください。

電源コードを電源コンセントから抜き、5秒間待ってから、もう一度電源コンセントに差しこんでください。

それでも何も表示されないときは、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター(→裏表紙)に連絡してください。

電源が落ちたとき

停電や誤って電源コードを抜いてしまっても、内蔵バッテリーにより、ユーザデータやスピードダイヤルの設定は消去されません。ただし、メモリに保存されていた原稿はすべて消去されます。

電源が落ちると、つぎのような状況になります。

- 原稿の送受信やコピーはできません。
- 子電話が接続されているとき、子電話が、停電時にも電話をかけられる電話機であれば電話をかけられます。また、停電時にもかかってきた電話を受けることができる電話機であれば受けられます。
- B-20に電源がはいると、メモリクリアリストが自動的に印刷されます。これは、メモリに保存されていたが、電源が落ちたために消去されてしまった原稿の一覧です。

2000 03/26 18:30 FAX 03 3758 2111　ﾔﾏﾀﾞ ｼｮｳｶｲ ﾀﾅｶ　001

****
***　メモリクリアリスト　***
****

次の通信予約またはメモリはクリアされました

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻
0030	送信	[02]ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾏｸﾊﾘ	3	03/26 11:55
0032	同報送信 ｶﾗｰ	[* 01]ｾﾞﾛﾜﾝｼｮｯﾌﾟ ｵﾋﾞﾋﾛ	1	03/26 13:00

メモリクリアリスト

電源が落ちたときに、メモリの中に原稿が保存されていると、電源がはいったときに、LCDディスプレイに「レポート シュツリョク」と表示されます。このとき、記録紙トレイに記録用紙がセットされていないと、「キロクシガ アリマセン」と表示されます。記録紙トレイに記録用紙をセットしてから、(リセット)ボタンを押してください。しばらくするとメモリクリアリストが印刷されます。

カラーBJカートリッジBC-22eフォトが取り付けられているときは、メモリクリアリストや受信したファクスは印刷されません。

メッセージとその内容

B-20のLCDディスプレイに表示されるメッセージと、それに対応する通信管理レポートのエラーコード、内容と対処のしかたはつぎのとおりです。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
BC21e/20 ニ コウカン	カラーBJカートリッジBC-22eフォトで白黒コピーをとろうとしました。 または、受信した白黒原稿、レポート、メモリに保存されている白黒原稿をカラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷しようとしました。	カラーBJカートリッジBC-22eフォトを取りはずして、カラーBJカートリッジBC-21eかブラックBJカートリッジBC-20を取り付けてください。
BC21e/22e ニ コウカン	ブラックBJカートリッジBC-20でカラーコピーをとろうとしました。	ブラックBJカートリッジBC-20を取りはずして、カラーBJカートリッジBC-21eかカラーBJカートリッジBC-22eフォトを取り付けます。
BC21e ニ コウカン	ブラックBJカートリッジBC-20かカラーBJカートリッジBC-22eフォトでカラー受信ファクスを印刷しようとしました。	ブラックBJカートリッジBC-20かカラーBJカートリッジBC-22eフォトを取りはずして、カラーBJカートリッジBC-21eを取り付けます。(カラーBJカートリッジBC-21eが手元にない場合は、メモリに保存されているカラーファクスを白黒に変換して、ブラックBJカートリッジBC-20で印刷してください。)
BC-22eデ プリント?	メモリにあるカラー原稿をカラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷しようとしました。	カラー原稿をカラーBJカートリッジBC-22eフォトで印刷するには、* ボタンを押し、印刷をキャンセルするには、# ボタンを押します。
ECMジュシン	ECMモードでファクスを受信中です。	ECMモードで受信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く受信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。
ECMソウシン	ECMモードでファクスを送信中です。	ECMモードで送信すると、エラーが起こった場合でも自動的に修正されますが、通常より時間がかかります。速く送信したいときや、電話回線に特に問題がないときは、ECMを無効にしてもかまいません。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
アイテ オウトウナシ(#005)	送信先のファクス機器が応答しません。	番号が正しかったか、確認してください。しばらく待ってから、送信しなおしてください。
ウケツケ バンゴウ nnnn	送受信したファクスには、自動的に通し番号がつけられます。	この番号は、後で送受信の結果を調べるときなど、それぞれの送受信を区別するのに役立ちます。受け付け番号は、通信管理レポートや送信結果レポート、受信結果レポートにも印刷されます。
オマチクダサイ ヒヤシテイマス	印刷中に、BJカートリッジのプリントヘッドが過熱しました。	B-20の温度を下げてください。 熱が冷めると、印刷が再開されます。
カートリッジガ アリマセン	BJカートリッジが正しく取り付けられていません。	BJカートリッジが正しく取り付けられているか、青色のカートリッジ固定レバーで固定されているか、確認してください。 取り付けられていないときは、取り付けてください。
カートリッジ コウカン(#052)	BJカートリッジまたはインクカートリッジのインクが空になっています。	プリントヘッドのクリーニングを行い、それでもメッセージが出るときは、カートリッジを交換してください。交換すると、メモリに保存されていたファクスが自動的に印刷されます。メモリがいっぱいで受信できなかったファクスは、もう一度送信しなおしてもらってください。
カートリッジ ジャム	カートリッジ付近の紙づまりです。	上カバーを開き、つまった記録用紙を取り除いて、リセット ボタンを押してください。
	カートリッジホルダを手で無理に動かそうとしたか、動いているカートリッジホルダが無理に止められました。	カートリッジホルダを手で無理に動かしたり、止めたりしないでください。
カイセン シヨウチュウ	FAX/TEL切替モードに設定されていて、電話がかかっています。 子電話で電話をかけているとき(子電話の受話器が上がっているとき)にも表示されます。	電話に出てください。電話を使っていないのに、受話器が上がっているときは、受話器をもどしてください。
カラー インクガ アリマセン	カラーBJカートリッジBC-21eのカラーインクがありません。	カラーインクカートリッジを交換してください。
キロクシガ アリマセン	記録紙トレイに記録用紙がはいっていません。	記録紙トレイに記録用紙をセットしてください。そのとき、記録用紙の量が最大用紙量のマーク(▲)を超えないように注意してください。セットしたら、リセット ボタンを押します。
キロクシガ ツマリマシタ(#009)	記録紙トレイに記録用紙がセットされていないか、紙づまりが起こっています。	記録用紙がないときはセットし、紙づまりのときはつまった紙を取り除いて、リセット ボタンを押します。メモリに保存されたファクスがあるときは、自動的に印刷されます。
キロクシノ サイズヲ チェック	記録紙トレイにセットされている記録用紙のサイズと、「プリント設定」で指定した記録紙サイズが違っています。	正しい記録紙サイズを設定してください。
キロクシヲ チェック	記録用紙が正しくセットされていません。	記録用紙をセットしなおしてください。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
クロ インクガ アリマセン	カラーBJカートリッジBC-21eのブラックインクがありません。	ブラックインクカートリッジを交換してください。
ゲンコウ ガ アリマス	自動給紙装置(ADF)の原稿を読み取る準備ができました。	ファクス送信、スキャン、コピーできます。
ゲンコウガ ナガスギマス(#003)	ファクス送信やコピーに32分以上かかりました。	原稿をいくつかに分けてから、送信またはコピーしてください。
	ファクス受信時間が32分を超えました。	送信してきた相手に連絡し、原稿をいくつかに分けて送信してもらってください。
	1枚の原稿の長さが1mを超えています。	原稿をいくつかに分けてコピーし、そのコピーを送信してください。
ゲンコウ ヲ チェック(#001)	自動給紙装置(ADF)内で原稿がつまっています。	つまっている原稿を取り除き、セットしなおしてください。
	給紙レバーが1枚給紙側にセットされています。	給紙レバーを自動給紙側にセットしてください。
コノ ワンタッチハ ツカエマセン (#025)	手動送信のとき、グループが登録されているワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを指定しました。	手動送信で同報送信することはできません。手動送信で送信できるのは、1か所だけです。
ジドウ リダイヤル	送信先が話し中だったので、リダイヤルの待機中です。	リダイヤルが行われるまで待ってください。リダイヤルをやめるときは、「送信を中止する」(→2-9ページ)の操作を行ってください。
シバラク オマチクダサイ	準備中です。	LCDディスプレイに日付と受信モードが表示されるまでお待ちください。
ジュワキヲ オイテ クダサイ	子電話の受話器がはずれています。	子電話の受話器を置き台にきちんと置いてください。
シロクロモードデ ヤリナオシ (#085)	カラー対応ではないファクス機器にカラー原稿を送信しようとしました。	もう一度、白黒モードで送信しなおしてください。
スキャナヲ チェック ##351	スキャナ装置の故障と思われます。	B-20の電源コードを抜き、操作パネルがきちんと閉じていること、原稿がセットされていないことを確認し、電源コードを差しこんでください。それでも解決しないときはお買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センターにご相談ください。
ストップキーガ オサレマシタ	ストップボタンを押したので、送信が中止されました。	
ダイコウ ジュシン シマシタ	記録用紙がない、インクがない、紙づまりなどで印刷できないので、受信したファクスをメモリに保存しました。	記録用紙がないときはセットし、インクがないときはカートリッジを交換し、紙づまりのときはつまった紙を取り除いてください。その後、リセット ボタンを押すと、メモリに保存されたファクスが印刷されます。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
ツウシンチュウデス シバラク オマチクダサイ (交互に表示されます)	メモリからの送信中に、別のファクスを手動送信しようとしました。	メモリからの送信が終わってから送信しなおすか、手動送信でなくメモリ送信してください。
デンワバンゴウ ミトウロク(#022)	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、電話番号が登録されていません。	電話番号を登録してください。
ハナシチュウ デシタ(#018)	ダイヤルしたファクス番号が間違っています。	ファクス番号を確認してから、もう一度ダイヤルしてください。
	送信先のファクス機器が故障しています。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。
	送信先のファクス機器がG3に対応していません。	送信先に連絡して、G3対応のファクス機器で送受信してもらってください。
	B-20の電話回線の設定が正しくありません。	お使いの電話回線の種類(プッシュ回線かダイヤル回線)に合わせて設定してください。
	送信先のファクス機器が55秒以内に応答しませんでした。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。 海外へ送信するときは、ファクス番号の間や後ろにポーズを入れてみてください。 また、手動送信も試してみてください。
ファイル ジュシン シマシタ	コンピュータが起動していないので、受信したファクスをメモリに保存しました。	コンピュータを起動してファイルをDesktop Managerに送信するか、B-20本体で「ファイル プリント」を選んで印刷します。(→4-10ページ)
フォトインク シヨウチュウ	カラーBJカートリッジBC-22eフォトが取り付けられているときはずっと表示されます。	カラーBJカートリッジBC-22eフォト以外のインクを使いたいときは、BJカートリッジを交換してください。
プリンタ ヲ チェック	カートリッジに何か引っかかっていて、動けません。	記録用紙にクリップなどが付いていないか確認します。また、BJカートリッジにプラスティックのキャップ(オレンジ色)が付いていたら、はずしてください。紙づまりの場合は、紙を取り除きます。すべて確認したら、(リセット)ボタンを押して、もう一度操作してください。
	BJカートリッジが壊れている可能性があります。	(リセット)ボタンを押すか、BJカートリッジを取り付けなおしてから、もう一度操作します。エラーが解決されないときは、本体の電源を抜いてください。しばらくしてから、もう一度電源コードを差しこみ、新しいBJカートリッジを取り付けてください。

メッセージ(エラーコード)	内容	対処方法
メモリガ イッパイデス(#037)	何枚ものファクス、長いファクス、カラーファクス、内容が細かいファクスを受信して、メモリがいっぱいになっています。	メモリ内のファクスを印刷してください。(→4-10ページ)
	何枚ものファクス、長いファクスや内容が細かいファクスを一度に送信しようとして、メモリがいっぱいになっています。	原稿をいくつかに分けて送信してください。すでにメモリに読みこまれた原稿は、削除する必要はありません。 または、手動送信してください。
メモリガ イッパイデス	ファクス送信中に、メモリがいっぱいになりました。	メモリからの送信が終わるのを待ってください。メモリが空けば、続けて送信できます。
メモリ シヨウ リョウ nn%	メモリの使用量が表示されます。	もっとメモリを空けたいときは、メモリ内のファクスを送信するか、印刷するか、消去してください。
ヤリナオシテ クダサイ	電話回線かシステムでエラーが発生しました。	最初から送信しなおしてください。
ヨビダシ チュウ	送信先を呼び出し中です。	ストップボタンを押せば、送信を中止できます。

付録

メニューの使い方

B-20では、本体の操作パネルからメニューを使っていろいろな設定をすることができます。本文中で説明されている部分もありますが、ここでは、各メニューの項目と設定のしかたについてまとめて説明します。

登録/設定のメニューには、データ登録と電話番号登録があり、データ登録には、基本設定、レポート設定、送信機能設定、受信機能設定、プリント設定、システム管理設定があります。

●B-20をコンピュータに接続しているとき

MultiPASS SuiteからB-20の設定を行うこともできます。設定は、操作パネル、MultiPASS Suiteのどちらかで最後に行った設定が有効になります。操作パネルで行った設定はMultiPASS Suiteの画面には反映されません。

このため、混乱しないように、操作パネルかMultiPASS Suiteのどちらか一方だけを使って設定を行ってください。

コンピュータと接続しているときは、MultiPASS Suiteで設定することをおすすめします。

日付や時刻、ユーザの電話番号、略称、ファクスのいちばん上につける情報、原稿の読み取り濃度、オフフックアラーム、音量、回線の種類などを設定します。

送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを印刷するタイミングなどを設定します。

ECM送信、ポーズ時間、話し中やエラーのときの自動リダイヤル、ダイヤルタイムアウトなど、ファクス送信について設定します。

ECM受信、受信モード、着信呼び出し、リモート受信、用紙がないときのメモリ受信、カラー受信など、ファクス受信について設定します。

記録用紙のサイズ、大きいファクスの縮小、エコノミー記録、カラーコピー時の記録用紙や余白など、印刷について設定します。

日付の表示方法、ファクス受信、ファクス送信のスピードを設定します。

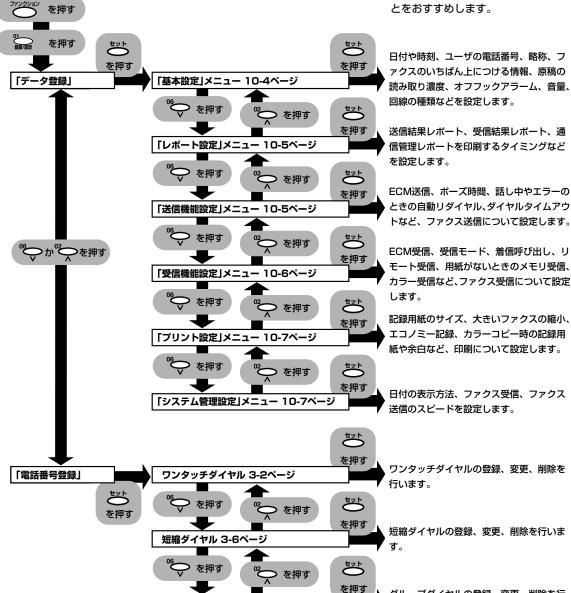
ワンタッチダイヤルの登録、変更、削除を行います。

短縮ダイヤルの登録、変更、削除を行います。

グループダイヤルの登録、変更、削除を行います。

操作の手順

1 ファンクションボタンを押し、01登録/設定ボタンを押します。

```
デ゛ータ トウロク
```

2 セットボタンを押します。
（スピードダイヤルの登録を行うときは、08∨ボタンを押して「デンワバンゴ ウ トウロク」と表示してからセットボタンを押します。
→「3章スピードダイヤルの登録」）

3 「キホン セッテイ」、「 レポート セッテイ」などのメニュー名が表示されるまで、02∧ボタンか08∨ボタンを押します。

4 セットボタンを押します。

5 設定、変更したい項目が表示されるまで、02∧ボタンか08∨ボタンを押します。

6 セットボタンを押します。

7 02∧ボタンか08∨ボタンを押して選択肢を選びます。

8 セットボタンを押します。
さらに選択肢があるときは、02∧ボタンか08∨ボタンを押して選び、セットボタンを押します。
セットボタンを押すと、その設定が登録されます。
セットボタンを押さずにストップボタンを押すと、設定は登録されません。
セットボタンを押さずに11クリアボタンを押すと、元の設定に戻ります。
01登録/設定ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

9 設定が終わったらストップボタンを押します。

LCDディスプレイに設定項目が表示されているときセットボタンを押すと、その項目が選ばれ、設定できる状態になります。

設定の選択肢が表示されているときセットボタンを押すと、その選択肢に設定されます。設定を中止するときはセットボタンを押さずにストップボタンを押します。

設定中に60秒以上何も操作しないと、スタンバイ状態に戻り、それまでに入力した情報は失われます。このときは、最初から設定しなおしてください。

●設定中に電話がかかってきたとき

手動受信モードのとき

ストップボタンを押して、受話器を上げてください。入力途中のものはセットボタンを押すまで保存されません。

受話器を上げても何も聞こえない、または遅いビープ音が聞こえるときは、ファクスが送られてこようとしています。この場合は、スタート/スキャンボタンを押してください。

声が聞こえる場合は、通常の電話なのでそのままお話しください。

自動受信モードのとき

ストップボタンを押す必要はありません。B-20が自動的にファクスを受信します。

「基本設定」メニュー　「ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ」

項目（とサブ項目）	機能	選択肢	備考
日付／時刻セット ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ	現在の日付と時刻を設定します。	―	テンキーを使って時刻（24時間表示）と日付を入力してください。
ユーザTEL登録 ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ	ファクス（電話）番号を登録します。	―	20桁以内で電話番号を入力してください。
ユーザ略称登録 ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ	氏名または会社名を登録します。	―	24文字以内で入力してください。
発信元記録 ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ	ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷します。	**ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ	
発信元記録位置 　ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ	白黒送信での、発信元記録を印刷する位置を選びます。 （カラー送信では、常に画像の内側につきます）	**ｶﾞｿﾞｳﾉ ｿﾄﾆ ﾂｹﾙ**、 ｶﾞｿﾞｳﾉ ﾅｶﾆ ﾂｹﾙ	･･･画像領域の外側につけます。 ･･･画像領域内につけます。
電話番号マーク 　ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾏｰｸ	ファクス／電話番号の前に付けるマークを選びます。	**FAX**、TEL	例： FAX 03 3758 2111 TEL 03 3758 2111
読み取り濃度セット ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ｾｯﾄ	送信するファクスの読み取り濃度を選びます。	ｺｸ、**ﾌﾂｳ**、ｳｽｸ	通常送信する原稿のタイプに合わせて選んでください。
オフフックアラーム ｵﾌﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ	子電話の受話器がはずれているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。	**ﾅﾗｽ**、ﾅﾗｻﾅｲ	環境に合わせて調整してください。
音量調整 ｵﾝﾘｮｳ ﾁｮｳｾｲ	呼び出し音、キータッチの音、回線モニタの音量を調整します。		環境に合わせて調整してください。
呼び出し音量 　ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ	FAX/TEL切り替えのとき、電話の呼び出し音の音量を調整します。	1、**2**、3	
キータッチ音量 　ｷｰ ﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ	操作パネルのボタンを押したときの音の大きさを調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
アラーム音量 　ｱﾗｰﾑ ｵﾝﾘｮｳ	エラー警告音の音量を調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
通信音量 　ﾂｳｼﾝ ｵﾝﾘｮｳ	回線モニタ（ダイヤル中、フック中の音）の音量を調整します。	0、1、**2**、3	0にすると音は鳴りません。
呼び出し音音質 ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝ ｵﾝｼﾂ	FAX/TEL切り替えのときの呼出音の音質を調整します。	ﾌﾂｳ、**ﾀｶｲ**	環境に合わせて調整してください。
回線種類選択 ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ	使っている電話回線に合わせて選びます。	ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ、 **ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ**	･･･プッシュ回線（トーン回線） ･･･ダイヤル回線（パルス回線） ダイヤル回線のときは、さらに10PPSか**20PPS**かを選びます。

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

「レポート設定」メニュー　　「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
送信結果レポート ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信するファクスの送信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。	**ｴﾗｰｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ**、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	･･･エラーが発生したときだけ印刷します。 ･･･送信するたびに印刷します。 ･･･印刷しません。
送信画像 　ｿｳｼﾝ ｶﾞｿﾞｳ	「ｴﾗｰｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」または「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」を選んだとき、原稿の最初のページもつけるかどうかを選びます。	**ﾂｹﾙ**、ﾂｹﾅｲ	つけると、どのファクスのレポートか、わかりやすくなります。 (カラー送信のときはつきません)
受信結果レポート ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスを受信すると、自動的に受信結果レポートを印刷するかしないかを選びます。	ｴﾗｰｼﾞﾆ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ、 **ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ**	･･･エラーが発生したときだけ印刷します。 ･･･ファクスを受信するたびに印刷します。 ･･･印刷しません。
通信管理レポート ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	通信管理レポートをいつ、どのように印刷するかを選びます。		
自動プリント 　ｼﾞﾄﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ	20通信ごとに自動的に印刷します。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･20件の送受信が終わるたびに自動的に印刷します。 ･･･自動的には印刷しません。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

「送信機能設定」メニュー　　「ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
ECM送信 ECMｿｳｼﾝ	ECM送信モードをオンまたはオフにします。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･ ECMモードで送信します。 ･･･ ECMモードは使いません。
ポーズ時間セット ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ	ﾘﾀﾞｲﾔﾙ/ﾎﾟｰｽﾞボタンを1回押して指定するポーズひとつ分の長さを指定します。	1〜15ﾋﾞｮｳ (**2ﾋﾞｮｳ**)	番号の最後のポーズの長さは10秒に決まっています。
自動リダイヤル ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ	相手が通話中だったときに自動的にリダイヤルするかしないかを選びます。	**ｽﾙ**、ｼﾅｲ	「ｽﾙ」に設定したときは、さらにリダイヤル回数、リダイヤル間隔の設定を行います。
リダイヤル回数 　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ	何回までリダイヤルするかを指定します。	1〜15ｶｲ (**2ｶｲ**)	
リダイヤル間隔 　ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ	ダイヤルしてからつぎにリダイヤルするまでの間隔を指定します。	2〜99ﾌﾝ (**2ﾌﾝ**)	
ダイヤルタイムアウト ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾑ ｱｳﾄ	複数の相手に送信するとき、最初の番号を入力してから5秒以内に原稿の読みこみを開始(2番め以降は10秒以内に読みこみを開始)するかどうかを選びます。すべての送信先を入力し終える前に読みこみが開始されると、送られなかった番号については、もう一度読みこみなおさなければなりません。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･5秒または10秒以内にスキャンを開始します。 ･･･自動的にはスキャンを開始しません。スキャンを開始するときはｽﾀｰﾄ/ｽｷｬﾝボタンを押してください。そうしないと、B-20は60秒後にスタンバイ状態に戻ります。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

「受信機能設定」メニュー　「ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ」

項目（とサブ項目）	内容	選択肢	備考
ECM受信 ECMｼﾞｭｼﾝ	ECM受信モードをオンまたはオフにします。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･ECMモードで受信します。 ･･･ECMモードを使用しません。
受信モード選択 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ	どのような方法で呼び出しを受信するかを選びます。	**ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ**、 FAX/TEL ｷﾘｶｴ	･･･すべての呼び出しをファクスと判断します。 ･･･呼び出し内容に応じて、電話、ファクスを切り替えます。
「FAX/TELｷﾘｶｴ ﾓｰﾄﾞ」を選んだときは、さらにつぎの設定を行います。			
呼び出し開始時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	ファクスから電話に切り替えるまで、どれだけの時間待つかを指定します。	0~30ﾋﾞｮｳ （**8ﾋﾞｮｳ**）	呼び出しが電話からなのか、それともファクスからなのかをB-20が判断するのにじゅうぶんな時間を指定してください。
呼び出し時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	電話がかかってきたら、どれくらいの時間、ベルを鳴らすかを指定します。	10~300ﾋﾞｮｳ （**17ﾋﾞｮｳ**）	ベルを鳴らし続ける時間を指定します。
呼び出し後の動作 ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞ ﾉ ﾄﾞｳｻ	上の呼び出し時間内に誰も電話に出なかったときに、どのような動作をするかを指定します。	**ｼﾞｭｼﾝ**、 ｼｭｳﾘｮｳ	･･･受信モードに切り替わります。 ･･･呼び出しを切ります。
着信呼び出し ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	電話がかかってきたときに、子電話のベルを鳴らすかどうかを選びます。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	･･･子電話が接続されているときは、電話がかかってくるとベルを鳴らします。 ･･･ベルは鳴らしません。
呼び出し回数 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	「ｽﾙ」のとき、何回ベルを鳴らすかを指定します。	1~99ｶｲ （**2ｶｲ**）	
自動受信切り替え ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ	指定時間、ベルを鳴らした後、手動受信モードから自動受信モードに切り替えるかどうかを選びます。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	･･･指定時間、ベルを鳴らした後、自動受信モードに切り替えます。 ･･･自動受信モードには切り替えません。
呼び出し時間 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	「ｽﾙ」のとき、自動受信モードに切り替える前に何秒間、ベルを鳴らすかを指定します。	1~99ﾋﾞｮｳ （**15ﾋﾞｮｳ**）	
リモート受信 ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ	リモート受信ができるようにするかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･手動受信のとき、子電話でリモート受信IDをダイヤルして、受信の操作ができます。 ･･･リモート受信しません。
リモート受信ID ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ ID	「ｽﾙ」のとき、リモート受信ID（ID呼び出し番号）を変更することができます。	00~99 （**25**）	00～99の間で新しいIDを指定してください。
代行受信 ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ	受信中、記録用紙がなくなったり、紙づまりになったとき、残りのファクスをメモリで受信するかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	･･･記録用紙がなくなったときは、それ以降のページをメモリに保存します。 ･･･メモリに保存しません。
カラー受信 ｶﾗｰ ｼﾞｭｼﾝ	カラーで送られてきたファクスをカラーで受信するかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	

（**太字**は、工場出荷時の設定です）

「プリント設定」メニュー　　「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
画像縮小 ｶﾞｿﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ	記録用紙に合うように画像を縮小するかどうかを選びます。	**ｽﾙ**、 ｼﾅｲ	・・・縮小します。 ・・・縮小しません。1ページ分が、2ページに分かれて印刷される場合があります。
縮小方向選択 　ｼｭｸｼｮｳ ﾎｳｺｳ ｾﾝﾀｸ	「ｽﾙ」のとき、縦だけ縮小するか、縦横比率を変えないように縦と横を両方縮小するかを選びます。	**ﾀﾃ ﾉﾐ**、 ﾀﾃ ﾖｺ ﾄﾓ	
記録紙サイズ ｷﾛｸｼ ｻｲｽﾞ	使用する記録用紙のサイズを選びます。	**A4**、LTR、LGL	左のサイズの中から選んでください。
エコノミー記録 ｴｺﾉﾐｰｷﾛｸ	白黒印刷のときの、エコノミー記録を「ｽﾙ」または「ｼﾅｲ」にします。「ｽﾙ」にすると、インクは通常の50%しか使われなくなります。	ｽﾙ、 **ｼﾅｲ**	・・・インクを節約します。(このモードにすると、インク切れでなくても印刷品質は低下します) ・・・通常どおり印刷します。
カラーコピー用紙 ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ ﾖｳｼ	カラー印刷、カラーコピーで使う記録用紙の種類を選びます。	**ﾌﾂｳｼ**、 ｺｳﾋﾝｲ ｾﾝﾖｳｼ	
下余白 ｼﾀ ﾖﾊｸ	カラー印刷、カラーコピー、受信ファクスの印刷時の下の余白を選びます。	**ﾌﾂｳ**、 ﾁｲｻｲ	・・・白黒印刷のときより大きく(21mm)なります。 ・・・白黒印刷のときと同じ(7mm)になります。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

「システム管理設定」メニュー　　「ｼｽﾃﾑ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ」

項目(とサブ項目)	内容	選択肢	備考
日付タイプ ﾋﾂﾞｹ ﾀｲﾌﾟ	日付の表示方法を選びます。	**YYYY MM/DD**、 MM/DD/YYYY、 DD/MM YYYY	・・・年　月/日 ・・・月/日/年 ・・・日/月　年
送信開始速度 ｿｳｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ	ファクスの送信スピードを選びます。	**14400bps**、 9600bps、 7200bps、 4800bps、 2400bps	数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく送信できないときは、スピードを下げてみてください。
受信開始速度 ｼﾞｭｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ	ファクスの受信スピードを選びます。	**14400bps**、 9600bps、 7200bps、 4800bps、 2400bps	数字が大きいほどスピードが速くなります。うまく受信できないときは、スピードを下げてみてください。

(**太字**は、工場出荷時の設定です)

仕様

外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

装置概要

適用回線	加入電話回線(PSTN)
交信性	ITU-T G3規格に準拠
データ圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG、JPEG
モデム形式	ファクスモデム
直流抵抗値	237Ω
通信速度	14400、9600、7200、4800、2400bps(自動フォールバック)
送信速度	白黒:約6秒/ページ *(14.4Kbps、標準モードECM-MMRでメモリからの送信時)
	カラー:約2分/ページ **(14.4Kbps、標準モードECM-JPEGでメモリから送信時)
画像メモリ	672KB DRAM(MR方式で保存)
	最大42ページ、または30通信
	メモリ使用量をLCDディスプレイに表示
LCDディスプレイ	16桁×1行
表示言語	日本語
読み取り方式	カラーコンタクトイメージセンサによる固体電子平面走査方式
記録(印刷)方式	バブルジェットオンデマンド方式
電源	AC100V±10V(50/60Hz)
消費電力	最大:約43W
	最小(スタンバイ時):約5.9W
外形寸法	367mm(幅)×340mm(奥行き)×209mm(高さ)(本体のみ。トレイを除く)
質量	約5.1kg(トレイを含む。カートリッジ、記録用紙は除く)
使用環境	温度:10℃〜32.5℃
	湿度:20%〜85%RH(ただし、結露のないこと)
外部インタフェース	IEEE 1284規格に準拠した双方向パラレルインタフェース

* キヤノンFAX標準チャートNo.1での参考値
** キヤノンカラーFAXテストシートでの参考値

普通紙ファクス仕様

送信スピード	白黒：　約6秒／ページ *（14.4Kbps、標準モードECM-MMRでメモリからの送信時）
	カラー：約2分／ページ **（14.4Kbps、標準モードECM-JPEGでメモリから送信時）
解像度	白黒：　ファインモード：8pels/mm×7.7lines/mm
	標準モード：8pels/mm×3.85lines/mm
	カラー：ファインモード：200×200dpi
	標準モード：200×200dpi
自動給紙装置（ADF）の最大原稿積載枚数***	
	A4／レターサイズ　20枚
	リーガルサイズ　10枚
原稿サイズ	最大：216mm（幅）×1,000mm（長さ）（2枚以上のときは、356mm）
	最小：80mm（幅）×45mm（長さ）
有効読み取り幅	208mm
読み取り画像処理方式	GENESIS（超鮮明画像処理技術）
	ハーフトーン：256階調グレースケール
記録方式	バブルジェット方式
ファクス印刷速度	白黒：　約3ページ／分 *
	カラー：約3分／ページ **
ダイヤル機能	スピードダイヤル
	ワンタッチダイヤル（12ヵ所）
	短縮ダイヤル（100ヵ所）
	グループダイヤル（最大111ヵ所）
	手動ダイヤル（テンキーを使用）
	自動リダイヤル****
	リダイヤル回数：1〜15回
	リダイヤル間隔：2〜99分
	手動リダイヤル
	ポーズボタン
	ポーズ時間：1〜15秒
送受信の機能	同報送信（最大113ヵ所まで）
	自動受信
	呼び出し音のオン/オフ
	ECM送受信のオン/オフ
レポート	通信管理レポート（最大20件）
	送信結果レポート、受信結果レポート、メモリクリアリスト、ユーザデータリスト、ダイヤルリスト
インクセーブ機能	エコノミーモード（通常の約半分のインク量で受信ファクスを印刷）（白黒受信のみ）

* キヤノンFAX標準チャートNo.1での参考値
** キヤノンカラーFAXテストシートでの参考値
*** 75g/m^{2}の記録用紙使用時
**** 自動リダイヤルしないように設定することも可能。自動リダイヤルは相手が話し中のときのみ。

コピー仕様

読み取り解像度	カラーファインモード：360×360dpi	
	カラー標準モード：360×180dpi	
	カラーハガキサイズモード（幅100mm以下）：360×360dpi	
	白黒ダイレクトコピー＊：360×360dpi	
	白黒メモリコピー＊：8pels/mm×7.7lines/mm	
印刷解像度	360×360dpi	
コピー倍率	100%（デフォルト）、90%、80%、70%	
コピー速度（参考値）	白黒コピー：	最初の1部：45秒
		2部以降：20秒
	カラーコピー：	カラーファインモード（A4サイズ）：約9分
		カラー標準モード（A4サイズ）：約3分
		カラーハガキサイズモード（100×148mmの写真）：約3分50秒
コピー可能な部数	白黒コピー：1〜99部	
	カラーコピー：1部	
インクセーブ機能	白黒文字モードのとき、通常の約半分のインク量でコピー	

* コピー部数が1部のときはダイレクトコピー、2〜99部のときはメモリコピーになります。

電話機仕様

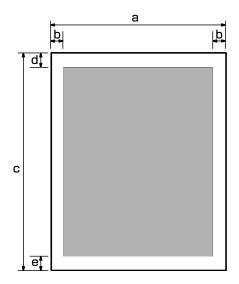
FAX/TEL自動切り替え	CNG信号検出
留守番電話などの電話機	子電話として接続可能
リモート受信	子電話から可能
	（工場出荷時のリモート受信ID：25）
その他	トーンボタン、ポーズボタン

プリンタ仕様

印刷解像度	カラー：720×360dpi 白黒：　720×360dpi(スムージング)
給紙方法	自動給紙／1枚給紙
記録紙トレイの最大積載枚数(厚さ10mmまで)	
	A4／レター／リーガルサイズの普通紙(75g/m²)：約100枚 BJ専用普通紙、コート紙(高品位専用紙)：約10枚 フォト光沢紙：1枚 バナー紙：1枚(2〜6枚) OHPフィルム：50枚 バックプリントフィルム：10枚 光沢フィルム、布(BJクロス)：1枚 封筒：10枚 官製はがき：40枚 光沢ハガキ：20枚
記録用紙サイズ	A4(210×297mm) B5(182×257mm) A5(148×210mm) レター(215.9×279.4mm) リーガル(215.9×355.6mm) バナー紙(216×279mmの紙で最長1676mm)
封筒サイズ	洋形4号(235×105mm) 洋形6号(190×98mm)
ハガキサイズ	官製はがき(100×148mm)
記録用紙の種類	普通紙 BJ専用普通紙(キヤノンLC-301) コート紙(キヤノン高品位専用紙HR-101/101S) フォト光沢紙(キヤノンGP-201) バナー紙(キヤノンBP-101) OHPフィルム(キヤノンCF-102) バックプリントフィルム(キヤノンBF-102) 光沢フィルム(キヤノンHG-101) 布(キヤノンBJクロスFS-101) Tシャツ転写紙(キヤノンTR-201) 封筒(洋形4号、洋形6号) ハガキ(官製はがき、キヤノンKH-201/201N)
記録用紙質量	自動給紙時：64〜90g/m² 1枚給紙時：64〜105g/m²
改行速度	約150ms／行(2/6インチ改行時)
印刷速度	カラーBJカートリッジBC-21e：ドラフトモード：約2枚／分 標準モード：　約1.5枚／分 ブラックBJカートリッジBC-20：ドラフトモード：約510cps／10cpi 標準モード：　約360cps／10cpi
印字幅	最大203.2mm

仕様

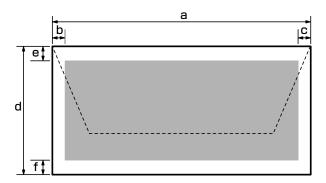
普通紙、専用紙の印刷可能領域

　　　　　の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の約20mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。

印刷できる範囲（単位はmm）

	A4	B5	A5	レター	リーガル
記録用紙の幅：a	210.0	182.0	148.0	215.9	215.9
左右余白：b	3.4	3.4	3.4	6.4	6.4
記録用紙の長さ：c	297.0	257.0	210.0	279.4	355.6
上余白：d	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
下余白：e	7.0 *	7.0 *	7.0 *	7.0 *	7.0 *

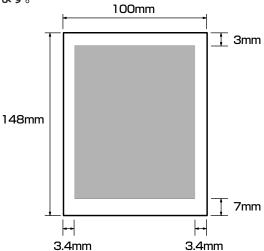
* 下余白は印刷条件によって異なります。
プリンタドライバを使用しない白黒印刷の場合：7.0mm（メモリから印刷する場合：4.0mm）
プリンタドライバを使用した白黒／カラー印刷の場合：16.0mm
受信したカラーファクスを印刷する場合、カラーコピーの場合：21.0mm

封筒の印刷可能領域

　　　　　の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の21mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。

印刷できる範囲（単位はmm）

	洋形4号	洋形6号
封筒の幅：a	235.0	190.0
左余白：b	3.4	3.4
右余白：c	28.4	3.4
封筒の長さ：d	105.0	98.0
上余白：e	3.0	3.0
下余白：f	7.0	7.0

ハガキの印刷可能領域

　　　　　の部分に印刷できます。ただし、先端と後端の21mmの範囲は紙送りの精度が落ちるため、なるべく印刷しないことをおすすめします。

BJカートリッジ、インクカートリッジの仕様

カラーBJカートリッジBC-21e

プリントヘッド構成：　ブラック：64ノズル
　　シアン・マゼンタ・イエロー：各24ノズル
プリントヘッド寿命 *：約2000ページ（印刷部分がページ全体の30%のカラー印刷の場合）
インクカートリッジ：　ブラックインクカートリッジBCI-21 Black
　　カラーインクカートリッジBCI-21 Color（シアン・マゼンタ・イエロー）
インク色：　ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
印刷可能枚数 *：　ブラックインクカートリッジBCI-21 Black：
　　約80ページ（印刷部分がページ全体の7.5%の場合）
　　カラーインクカートリッジBCI-21 Color：
　　約80ページ（各色の印刷部分がページ全体の7.5%の場合）

ブラックBJカートリッジBC-20

プリントヘッド構成：　128ノズル
インク色：　ブラック
印刷可能枚数 *：　約1000ページ（キヤノンFAX標準チャートNo.1の場合）

カラーBJカートリッジBC-22eフォト

プリントヘッド構成：　ブラック：64ノズル
　　シアン・マゼンタ・イエロー：各24ノズル
インク色：　ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
印刷可能枚数 *：　約22ページ（キヤノンカラーFAXフォトチャートNo.1の場合）

蛍光BJカートリッジBC-29F

プリントヘッド構成：　ブラック：64ノズル
　　カラー：各24ノズル
インク色：　蛍光マゼンタ、蛍光イエロー、シアン、ブラック
印刷可能枚数 *：　約100ページ（各色の印刷部分がページ全体の7.5%の場合）

* プリントヘッド寿命、印刷可能枚数は、A4サイズ換算の値です。

スキャナ仕様

読み取り画像処理方式　GENESIS（超鮮明画像処理技術）
　グレースケール：256階調
　カラー：16,777,216色

読み取り解像度　標準300dpi
　拡張30〜600dpi（TWAIN対応アプリケーションから、1dpi単位で設定可）

自動給紙装置（ADF）　自動給紙の場合
　最大原稿積載枚数 *：A4／レターサイズ　20枚
　　リーガルサイズ　10枚
　原稿サイズ　最大：216mm（幅）×約1,000mm（長さ）
　　最小：210mm（幅）×148mm（長さ）
　原稿の厚さ　0.08〜0.13mm
　原稿質量　75〜90g／m^2

1枚給紙の場合
　最大原稿積載枚数 *：1枚
　原稿サイズ　最大：216mm（幅）×約1,000mm（長さ）
　　最小：80mm（幅）×45mm（長さ）
　原稿の厚さ　0.08〜0.43mm
　原稿質量　90〜340g／m^2

有効読み取り幅　214mm

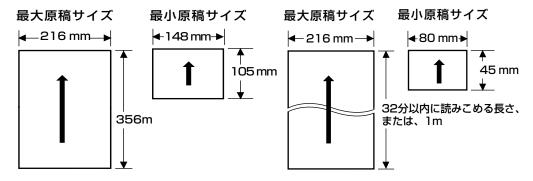
インタフェース　TWAIN準拠

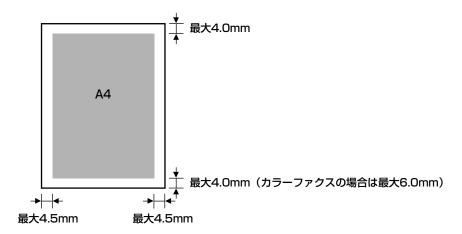
読み取り速度 **（原稿送りとデータ転送にかかる時間は含みません）
　白黒 300dpi：　約23秒／ページ
　カラー 300dpi：　約70秒／ページ

* 75g/m^2の記録用紙使用時
** 読み取りサイズ：A4

仕様

原稿サイズ

B-20で読みこめる最大と最小の原稿サイズは、つぎのとおりです。読みこめる原稿の長さは、実際の記録用紙の長さより短いので、注意してください。

読みこみ可能範囲

A4サイズの原稿をファクス送信、スキャン、コピーするときの読みこめる範囲は、つぎのとおりです。

白い部分は、読みこめません。

コンピュータとの接続インタフェース仕様

接続方式	双方向パラレル
通信モード	Compatible、Nibble、ECP

用語解説

用語は、アルファベット、五十音順に並んでいます。

B

BJカートリッジ

B-20本体の印刷部の部品で、プリントヘッドとインクカートリッジが一体化されたものです。消耗品なので交換する必要があります。

BJプリンタ

記録用紙にインクを吹き付けて印刷する方式のプリンタをインクジェットプリンタといいますが、B-20はバブルジェット(BJ)というキヤノン独自の方式のインクジェットプリンタです。インクをノズル内で沸点まで加熱して、気泡(バブル)を形成し、その膨張力でインクを記録用紙に噴射(ジェット)します。

bps

bits per secondの略語で、1秒間に転送されるビット数を表します。ファクス機器の送受信のスピードを表す単位です。

C

CCITT/ITU-T

通信の国際規格を設定するために設けられた委員会の呼称です。
正式名称は、Consultive Committee for International Telegraph and Telephone。
現在は、International Telecommunications Union-Telecommunications sector(ITU-T)という名前で呼ばれています。

CMYK

シアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)、ブラック(blacK)の略。カラープリンタでの印刷では、この4色のインクの組み合わせですべての色を表しています。

CNG信号

送信側のファクス機器が、これからファクスを送信することを知らせるために最初に送信するポーという信号音(ファクス呼び出し音)です。受信側のファクス機器は、この信号を受信すると、自動的にファクスの受信を開始します。現在では、ほとんどのファクス機器で、CNG信号の送受信ができるようになっています。

D

dpi

dots per inchの略。1インチ当たりに含まれるドット数で、プリンタの解像度を表す単位です。
B-20では、最高720dpi(水平方向)の解像度で印刷できますが、実際の解像度は、印刷モードや使用するアプリケーションによって決まります。

E

ECM

Error Correction Mode(エラー補正モード)の略。回線の状況が悪いときなど、エラーが多いときは、ECMで送受信すると、エラーを減らすことができます。ECMで送受信するときは、送信側と受信側の両方のファクス機器にECM機能が必要です。

F

FAX/TEL切り替えモード

呼び出しがファクスか電話かを自動的に判断する受信モードです。このモードに設定しておくと、ファクスは自動的に受信され、電話のときだけ呼び出し音が鳴り、子電話の受話器を取れば通話できます。1本の回線を電話とファクスで共用するときは、このモードに設定しておくと便利です。

G

G3、G3対応ファクス

G3は、ITU-T(国際電信電話諮問委員会)が定めたファクス送受信の規格で、送信する画像データを符号化してデータ量を圧縮し、送信時間を短縮します。G3対応のファクス機器では、1ページを1分未満で送信できます。データの圧縮方式には、MH(Modified Huffman)、MR(Modified READ)、MMR(Modified Modified READ)、JBIG、JPEGがあります。

I

IEEE 1284

IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers：米国電気電子工業会)が1993年に定めた、コンピュータと周辺機器との間の双方向パラレルインタフェース通信に関する新規格。従来のパラレルインタフェース仕様に、コンピュータと周辺機器との間の双方向通信、高速データ転送レート、ノイズによるデータ損失からの保護などが追加されています。

J

JPEG

フルカラーの静止画を圧縮して保存するファイル形式のひとつ。自然画や風景、写真などを効率よく圧縮できます。ITU-Tによって、カラーファクスの規格に正式に採用されています。もともとは、Joint Photographic Experts Groupという団体の略称ですが、この規格の名前としても使われています。

M

MultiPASS Suite

B-20をコンピュータから使用するための、キヤノンの専用アプリケーションです。MultiPASS Suiteをコンピュータにインストールすれば、B-20をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使えるようになります。

O

OHPフィルム

オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルムです。B-20では、インクを定着する処理が施されたBJプリンタ専用のOHPフィルムをご使用ください。

P

PCファクス

コンピュータで送受信するファクスのこと。B-20はコンピュータと接続でき、Desktop Managerを使ってPCファクスの送受信もできます。Desktop Managerでは、送受信したPCファクスの保存、並べ替え、印刷などもできます。

R

RGB

Red(レッド)、Green(グリーン)、Blue(ブルー)の略。コンピュータのディスプレイでは、この3色の光の組み合わせですべての色を表しています。

T

TTI

Transmit Terminal Identificationの略語で、受信したファクスの各ページのいちばん上に印刷される発信元情報のことです。

TWAIN規格

いろいろな画像入力機器(スキャナ、ビデオキャプチャボード、デジタルカメラなど)からコンピュータに画像を読みこむための標準的な規格。TWAIN規格に準拠したアプリケーションでは、メーカーや機種に関係なく、TWAIN規格に準拠した画像入力機器から画像を読みこむことができます。B-20もTWAIN規格に準拠しているので、TWAIN規格に準拠したWindowsアプリケーションでスキャナとして使うことができます。

ア

アプリケーション

ワープロソフトや表計算ソフト、グラフィックソフトなど、特定の作業を行うための機能を持った、または機能が集まったソフトウェアのこと。Desktop Managerも、コンピュータでB-20をプリンタ、スキャナ、PCファクスとして使うためのアプリケーションです。

イ

1枚給紙

自動給紙装置(ADF)に原稿を1枚ずつセットして給紙する方法です。特殊なサイズや用紙の原稿は1枚給紙します。

色の濃さ

色の分量をいいます。色の濃さが高いほど、純色に近くなります。逆に、濃さが低い色は、あまり鮮やかではありません。

インクカートリッジ(インクタンク)

B-20でもっともよく使われるカラーBJカートリッジBC-21eには、ブラックとカラー(シアン、マゼンタ、イエロー)のインクカートリッジがそれぞれ1個ずつはいっています。どちらかのインクがなくなったときは、そのインクカートリッジだけを交換すればすみます。

印刷可能領域

1枚の記録用紙全体のうち、プリンタが実際に印刷できる範囲のこと。プリンタでは記録用紙いっぱいには印刷できず、上、下、左、右に余白部分ができます。印刷可能領域はプリンタによって異なり、B-20では、使用する記録用紙の種類によっても異なります。

受け付け番号

B-20では、送受信したファクスそれぞれに自動的に通し番号がつけられます。送受信の結果を調べるときなど、この受け付け番号で、ファクスを区別できます。送信したファクス(送信するファクス)には0001～4999、受信したファクスには5001～9999の番号がつきます。

カ

解像度

解像度は、画像のきめ細かさ、鮮明さを表すものです。解像度が低いと、画像は粗く文字や絵がギザギザになります。解像度が高いほど、きめ細かく滑らかで、くっきりと鮮明な画像になります。解像度の表し方は場合によって異なりますが、プリンタの場合は、単位はdpi(ドット／インチ)、「水平方向×垂直方向」で、360×360dpiのように表されます。B-20では、最高で720×360dpiという高解像度で印刷できます。また、ファクス送信やコピー、スキャンのときなどに、解像度を設定することができます。

給紙

ファクス、コピー、スキャン、印刷するために、記録用紙や原稿をB-20の中へ送ることを給紙するといいます。原稿は、自動給紙装置(ADF)から自動給紙または1枚給紙します。記録用紙は、記録紙トレイから自動給紙します。

グラフィックス(図形)

手書きや印刷、コンピュータなどの画面に表示された絵や写真のことです。文字や文書でも、送受信したファクスや、グラフィックアプリケーションで作成されたものは、グラフィックスとして扱われます。

グループダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、最大111か所の番号に一度にダイヤルできる機能です。同じファクスをたくさんの相手に送信したいとき、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、相手の番号をすべてまとめてグループとして登録しておけば、そのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを押すだけで、全員に送信できます。(グループダイヤルに登録できるのは、あらかじめワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている番号だけです)

グレースケール

白黒画像を中間調で表すこと。

原稿

コピーやファクス送信、あるいはスキャンする元の用紙をいいます。

工場出荷時の設定

B-20は、工場出荷時(購入時)には、最も一般的な設定になっています。この設定を工場出荷時の設定といいます。設定は、使用目的や状況など、必要に応じて変更できるようになっています。

子電話

B-20の子電話接続端子に接続した市販の電話機。呼び出し音が鳴ったら受話器をとって会話をしたり、子電話からファクス受信の操作をする(リモート受信する)ことができます。

サ

ジェネシス(GENESIS)

キヤノンが独自に開発した超鮮明画像処理技術で、64階調のグレースケールと特殊な輪郭強調処理機能を備え、文字も写真も鮮明な画質で転送できます。

自動給紙装置(ADF)

B-20では、ファクス送信、コピー、スキャンする原稿を自動給紙装置(ADF)にセットします。複数の原稿をセットすると、自動的に1枚ずつ給紙されます。

自動受信モード

ファクスは自動的に受信し、電話のときは切ります。ファクス専用の電話回線にB-20を接続したときに自動受信モードにします。

自動リダイヤル

話し中でファクスを送信できなかったとき、一定の時間をおいて、もう一度同じ番号に自動的にダイヤルする機能です。リダイヤルするまでの時間やリダイヤルする回数を、設定できます。最後のリダイヤルでも送信できなかったときに、送信結果レポートを印刷するように設定することもできます。

受信モード

B-20には、つぎの受信モードがあります。

- 自動でファクスの受信だけを行う(自動受信モード)
- ファクスは自動で受信し、電話のときは呼び出し音を鳴らす(FAX/TEL切り替えモード)
- 電話に出て、ファクスの場合は受信の操作を行う(手動受信モード)
- ファクスは自動で受信し、電話は留守番電話に回す(留守番電話接続モード)
- ファクスをコンピュータで受信する(PCファクス)

手動受信モード

子電話を取って呼び出しに応対した後、ファクスのときは受信します。ピーという音が聞こえたらファクスなので、操作パネルの スタート/スキャン ボタンを押すか、リモート受信IDの番号を押します。

手動送信

子電話から電話をかけ、相手が出てからファクスを送信する方法です。

手動リダイヤル

テンキーでファクス番号を入力(テンキーダイヤル)してファクスを送信したとき、話し中やエラーで送信できなかった場合は、操作パネルの リダイヤル/ポーズ ボタンを押せば、リダイヤルできます。ただし、この場合は原稿の再送信は行われません。再送信するときは、 リダイヤル/ポーズ ボタンを押す前に原稿をセットしてください。

スタンバイ状態

B-20の電源がはいっていて、いつでも使用できる状態をスタンバイ状態といいます。この状態のときは、LCDディスプレイに日付と受信モードが表示され、この状態からすべての操作ができます。

スピードダイヤル

ひとつまたは3つのボタンを押すだけで、相手の番号をダイヤルできる機能で、「ワンタッチダイヤル」、「短縮ダイヤル」、「グループダイヤル」の3つがあります。スピードダイヤルを使うためには、送信先のファクス番号や電話番号をあらかじめ登録しておく必要があります。

セントロニクス(Centronics)

パラレルデータ転送のインタフェース規格です。B-20は、セントロニクスタイプのパラレルインタフェースを採用しています。

送信スピード

電話回線上でファクスを送信するときの速度です。「bps」も参照してください。

双方向パラレルインタフェースケーブル

B-20とコンピュータを接続するためのケーブルです。IEEE 1284に適合した長さが2m以下のケーブルを、別途購入してください。

タ

タイマー送信

時刻を指定して、自動的にファクスを送信する機能です。タイマー送信は、MultiPASS Suiteで設定します。

ダイヤル回線

電話回線の種類のひとつで、パルス回線ともいいます。ダイヤル回線には、ダイヤル速度の違いによって、10PPSと20PPSの2種類があります。

縦置き

記録用紙の幅方向を横切るように印刷する方法です。それに対して、記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法を、「横置き」といいます。

短縮ダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、短縮ボタンの後に2桁の短縮番号を押してダイヤルする方法です。短縮番号には、あらかじめ送信先のファクス番号と名前を登録しておきます。よくダイヤルする番号を短縮ダイヤルに登録しておくと便利です。100か所まで登録できます。

通信管理レポート

B-20のファクス送受信の記録です。送受信の結果を調べたいときなどに印刷します。

テンキー

操作パネルの左端の、番号が書かれた丸いボタン(0〜9、*、#)。一般の電話機のダイヤルボタンと同じ構成になっており、同じようにダイヤルできます。また、B-20本体では、送信先の名前の登録など、文字を入力するときにもテンキーを使います。

テンキーダイヤル

操作パネルのテンキーで相手のファクス番号や電話番号を入力してダイヤルする方法です。

同報送信

同じファクスを一度に複数の相手に送信する機能です。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーでの手動ダイヤルを組み合わせて、最大113か所まで送信できます。

トーン回線

「プッシュ回線」を参照してください。

ドット

印刷された画像や文字は、小さな点が集まってできています。このひとつひとつの点をドットといいます。

ナ

ノズルチェックパターン

BJカートリッジのプリントヘッドのノズル(インクが噴射される出口)が正常な状態かどうかを調べるために印刷するパターンです。正常な状態では、階段状の線がノズルの数だけ印刷されます。

ハ

ハーフトーン

カラー印刷での原色以外の中間色や、白黒印刷でのグレーのような中間階調をハーフトーンといいます。B-20では、原色のドットの並び方によってハーフトーンを作り出し、フルカラーやグレースケールで印刷できるようになっています。

排紙

プリンタの内部に送られて、ファクス、コピー、スキャン、印刷がすんだ原稿や記録用紙を外に出すことを排紙するといいます。

発信元情報

送信したファクスの各ページのいちばん上(ヘッダ)に印刷される、つぎのような情報です。

- 送信日時
- 送信者のファクス番号(登録したとき)
- 送信者の名前や会社名(登録したとき)
- 受信側の名前や会社名(スピードダイヤルで送信したとき)
- ページ番号

パラレルケーブル

「双方向パラレルインタフェースケーブル」の本書での略称です。「双方向パラレルインタフェースケーブル」を参照してください。

パルス回線

「ダイヤル回線」を参照してください。

ファクス写真モード

ファクス送信時に、原稿に写真のような中間色が含まれるときに設定する読み取り解像度のモードです。

ファクス/電話自動切り替え

「FAX/TEL切り替えモード」を参照してください。

ファクス標準モード

ファクス送信時に、原稿に普通に印刷された文字だけが含まれ、絵や写真やイラストなどが含まれていないときに設定する読み取り解像度のモードです。

ファクスファインモード

ファクス送信時に、原稿の文字が細かいときに設定する読み取り解像度のモードです。

普通紙

コピー機などで一般的に使われる記録用紙(コピー用紙)のことです。

プッシュ回線

電話回線の種類のひとつでトーン回線ともいいます。

プラテン

プリンタの部品で、インクが転写される間、記録用紙を定位置に保持するものです。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタとの間でのデータのやりとりを制御するためのソフトウェア。コンピュータからプリンタに印刷命令を送り、印刷状況やエラーなどの情報をプリンタからコンピュータに読みこみます。

プリントヘッド

B-20のBJカートリッジの一部分で、印刷時にインクを噴射するためのノズルがあります。

ポーズ

内線から外線にかけるときや、国際電話をかけるときなど、接続までに多少時間がかかることがあります。そのような番号をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録するときは、確実につながるように、電話番号の間やうしろに待ち時間としてポーズを入れておきます。番号の間や最後で リダイヤル/ポーズ ◎ ボタンを押すと、そこにポーズがはいります。

ホームポジション

印刷していないときにBJカートリッジが待機しているプリンタ内の右端の場所。ホームポジションでは、プリントヘッドにフタがされ、インクの乾燥を防ぎます。

マ

メモリ

コンピュータなどの内部に取り付けられている情報を一時的に記憶させておくための装置。B-20のメモリには、印刷した文書やスキャンされた原稿、ファクス受信した原稿などの情報が一時的に保存されます。

メモリ送信

ファクス送信する原稿をメモリに読みこんでから送信する方法です。全部送信し終わるまで待たずに原稿を持ち帰れるので、便利です。

ヤ

横置き

記録用紙の長手方向を横切るように印刷する方法です。

読み取り濃度

送信する原稿の濃さを設定します。

ラ

リダイヤル

話し中やエラーでファクスを送信できなかった相手に、もう一度送信しなおすときにリダイヤルします。リダイヤルには、自動リダイヤルと手動リダイヤルがあります。

リモート受信

B-20から離れたところにある子電話で電話に出た後、子電話でリモート受信IDの番号を押してファクスを受信することをリモート受信といいます。

リモート受信ID

B-20から離れたところにある子電話で電話に出た後、ファクス受信を開始するときに押す2桁の番号(工場出荷時の設定は「25」)のことです。

ワ

ワンタッチダイヤル

スピードダイヤルのひとつで、ボタンひとつで相手にダイヤルできる機能です。B-20には、ワンタッチダイヤルボタンが12個あり、送信先やグループを12件登録できます。

索引

この索引で、本文中に出てくる用語やボタンやLCDディスプレイのメッセージを検索できます。

「→『Suite説明書』」と書かれている項目は『MultiPASS Suite使用説明書』を参照してください。

例

ス

「スキャナヲ チェック ##351」 9-2
スキャン 5-10
[スタート/スキャン]ボタン xii
スタンバイ状態 2-8
「ストップキーガ オサレマシタ」 9-2
[ストップ]ボタン xii
スピードダイヤル 3-1

セ

清掃 xvi, 8-2
設置する場所 xiv
設定

「○○○○○○」はLCDディスプレイに表示されるメッセージです。

[○○○] はボタンやキーの名称です。

索引

索引

索引

索引

機械の故障・点検・修理については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

〈キヤノンお客様ご相談窓口一覧〉

製品の操作・仕様に関するお問い合わせは、下記の『お客様相談センター』にご相談ください。
所在地、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

●受付時間：月曜〜金曜（祝日を除く）9:00〜12:00、13:00〜17:00
土・日曜、祝日は、お休みとさせていただきます。

お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット

(0570)01-9000

音声メッセージに従って該当番号を選択してください。**MultiPASSシリーズの該当番号は33です。**
（該当番号は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。）

全国63カ所の最寄りサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問にお電話でお答えします。尚、携帯電話等をご使用の場合は、043-211-9631をご利用ください。

東京・大阪・札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・水戸・つくば・千葉・大宮・甲府・立川・横浜・厚木・静岡・沼津・浜松・名古屋・岡崎・岐阜・津・和歌山・福井・金沢・富山・京都・大津・神戸・姫路・岡山・高松・徳島・高知・松山・広島・福山・山口・鳥取・松江・北九州・福岡・久留米・大分・長崎・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
TEL	(　　　)

キヤノン販売株式会社

HT1-1100-000-V.1.0　012000SZ3.6
©CANON INC. 2000
PRINTED IN JAPAN